

表情の 描き方

デジタルツールで描く！
感情があふれ出るキャラの

解説イラスト
約800点!!

喜怒哀楽をはじめ、怒り・悲しみ・驚き・恐怖・口癖・動作・視線・ポーズなど
イラスト・漫画でもっとも大切なポイントを網羅！

マイナビ



表情の 描き方

デジタルツールで描く！
感情があふれ出るキャラの

スタジオ・ハードデラックス著



● はじめに ●

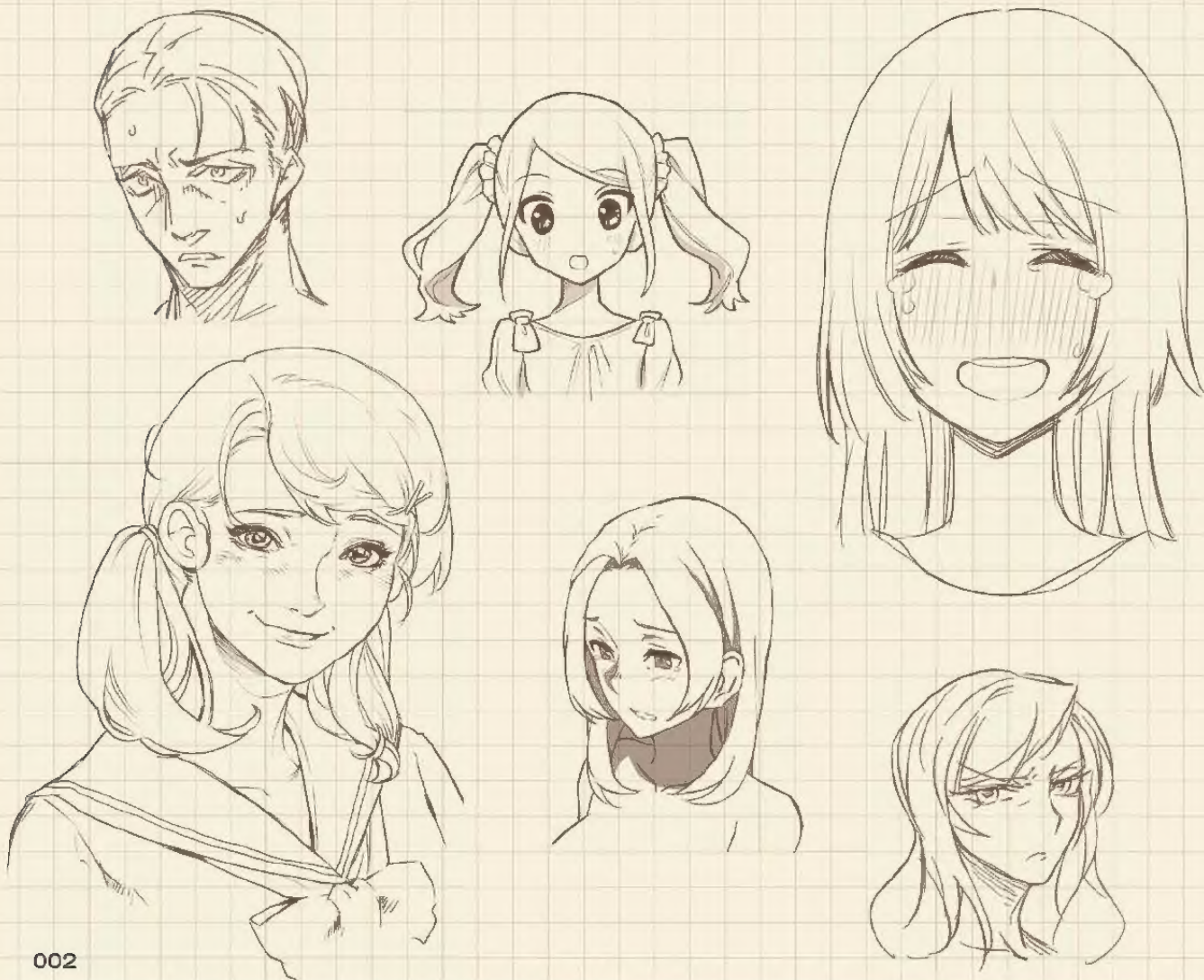
私たちが日常において人の表情からどんな気持ちかを無意識に感じ取るように、イラストや漫画においてキャラクターの気持ちを表現するには、そのキャラクターの気持ちを的確に表現した表情を描くことが重要です。感情があふれ出た表情は、ときに言葉で語るよりも雄弁に、そのキャラの気持ちを私たちに訴えかけてきます。

本書では、そんなキャラクターの気持ちを伝える魅力ある表情の描き方を、約800点の作例を通じて解説しています。第1章では、表情ができる仕組みや顔の描き方についての基礎を紹介し、第2章では、世界共通の6つの感情、「喜」、「怒」、「悲」、「驚」、「恐怖」、「嫌悪」を表現するポイントを弱中強の3つの段階に分けてじっく

りと解説、第3章では恋愛やコミュニケーション、食事など、6つの共通感情に留まらない様々な表情を集めました。また、巻末の第4章では、キャラクターの顔を描く上で欠かすことのできない髪の描き方についても特集していますので、この本一冊でキャラクターの顔の描き方を丸ごと覚えることができます。

近年ではデジタルツールも進化して使い心地も年々良くなり、イラストや漫画をデジタルツール上で一貫して制作することも難しくなくなってきました。本書を参考に、皆さまが快適なデジタルイラスト・漫画制作ライフをお楽しみいただければ幸いです。

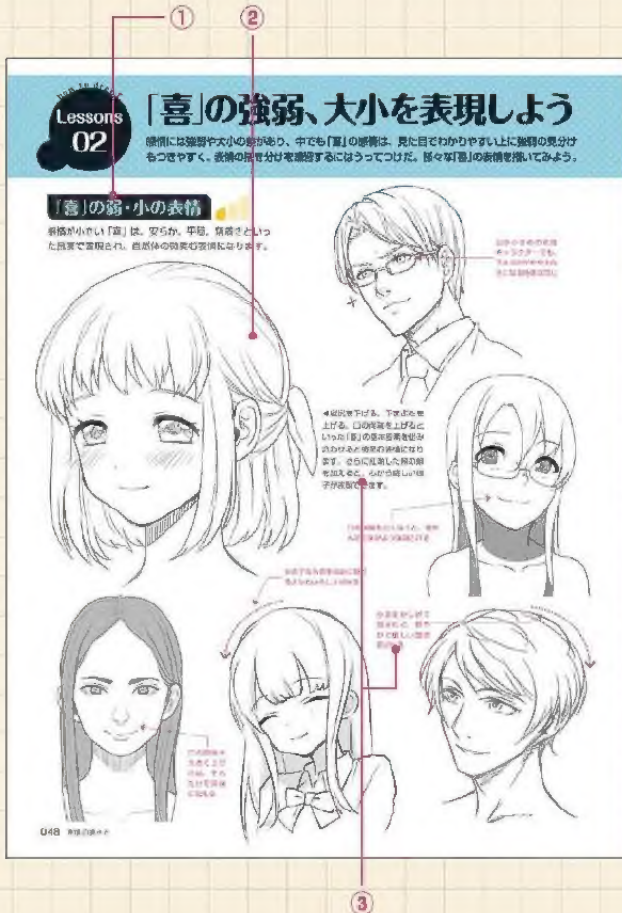
スタジオ・ハードデラックス



本書の使い方 how to use this book?

●表情が描ける&資料として使える

本書は、イラストや漫画におけるキャラクターの表情や感情、顔の描き方に特化した解説書です。総勢15名のイラストレーターによる多彩な作風で各表情を描いていますので、イラスト・漫画の資料集としてもお使いいただけます。



① 各ページで解説する項目のテーマと概要。第2章では、感情の強弱を表すゲージのアイコンを表示しています。

③ 各イラストの解説。表情や髪を描く上で重要なポイントを作例ごとに説明しています。

② 表情の作例イラスト。テーマごとに複数名のイラストレーターが描いています。

④ 「感情の輪」アイコン。P19で解説している「感情の輪」に基づいて、各表情に該当する感情をアイコンで表示しています。

●各章について

第1章 基本編 表情を描くための基礎知識

表情ができる理由やしくみ、表情と密接な関係にある感情の種類を紹介。後半ではアタリを使用した様々な顔の描き方を解説します。

第3章 応用編 表情のバリエーション

恋愛や会話でのコミュニケーション、日常生活などイラストや漫画でよく登場するシーンの表情の作例と解説と紹介します。

第2章 実践編 6種の基本感情の描き方

「喜」、「怒」、「悲」、「驚」、「恐怖」、「嫌悪」の特徴を述べ、各表情を弱中強の3段階に分けた多数の作例で表情の変化を描くポイントを解説します。

第4章 特別編 髪の描き方

キャラクター造形に欠かせない髪について、種類や描き方、男女のバリエーション、質感の表現、動きなどを解説します。

CONTENTS

はじめに	002
本書の使い方	003

序章

導入編 絵を描くための準備

デジタルツールの種類	006
絵を描く手順	010
ブラシ設定と作例	012

第1章

基本編 表情を描くための基礎知識

表情ができる瞬間	016
感情の種類	018
表情を作る顔のパーツ	020
表情に関わる骨と筋肉	022
年齢と顔のシワ	024
様々な輪郭の形	026
漫画的な線のデフォルメ	030
顔のアタリの取り方	032
様々な顔の描き方	038
Column-01 キャラクターの性格と表情	044

第2章

実践編 6種の基本感情の描き方

「喜」の表情を描こう	046
「喜」の強弱、大小を表現しよう	048
「怒」の表情を描こう	054
「怒」の強弱、大小を表現しよう	056
「悲」の表情を描こう	062
「悲」の強弱、大小を表現しよう	064
「驚」の表情を描こう	070
「驚」の強弱、大小を表現しよう	072
「恐怖」の表情を描こう	078
「恐怖」の強弱、大小を表現しよう	080
「嫌悪」の表情を描こう	086
「嫌悪」の強弱、大小を表現しよう	088
Column-02 影を使った誇張表現	094

第3章

応用編 表情のバリエーション

恋愛&コミュニケーション	096
日常・しぐさ	118
食事	124
バトル	131

第4章

特別編 髪を描き方

髪型の種類	136
髪を描き方	138
男性の髪型バリエーション	144
女性の髪型バリエーション	147
髪色の表現	152
髪を使った誇張表現	154
髪の動き	156
イラストレーター紹介	159





序章 導入編

絵を描くための準備

how to draw? **Point 01**

デジタルツールの種類

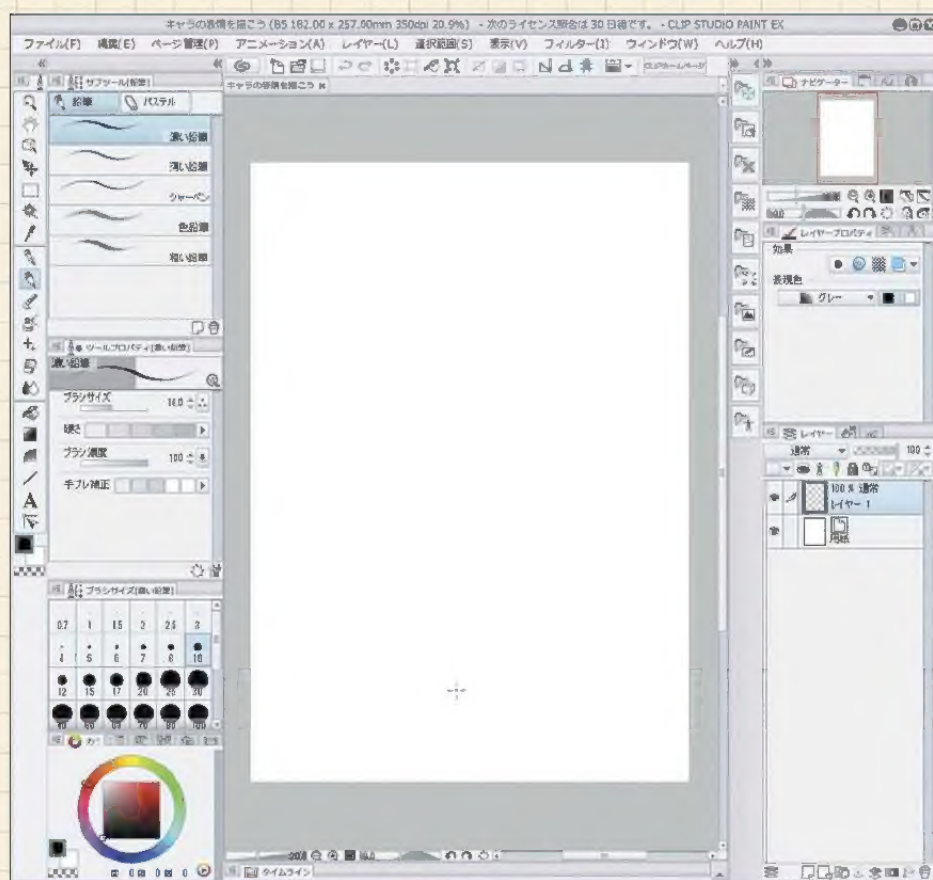
近年では、パソコン上で動作するデジタルペイントツールで絵を描く人が増えてきた。本書では、数多くあるツールの中から「CLIP STUDIO PAINT」と「ペイントツールSAI」をピックアップして紹介する。

CLIP STUDIO PAINT

CLIP STUDIO PAINTは、セリシスが開発するイラスト、漫画制作ソフトです。PRO版と、PRO版の機能を拡張したEX版の2種類が提供されており、EX版では複数ページ分の

一括管理、3Dモデルや写真の線画抽出、セリフの一括編集など、漫画制作に関わる機能が強化されています。また、ユーザー同士で作成した公開素材を使用することもできます。

基本画面



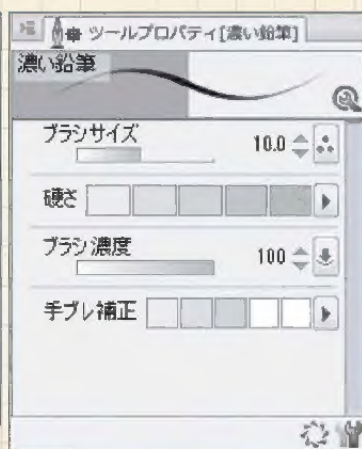
◀中央のキャンバスウィンドウの左右に各種設定を行うパレットや、複数のパレットを収納できるパレットドック、上部にはコマンドバーがあります。

▶「CLIP STUDIO」には、別売りのアニメーション作成や3Dのモデリング作成ツールや、素材をダウンロード、使い方の解説など、イラスト・漫画制作を補助する機能が多数備わっています。



主な機能

●豊富なブラシツール

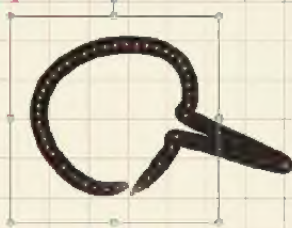


◀▲鉛筆、ペン、筆、エアブラシなどがあり、それぞれにデフォルトで豊富な種類が登録されています。ブラシはそれぞれカスタマイズでき、独自のブラシを作ることできます。

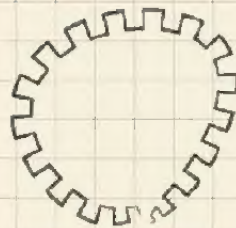
●編集可能なベクターレイヤー



▲線を引く



▲線を編集



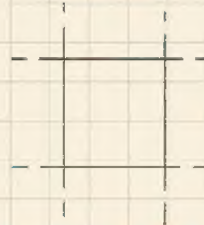
▲ブラシの形状を変更①



▲ブラシの形状を変更②



▲交差した線を引く



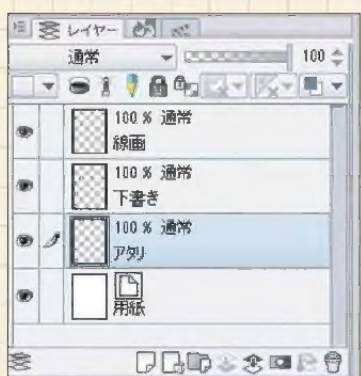
▲ベクター消しゴムで消す



▲はみ出し線が消える

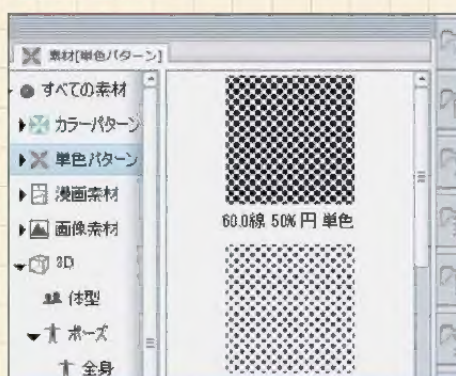
◀▲ベクターレイヤーにブラシで描くと、線や図形を後から変形させることができます。また、ベクター消しゴムを使用すれば、通常の消しゴムとは違った便利な線編集をすることが容易にできます。

●レイヤー機能



▲ベクターレイヤーの他に通常のラスターレイヤーも作成できます。彩色やフィルターを利用して効果を加えるなど、イラストから漫画まで様々な用途に対応できます。

●豊富な素材



▲セルシス公式から提供されている豊富なトーンやテクスチャなどの素材を使用することができます。また、ユーザーが公開している素材を使用することもでき、制作を大いに助けてくれます。

●3Dモデル



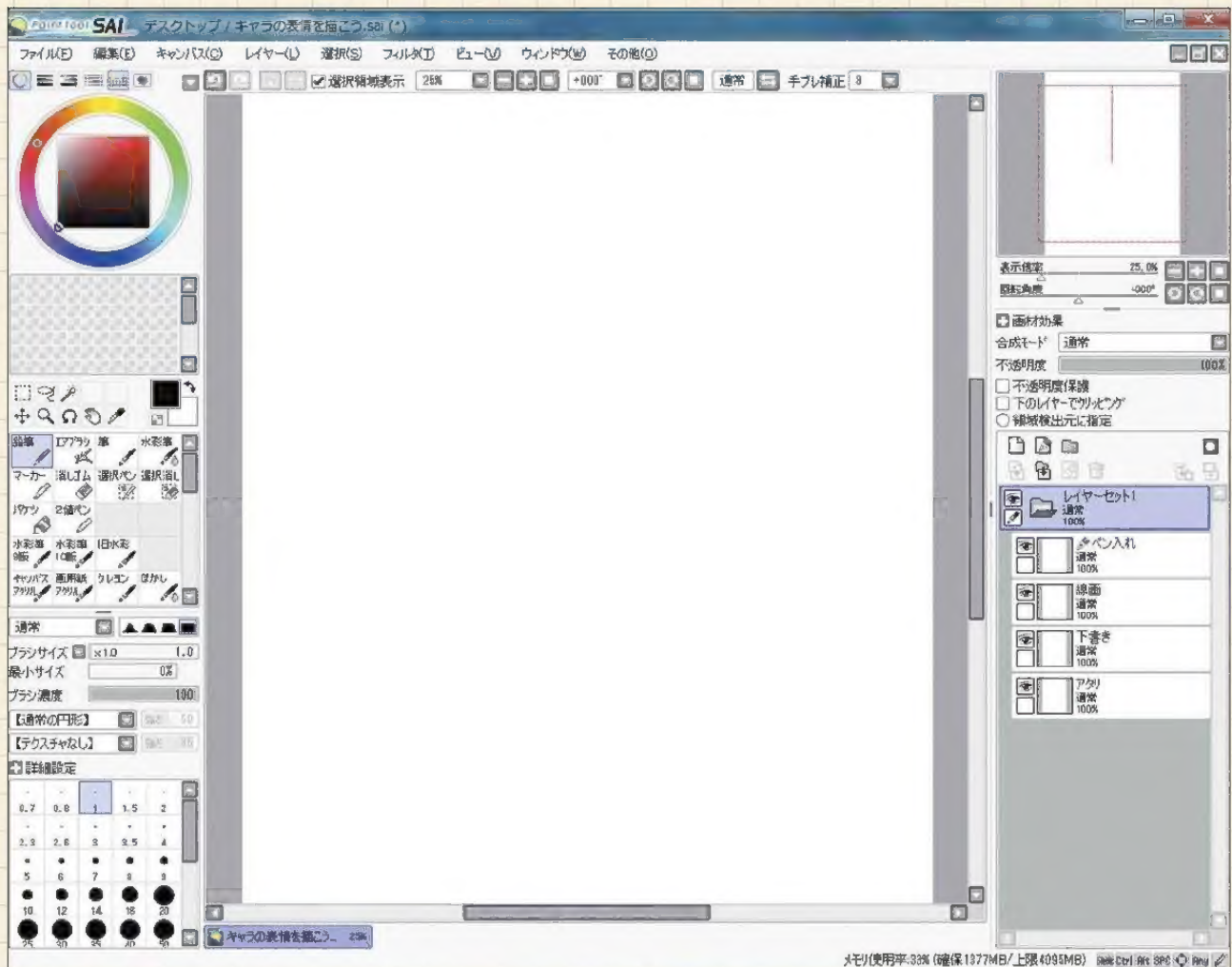
◀ポーズ変更可能な3Dモデルを用いれば、キャラのアタリなど様々な構図を描く際の参考にすることができます。ポーズだけではなく、サイズや体の向きも変えられます。

ペイントツールSAI

ペイントツールSAIは、SYSTEMAXが開発するペイントツールです。ペンタブレットを用いて描くのに適したブラシ機能や、操作が簡単でわかりやすいデザイン、動作が軽いなどの

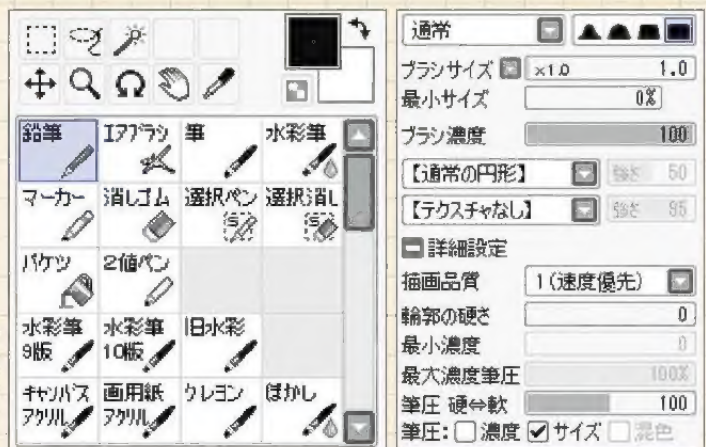
特徴を持っています。快適に絵を描くための機能がシンプルにまとまっていて、製品版がリリースされてから数年以上が経つ現在でも、愛用し続けている人が多い人気ツールです。

基本画面

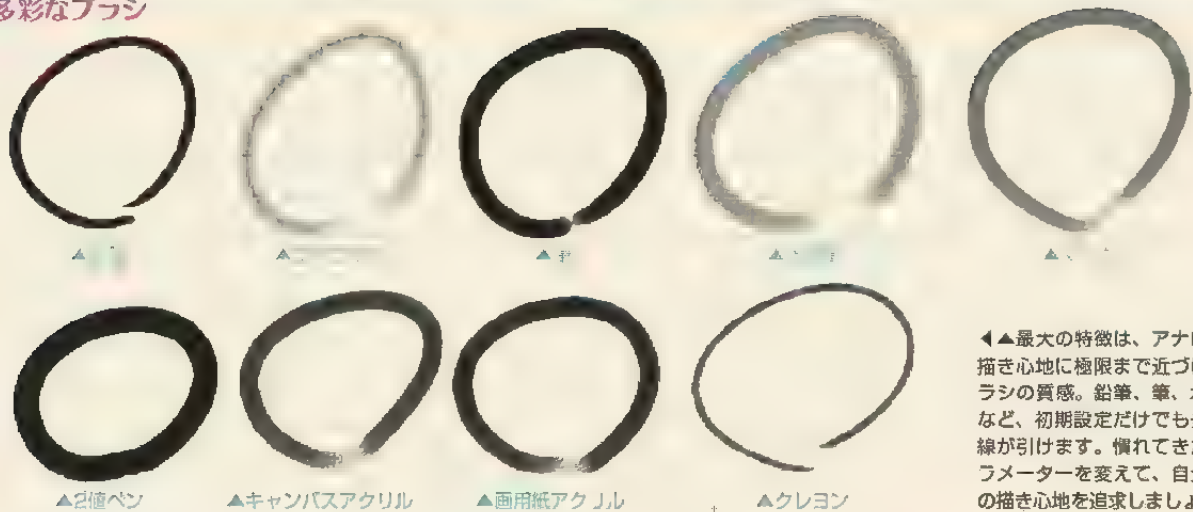


▲キャンバスウィンドウの左側にカラーサークルなどの色関係やブラシ類、右側には画面の拡大縮小や回転ができるナビゲーターやレイヤー関係のウィンドウが置かれています。各ウィンドウ配置は変更可能です。

▶ブラシの種類はシンプルながらも絵を描くのに必要なものが揃っており、使い道がすぐわかるようになっています。また、ブラシの設定も、太さや濃度、テクスチャーの有無、筆圧の感度や硬さなどを詳細に変えることができ、自作のオリジナルブラシをパレットに登録することもできます。

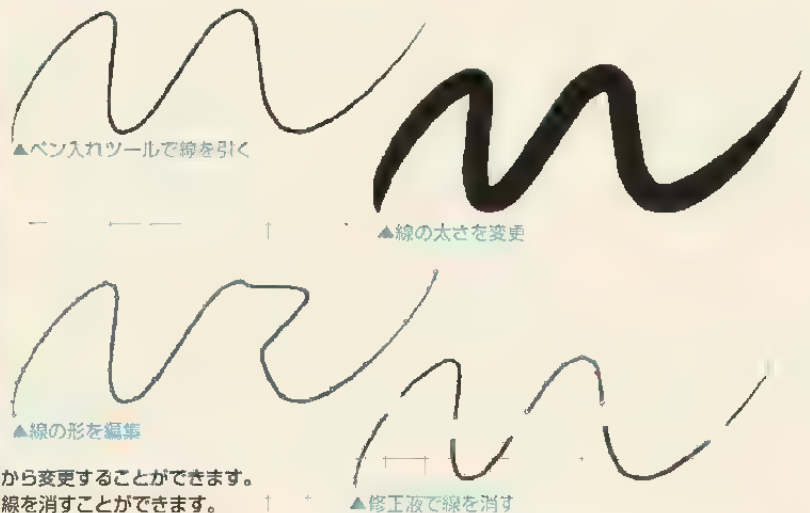
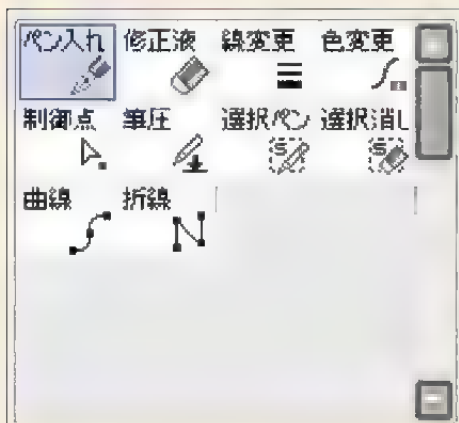


●多彩なブッシ



◀▲最大の特徴は、アナログの描き心地に極限まで近づけたブラシの質感。鉛筆、筆、水彩筆など、初期設定だけでも多彩な線が引けます。慣れてきたらパフメーターを変えて、自分好みの描き心地を追求しましょう。

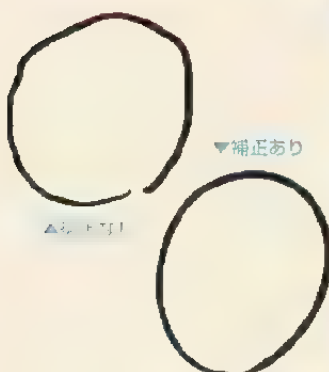
●ペン入れレイヤー



▲ペン入れレイヤーでは、描いた線のサイズや形、色を後から変更することができます。また、修正液というツールがあり、消しゴムに近い感覚で線を消すことができます。

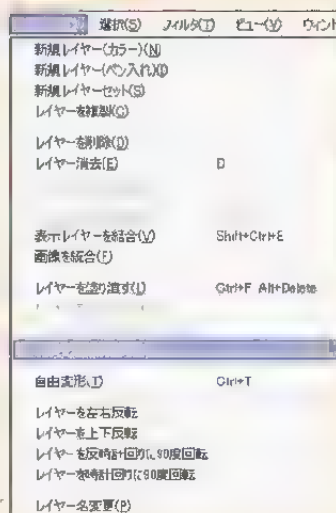
▲修正液で線を消す

●手ブレ補正



▲フリーハンドで線を引くと線がガタガタになってしまうときは、ウィンドウ上部にある手ブレ補正を設定すると滑らかな線が引けます。

●線画の抽出



◀▲アナログで描いた線画をパソコン上に取り込みたいときは、「輝度を透明度に変換」を使えば真っ白な部分を透明にでき、線画だけを取り出すことができます。

絵を描く手順

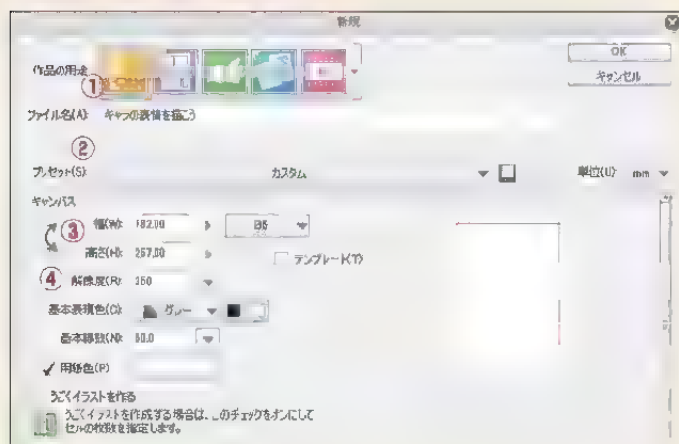
「CLIP STUDIO PAINT」も「ペイントツールSAI」も、ツールの特徴は異なるが、絵を描き始めるまでの手順はほぼ共通している。快適に絵を描くために、まず下準備の流れについて覚えよう。

キャンバスの作成

絵を描くにあたって必ず必要となるのがキャンバスの作成と設定です。イラスト投稿サイトやSNSなど、ウェブ上で公開することだけを目的とするならキャンバスサイズも解像度

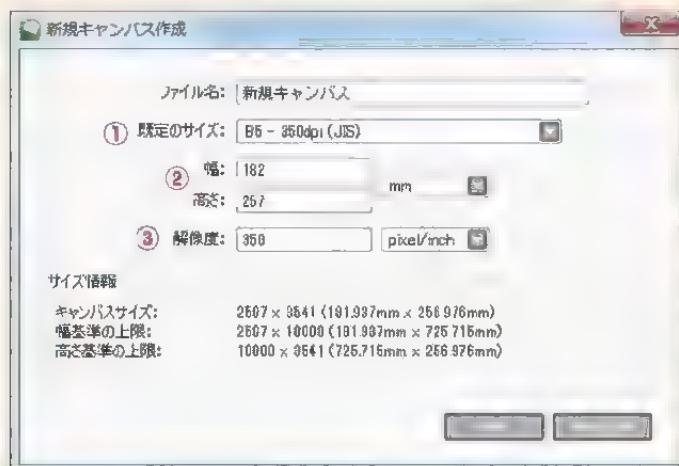
(dpi) もそこまで注意しなくても問題ないのですが、最終的に紙に印刷することを想定している場合は、ウェブよりも高い解像度に設定しておく必要があります。

●CLIP STUDIO PAINT



- ① 作成するキャンバスの用途を選択する。イラストなら一番左の黄色のアイコン、漫画なら左から2番目の紫のアイコンをクリック
- ② キャンバスのサイズと解像度をプリセットから選択する。ウェブ用なら72dpi、カラーの印刷物なら350dpi、モノクロの印刷物なら600dpiを選択する
- ③ ②のプリセットに当てはまるサイズがなかった場合、直接この欄に縦横のサイズを入力、もしくは右側のプルダウンメニューから用紙サイズを選択する
- ④ ②のプリセットに当てはまる解像度(dpi)がなかった場合、直接この欄に入力、もしくは右側のプルダウンメニューから解像度を選択する

●ペイントツールSAI



- ① キャンバスのサイズと解像度をプリセットから選択する。ウェブ用はサイズのみで解像度の記載なし(72dpi)、カラーの印刷物なら350dpiを選択する
- ② ②のプリセットに当てはまるサイズがなかった場合、直接この欄に縦横のサイズを入力する
- ③ ②のプリセットに当てはまる解像度(dpi)がなかった場合、直接この欄に入力する(※右側のプルダウンメニューは「pixel/inch」を選択)

キャンバスサイズと解像度

この項で上げているdpiは「dots per inch」の略で、解像度の一般的な単位。印刷物に必要な解像度は、パソコンのディスプレイでも綺麗に見える72dpiより高く、カラーなら350dpi、モノクロの漫画であれば600dpiあることが望ましい。キャンバスサイズはpixelよりも、mmやcmで表示したほうが印刷時のサイズが直感的にわかりやすくなる。ただし、解像度が高いとデータも重くなるので、ウェブ上での公開限定なら72dpiでも十分だ。

- 印刷物：カラー 350dpi、モノクロ 600dpi
- ウェブ：72dpi

レイヤーの設定

新規にキャンバスを作成すると、どちらのツールもラスターレイヤーが1枚設定されます。画像などを扱うときに使用するラスターレイヤーはペタ塗り、トーン貼りなどに向いていますが、

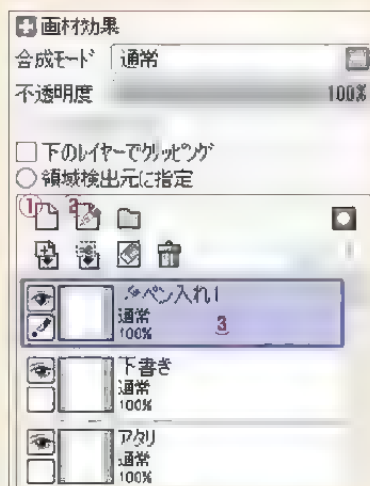
最初の線を描く段階では後から線を編集できるベクターレイヤーが向いていることもあります。工程ごとにレイヤーを分けると作業効率が良くなります。

●CLIP STUDIO PAINT



- ① ラスターレイヤーを作成したい場合は「新規ラスターレイヤー」アイコンをクリック
- ② ベクターレイヤーを作成したい場合は「新規ベクターレイヤー」アイコンをクリック
- ③ 任意のレイヤーを右クリックして「レイヤー設定」→「レイヤー名の変更」を選択、もしくはレイヤー名を直接ダブルクリックして名前を変更

●ペイントツールSAI



- ① ラスターレイヤーを作成したい場合は「通常レイヤーの新規作成」アイコンをクリック
- ② ベクターレイヤーを作成したい場合は「ペン入れレイヤーの新規作成」アイコンをクリック
- ③ 任意のレイヤーを選択して画面上部のメニューから「レイヤー(L)」→「レイヤー名変更」を選択、もしくはレイヤー名を直接ダブルクリックで名前を変更

ブラシを選んで描く

自分好みのブラシを選択して、頭の中にあるイメージを描き進めていきます。アタリや下書きは鉛筆系のブラシが使いやすいようなイメージがありますが、人によっては筆や水彩筆のほうが

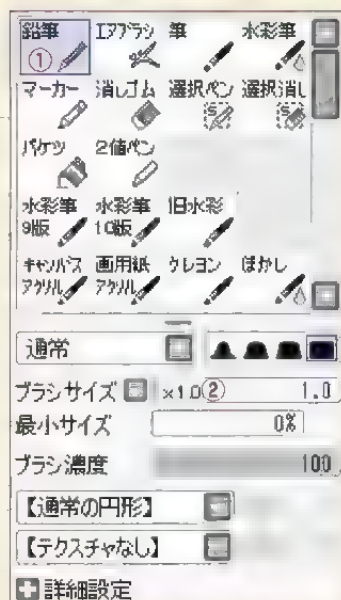
使い勝手がいい場合もあります。この本では約800点に及ぶ表情の作例を紹介していますので、自分に合った作例を参考にしながら描きたいモチーフを探していきましょう。

●CLIP STUDIO PAINT



- ① ペン、鉛筆、筆、エアブラシの中から任意のブラシツールを選択
- ② サブツールウィンドウから使用したいブラシの種類を選択
- ③ ブラシのサイズ、手ブレ補正の強さなどを設定して描く

●ペイントツールSAI



- ① 鉛筆、エアブラシ、筆、水彩筆などの中から任意のブラシツールを選択
- ② サイズ、ブラシ濃度などを設定して描く

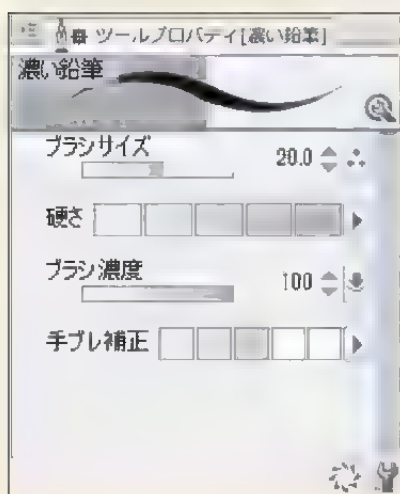
ブラシ設定と作例

どうもツールとして数枚のブラシがあるが、実際にどれを使ったらいいのかわからない人もいないかもしれない。参考として、本書に参加したイラストレーターの使用ブラシと作例を紹介しよう。

CLIP STUDIO PAINT

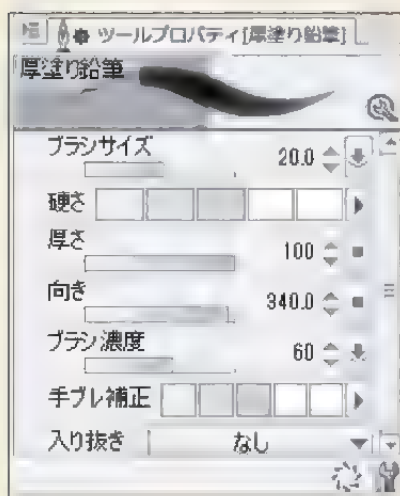
●濃い鉛筆

ブラシはデフォルトで登録されている鉛筆ブラシの「濃い鉛筆」です。描くときは全体をぱっと目見たときのバランスがおかしくならないように、常に別ウィンドウで全体が見える小さい画像を確認しながら描いています。(荻野アつき)



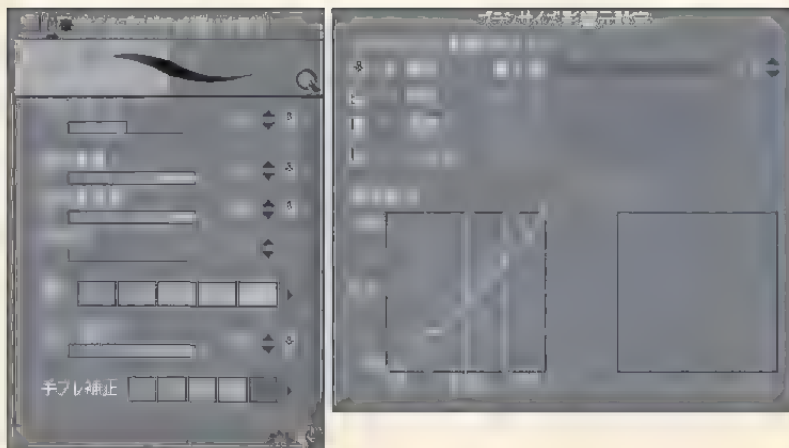
●厚塗り鉛筆

セルシスが運営している創作活動応援サイト「CLIP」で公式から配布されている「厚塗り鉛筆」(コンテンツID: 1376452) をそのまま使用しています。絵を描くときは、描きたいシーンのアニメーションを脳内で妄想し、その1カットを切り取るようなイメージで描いています。(印カ・オブ・ザ・デッド)



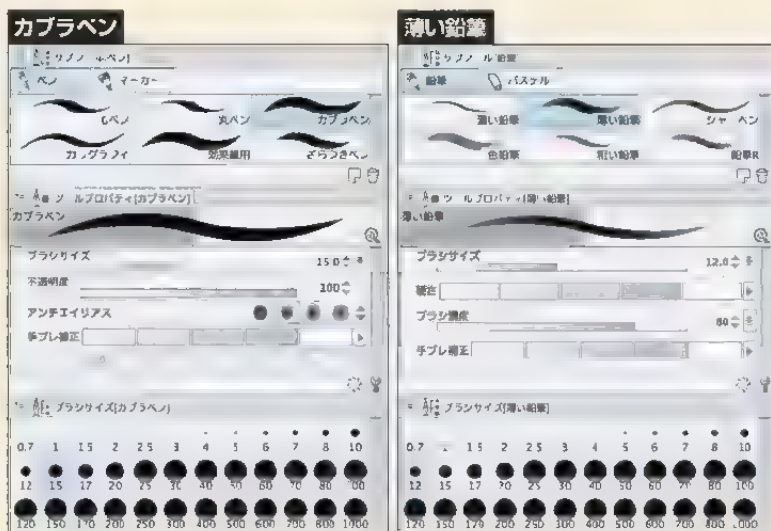
●濃い水彩

水彩ブラシの「濃い水彩」の設定を少し弄ったものを使っています。キャラを描くときは「どういう感情なのかを解りやすくする」「イメージしているキャラクター像を崩さないように気を付ける」といった点を意識しています。(風丘)



●カブラペン、薄い鉛筆

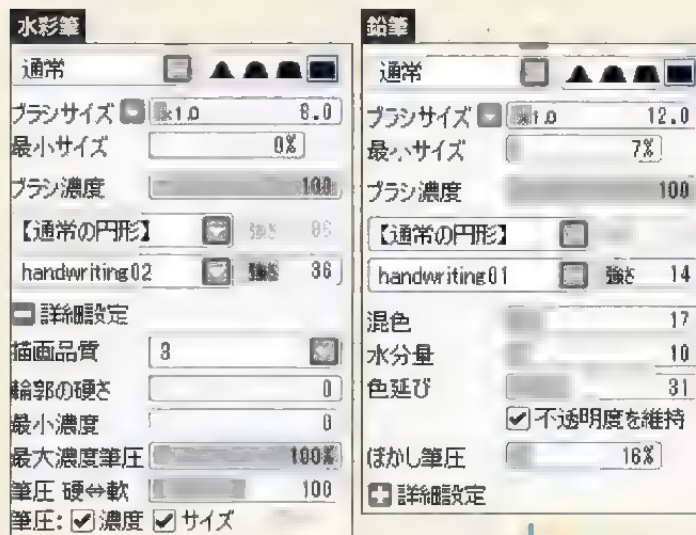
はじめの大まかなラフは「カブラペン」を、その後の下書きでは「薄い鉛筆」を、それぞれ設定を少し変えて使っています。キャラが感情をどう表情に出すのかをよく考えて、目と眉毛を動かすことを意識しながら描いています。(あおいサクラ子)



ペイントツールSAI

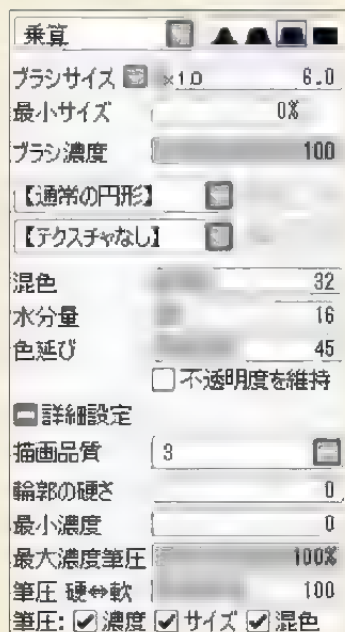
●水彩筆、鉛筆

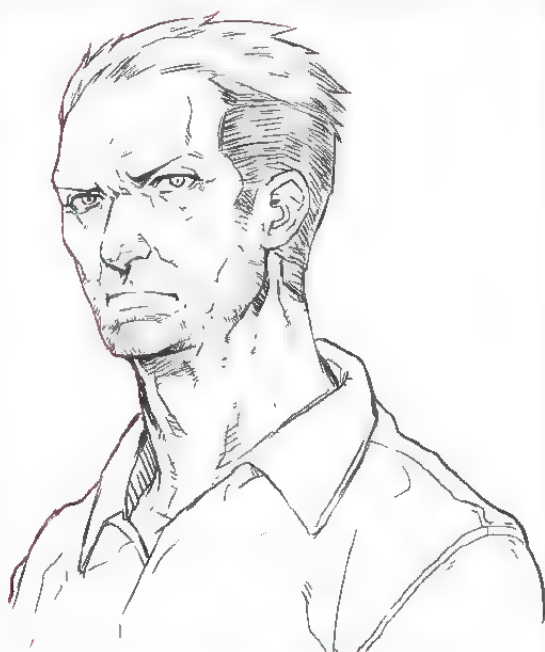
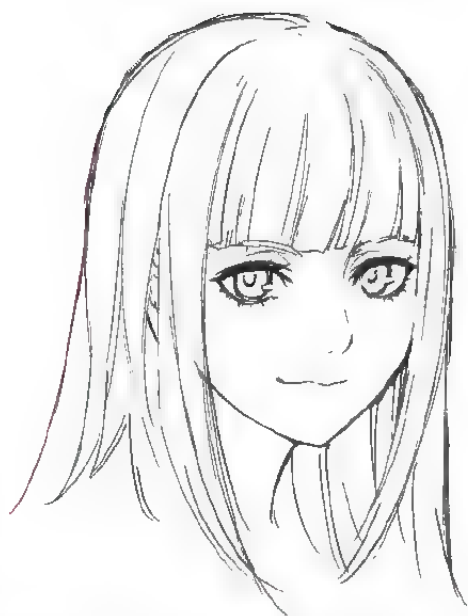
ラフは「水彩筆」、本描きは「鉛筆」ブラシで、それぞれ設定をいじっています。アタリは正しい位置へのパーツの配置、下書きは自分の描きたいイメージを掴み取る段階、本描きは絵を魅力的に仕上げようと努力する段階と割りきって考え、最初から完成品に持ち込まないように注意して描いています。(仲間安方)



●筆(乗算)

ブラシは「筆」の描画モードを乗算にして設定を調節して使用しています。キャラを描く際には、線が綺麗なことに越したことはないですが、多少線が粗くとも綺麗な「形」を優先するように心がけています。(かすかす)





第1章 基本編

表情を描くための基礎知識

表情ができる瞬間

私たちは日常で様々な表情をするが、それらは基本的に無意識の反応で、自分で意識的に表情を変えることは少ない。表情を描き始める前に、どんなときに表情ができるか考えてみよう。

感情・気持ちが生まれたとき

人は見聞きしたものやコミュニケーションを通じて、嬉しさ、悲しさ、怒りといった感情(気持ち)を抱きます。その感情が顔の筋肉を動かし、顔に表情を作ります。

▶ 怒る



▶ ひるむ(怖がる)



▶ ニヤリと笑う



▶ 切ない



▶ 悔しくて泣く



気温や体調の変化

暑さや寒さに対する体の反応や、眠くなる生理現象、病気による体調の変化など、自分の意志や感情とは無関係の体の機能に対しても、無意識のうちに表情は生まれます。

▶寒い



▶暑い



▶体の具合が悪い



▶眠い



食事

食べ物を口に含んで、噛む、飲むといった動作をすることで顔の形が変わるほか、味覚によっておいしい、まずいといった感想が、嬉しい、嫌だといった感情に繋がり、食事している顔には自然と表情ができます。

▶おいしくて嬉しい



▶まずくて嫌だ



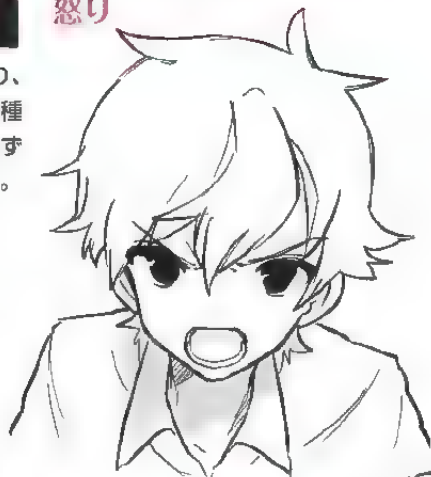
感情の種類

「喜怒哀楽」という言葉があるが、人の感情はそれだけでは表現できないたくさんの種類が存在する。ここでは、生物学や心理学の研究に基づいて大別された感情の分類を紹介しよう。

世界共通の感情6種

多くの研究結果によれば、「喜び、怒り、悲しみ、驚き、恐怖、嫌悪」、この6種の感情は、人種や地域、文化に関わらずみな同じ表情をするといわれています。

怒り



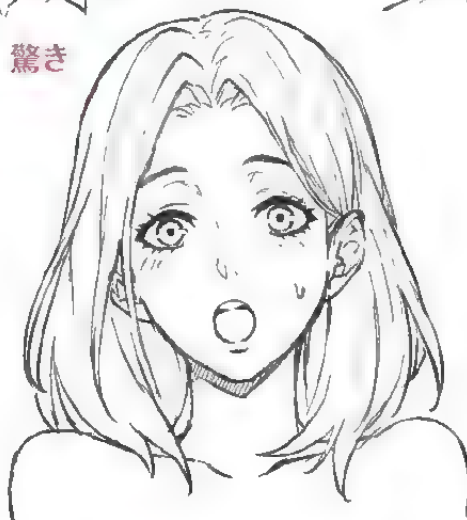
喜び



悲しみ



驚き



恐怖



嫌悪



感情の輪

心理学者のロバート・ブルチックは、左ページの6種の感情に「信頼」と「期待」を加え、それぞれの感情の強弱と組み合わせを表現した感情モデル「感情の輪」を提唱しました。一部、

日本人には馴染みが薄い表現があるかもしれませんが、感情の分類がとてもわかりやすくまとめられおり、本書でもこの表を参考にして表情を紹介していきます。



その他の感情を表現する言葉

日本語には感情を表現する言葉がいくつもあり、上述の「感情の輪」に当てはめるよりもストレートに表情のイメージが湧きやすい言葉があります。感情を表すボキャブラリーを増やすと、描ける絵の幅も広がります。

嬉しい、ドキドキする、憧れる、尊敬する
期待する、ワクワクする
信じる、警戒する、怪しむ、照れる、恥じらう
焦る、切ない、胸が苦しい、胸がときめく、心が躍る
悔しい、悔し泣き、すねる、むくれる、嫉妬、憎い...など

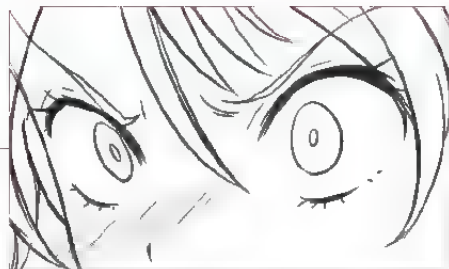
表情を作る顔のパーツ

私たちは表情を見てその人がどんな気持ちを抱いているか自然に読み取っているが、どこを見てその判断をしているのだろうか？ 表情を作りだし感情を表す顔のパーツについて解説しよう。

重要なのは目・眉・口の動き

どんな表情かを判断するポイントは、目と眉、そして口の動きです。これらのパーツの組み合わせで表情を描き分けることができます。

例：激怒する

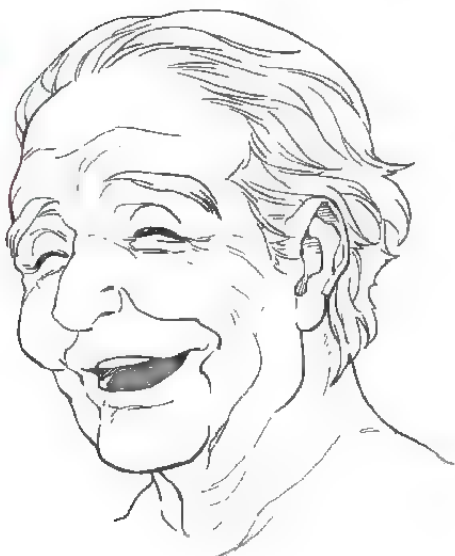


▲激しく怒ったことで興奮し、瞳孔が開く、目の周りに力が入ってまぶたが大きく見開く、眉間にシワが寄る、眉尻が吊り上げる、といった特徴が表れます。



▲上下の歯が見えるほど口を大きく横に開き、口を開けて怒鳴っています。怒ると頬の筋肉に力が入るため、口は縦より横方向の開き具合が大きくなります。

▶嬉しい笑顔



▶悲しくて泣く



目・眉

喜び (P47)



怒り (P55)



悲しみ (P63)



驚き (P71)



恐怖 (P79)



嫌悪 (P87)

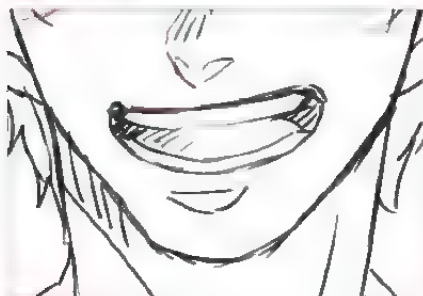


目の特徴は、目を見開く、目を細めるといったまぶたの動きと、瞳孔が開く、目をそらすといった瞳の動きの2つの組み

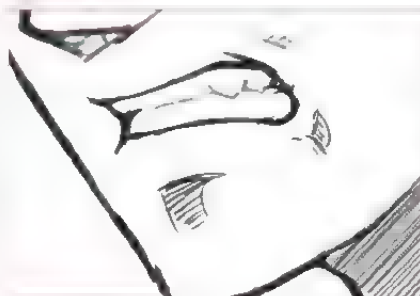
合わせでできています。眉は、眉頭が上がる・下がる、眉全体が上がる、眉間にシワが寄る、といった特徴が表れます。



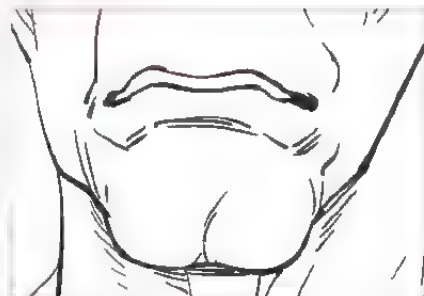
喜び (P47)



怒り (P55)



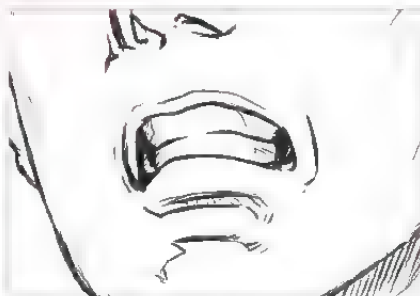
悲しみ (P63)



驚き (P71)



恐怖 (P79)



嫌悪 (P87)



口の動きは、口角が上がる、歯を食いしばる、唇を固く結ぶ、下唇に力が入るなどが挙げられます。上下の唇の形と歯の見

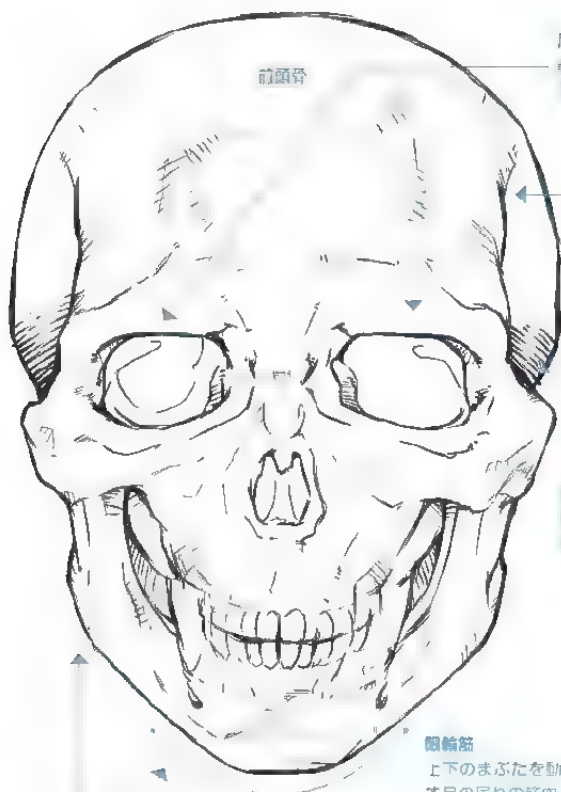
せ方が重要になります。下唇の下端を線で描き加えると唇の立体感が増します。

表情に関わる骨と筋肉

笑うとできる頬のシワや怒ったときの眉間のシワなど、顔に表れる線は皮膚の下にある骨や筋肉が影響している。多くの顔の骨と筋肉の中から、表情に関わる部位をピックアップして解説する。

骨と筋肉の顔に表れる部位

顔の骨と筋肉は人体の中でも特に複雑な形状をしています。表情を描くだけでなくすべての部位を覚える必要はありません。骨であれば頬骨と下あご、筋肉であれば目や眉、口の周辺の筋肉を覚えておけば役に立ちます。



眉骨

目の上にある骨。眉の生え際や目の間のシワが表れる原因となる。

目の上にある骨。眉の生え際や目の間のシワが表れる原因となる。

頬骨

目の下にある骨。目の下のシワや頬のシワが表れる原因となる。

頬骨筋

目の下にある筋肉。目の下のシワや頬のシワが表れる原因となる。

前額筋

眉を上へ上げ、顔に横皺を作る筋肉。怒りや集中時に動かしやすくなる。

眼輪筋

上下のまぶたを動かす目の周りの筋肉

小顔骨筋(上)、大顔骨筋(下)
口角を上や外側に引っ張り笑顔を作る筋肉

下顎骨

口の周りにある骨。口の形や口の周りのシワが表れる原因となる。

口角上唇筋

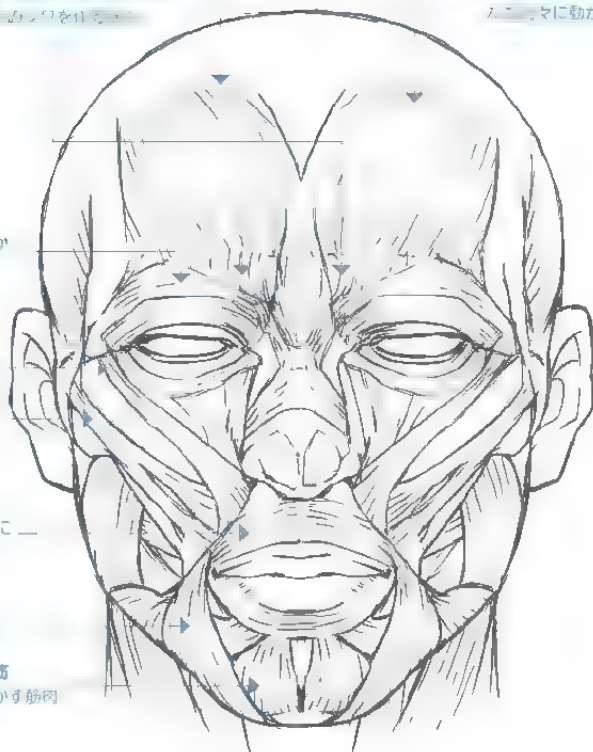
上下の唇を動かす筋肉。主に口先の動きに対応している

口角下唇筋

口角を下に下げる筋肉

オトガイ筋

アゴを動かす筋肉

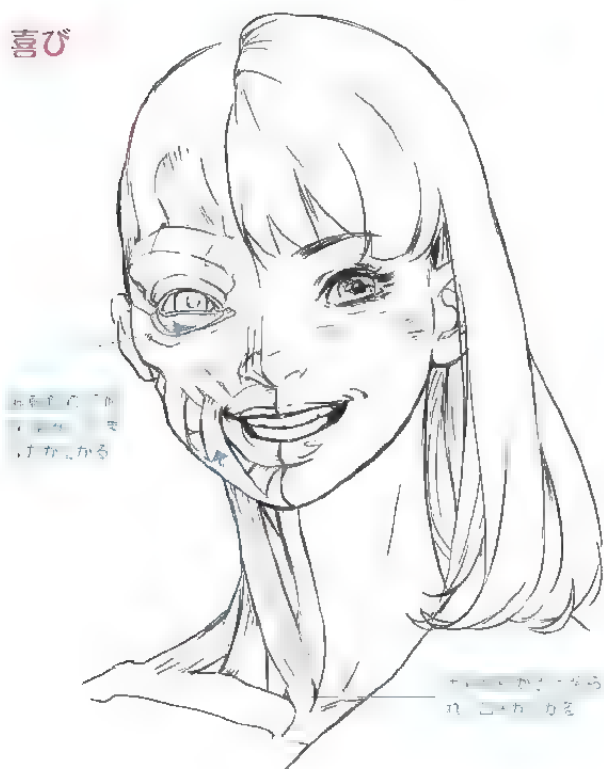


表情と筋肉の動き

表情ができたとき筋肉がどう動いているのか、いくつかの例を用意しました。目の周りや口の周りに注目して、筋肉の動きを観察してみましょう。

目の上まぶたと眉を8つの
ポイントで分けてみると
形を把握しやすくなる

喜び



悲しみ



怒り



驚き



年齢と顔のシワ

人間の顔は、年齢とともに肌の張りがなくなり、筋肉も衰えてシワやたるみができるようになる。積み重ねた歳月を感じさせる表情を描くために、顔のシワができるポイントを押さえよう。

シワやたるみができる場所

顔の中で特にシワやたるみができるやすい場所は、額、こめかみ、目元、頬、ほうれい線、口の周辺、アゴ、首などが挙げられます。



▶ 額、眉間、目尻、ほうれい線、喉の皮膚がたるんでいるシワを描き込むと、おじいちゃん顔にすることができます。

老いを感じさせるシワは、こめかみ、目尻、ほうれい線、口の周辺、アゴ、首などに描くことで表現できます。



こめかみ、目尻、ほうれい線、口の周辺、アゴ、首などにシワを描き込むことで、老いを感じさせる表情にすることができます。



こめかみ、目尻、ほうれい線、口の周辺、アゴ、首などにシワを描き込むことで、老いを感じさせる表情にすることができます。

目の上のくぼみ、ほうれい線、喉の線をはっきりと描くことで、年齢が上がるように表現できます。



中年以降の顔つき

30代前後から皮膚や筋肉の老化が始まります。個人差はありますが、30代後半～40代になると目元や頬にその兆しが表れ始め、50代でさらに顕著に、60代を超えると顔の皮膚全体が大きく垂れ下がります。

30代後半～40代

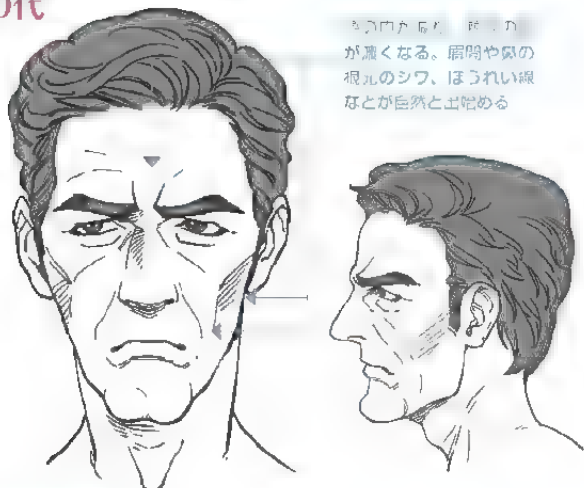


肉体的にはまだ若く、目の下に軽く影が浮き出る程度。顔の形が深い人であれば目立たない

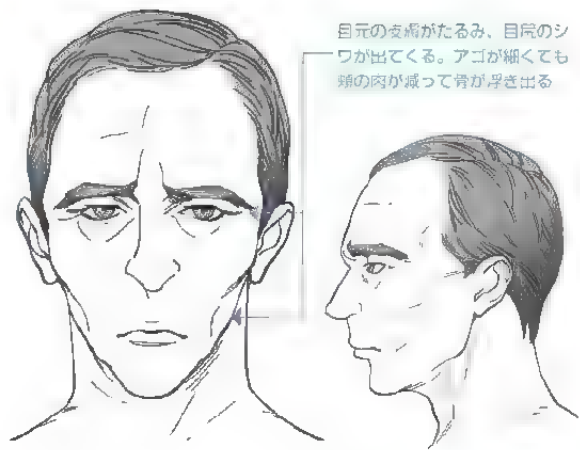


顔にシワがでさ始めるまた、元々頬骨が出ていたりエラが張っていたりする人は、骨の形が顕著になる

50代



目の下から、頬の力が減くなる。肩胛や鼻の根元のシワ、ほうれい線などが自然と出始める

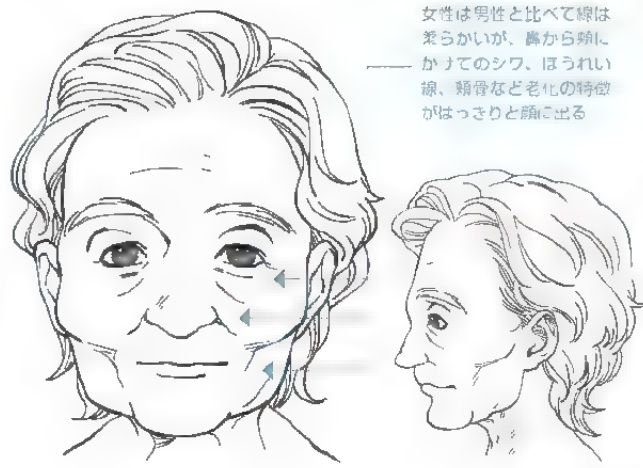


目元の皮膚がたるみ、目尻のシワが出てくる。アゴが細くても頬の肉が減って骨が浮き出る

60代以降



顔全体の皮膚がたるみ、目尻のシワ、ほうれい線がくっきりと表れる。アゴから首にかけての皮膚は大きくたるんでいる



女性は男性と比べて線は柔らかいが、鼻から頬にかけてのシワ、ほうれい線、頬骨など老化の特徴がはっきりと顔に出る

様々な輪郭の形

顔を描くとき、アタリの形状を変えると、老若男女問わず様々なキャラクターを描くことができる。この項を参考に、自分が描きたいキャラクターがどのタイプの輪郭か考えてみよう。

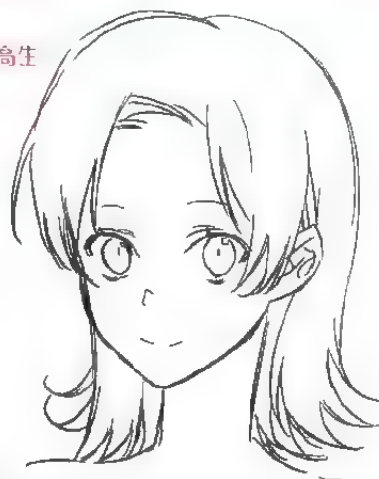
楕円

たまごのような楕円状の輪郭は、若者や中年までの男女など標準的なキャラクターの顔を描くのに向いています。

▶男子中学生



▶女子高生



▶女子大生



▶青年



▶大人の女性

▶30～40代の
オジサン

球体

球体状の輪郭は、未成熟な赤ん坊や幼児のほか、ふくよかな人、おじいちゃんといった丸っこい顔つきのキャラクターに向いています。

▶赤ん坊



▶幼児



▶女子小学生



▶中年のオバサン



▶太ったオジサン



▶おじいちゃん



長四角

長四角の輪郭は、骨が角張ったゴツゴツした体格のキャラクターを描くのに向いています。多くの場合、成人男性が当てはまります。

▶青年



▶がっしりした男性



▶悲そうな大男



▶渋い中年男性



▶おじいさん



▶ごついオジサン

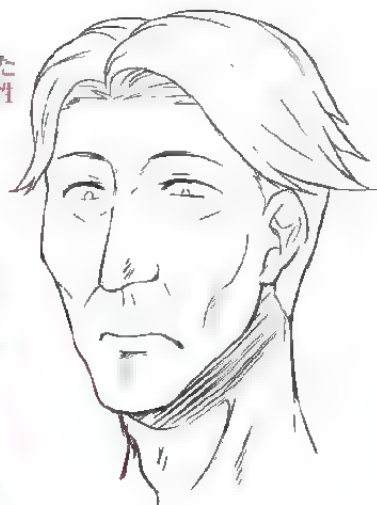


特殊型

個性的なキャラクターを描きたいときは、逆三角形や台形など、普通では使わないような特殊な輪郭を用いると効果的です。

▶ひょうつとした男性

細長楕円



▶顔が大きい男性

キューブ状



▶神経質そうな男性

逆三角形



▶頬骨が出ているおばあさん

五角形



▶頬骨とアゴが張った男性

六角形



▶太りすぎた男性

台形



漫画的な線のデフォルメ

人の顔や表情を自分なりの絵で表現するには、実物の特徴を捉えて「簡略化」や「誇張」をするデフォルメの技術が欠かせない。実際に描き始める前に、デフォルメ表現について考えてみよう。

主線を減らすシンプル化

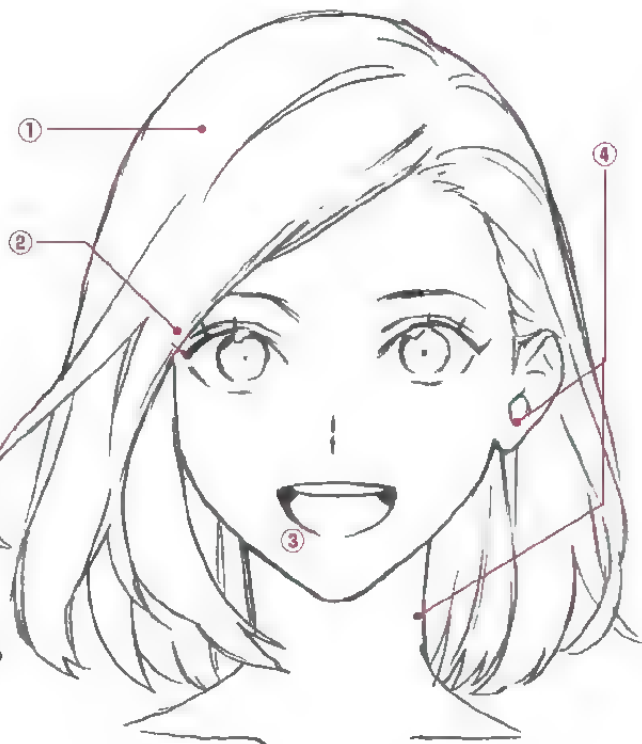
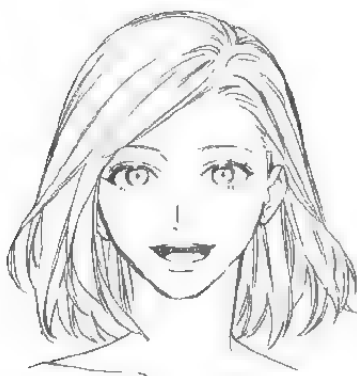
キャラクターの特徴を残しつつ少ない線で描くことは、意外と難易度が高い技術です。最初は写真などを参考にリアルな頭身の顔を描けるように練習し、そこから主線を減らしてシンプル化していきましょう。

男性



- ① 細い毛束をまとめて太くする
- ② 二重まぶたを一本の線で描き、まつ毛の外側を濃くする
- ③ 下唇の下端や鼻孔を取り、口を一本の線にする
- ④ アゴの輪郭を少し柔らかくし、首筋の線をなくす
- ⑤ 耳の描き込みを減らし、縁の線だけ描く

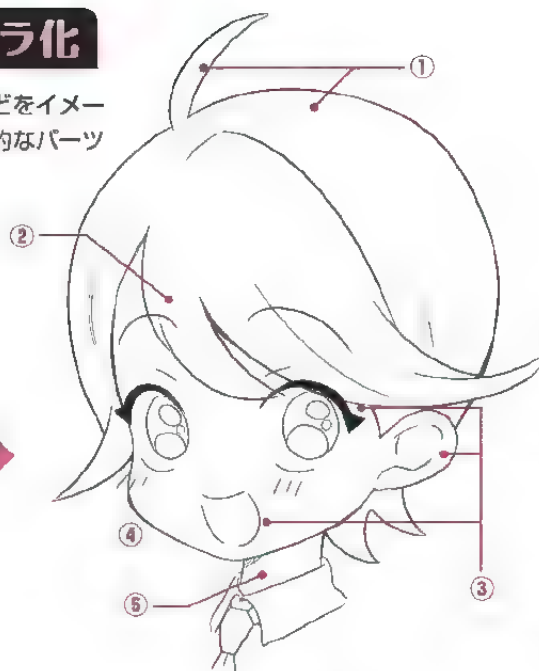
女性



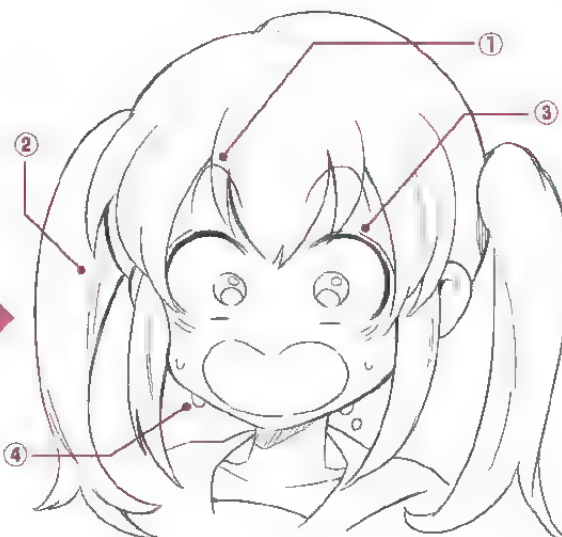
- ① 毛の線を減らし、髪のアウトラインを強調する
- ② 目を大きくし、下まつ毛を一本の線にする
- ③ 口の両端を丸くし、上唇のラインをシンプルな曲線にする
- ④ 耳のつけ根と頬の輪郭や、首と肩の交差する箇所の線を繋げる

頭身を誇張したちびキャラ化

ちびキャラの表情を描くには、2〜4頭身ほどをイメージして頭部を大きくし、目や口など顔の特徴的なパーツをオーバーに描くのがポイントです。



- ①頭部を大きくして、ハネ毛を強調する
- ②細かい毛束を大きな房状の束にする
- ③目、耳、口を大きくして目のキラキラを強調
- ④輪郭は幼児の顔のように横幅を広くする
- ⑤頭部とは反対に、首は細くする



- ①びっくりした眉のカーブを強調する
- ②デフォルメしつつ、毛の流れも少し描きこむ
- ③まぶたを大きく、目を小さく描いて差をつける
- ④汗の量を増やす

その他のデフォルメ作例

▶嬉しい



▶悲しい



▶怒る



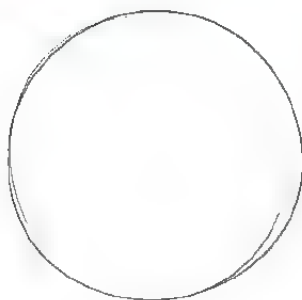
顔のアタリの取り方

複雑なパーツが多い顔を描くには、ガイドラインとなるアタリの線を引くとバランスが取りやすい。正面、斜め、フカン、アオリ、横、後ろ向きなど、様々な角度から顔を描くコツを覚えよう。

正面

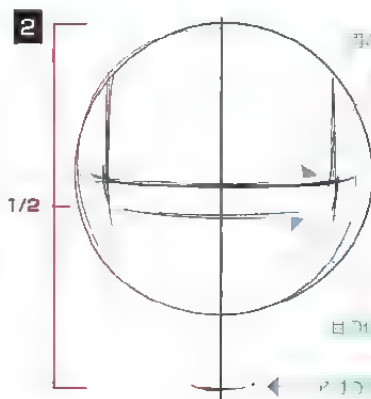
目鼻や口の位置が把握しやすい分、ちょっとしたズレも目立ちやすい正面顔。アタリをうまく活用すれば、早い段階からバランスの狂いを修正していくことができます。

1



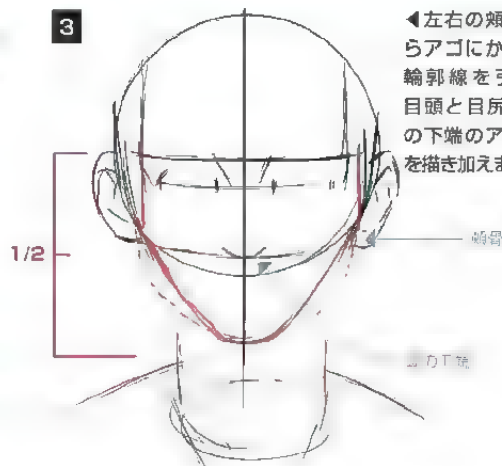
▲アタリのもととなる円を描きます。

2



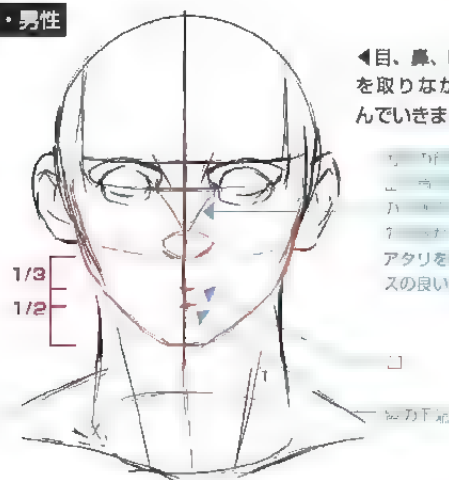
▲円の左右と上下の中央にアタリ線を引きます。

3



◀左右の頬骨からアゴにかけて輪郭線を引き、目頭と目尻、鼻の下端のアタリを描き加えます。

4・男性

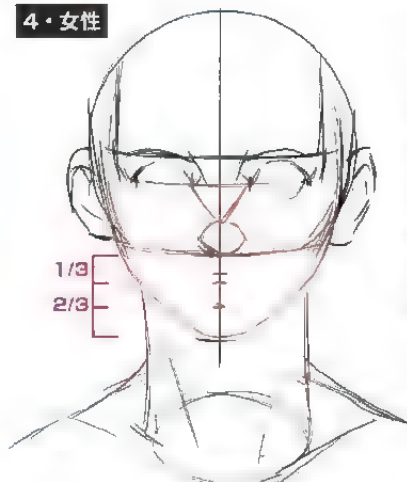


◀目、鼻、口のアタリを取りながら描きこんでいきます。

男性の顔は、鼻の下端とアゴをつないだ線の長さを全長として、以下がおよその基準となります。

アタリを、バランスの良い図を描ける

4・女性



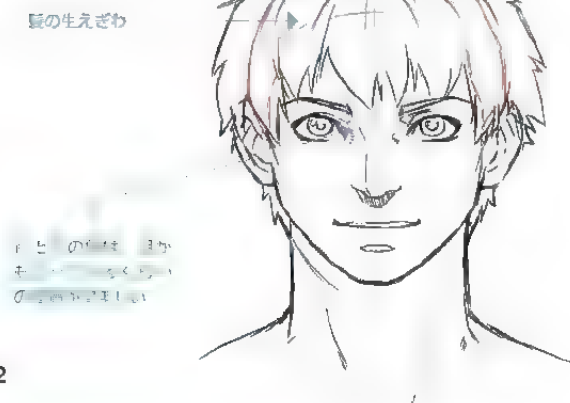
◀女性は男性に対して、鼻から顎までの距離をやや短くすると性差が出やすくなります。鼻の下端とアゴをつないだ線の長さを全長として、以下がおよその基準となります。

〔男性〕 1/3：口の位置、1/2：唇の下端の位置

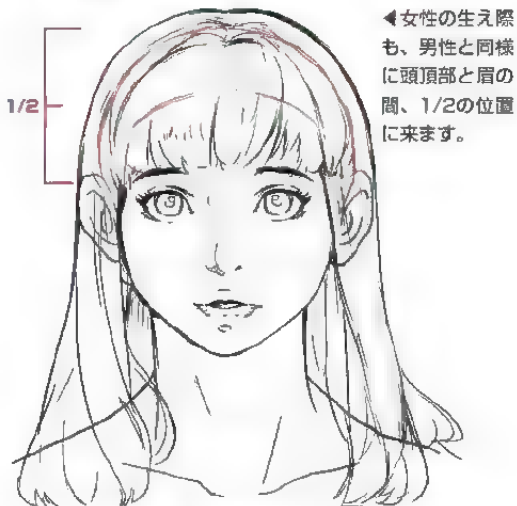
〔女性〕 1/3：口の位置、2/3：唇の下端の位置

完成

髪が生えざわ



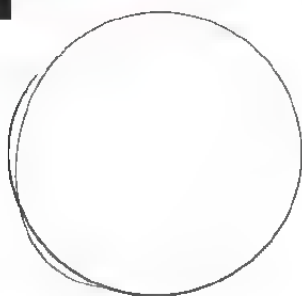
1/2



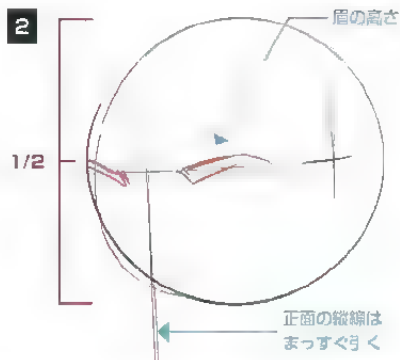
◀女性の生え際も、男性と同様に頭頂部と眉の間、1/2の位置に来ます。

斜め

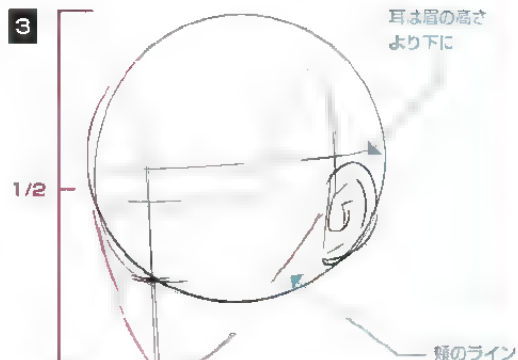
斜め正面向きは、顔の立体感が出るので見栄えのいい構図です。ただし、目の形が左右で違うなど各パーツの形状が変わるので、顔の中心線の位置を常に意識してバランスを取ることを心がけましょう。



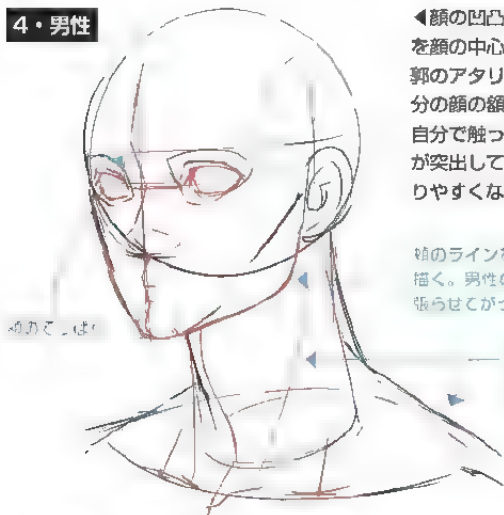
▲正面向きと同じく、正円状のアタリを描きます。二次元的な円ではなく、球体を意識します。



▲顔の向きを決定するため、正面と側面に縦のアタリ線を引きます。その後、球体を2等分する横方向のアタリ線を引きます。



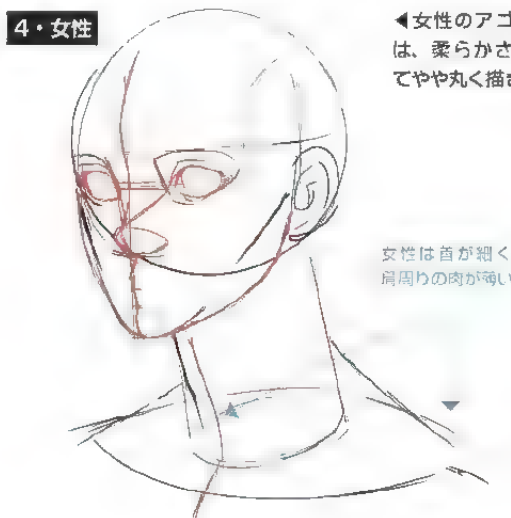
▲横線の少し下に目の高さのアタリ線を引きます。
目の高さを中央として、頭頂部までの距離と同じだけ下側に引き延ばした位置がアゴの下端になります。



◀顔の凹凸を表すアタリ線を顔の中心に描き、目と輪郭のアタリを描きます。自分の顔の額、鼻、口などを自分で触っていくと、どこが突出しているかよりわかりやすくなります。

鎖のラインを基準にアゴを描く。男性のアゴはやや角張らせてがっしりと

男性は首が太く、肩まわりに肉が付く



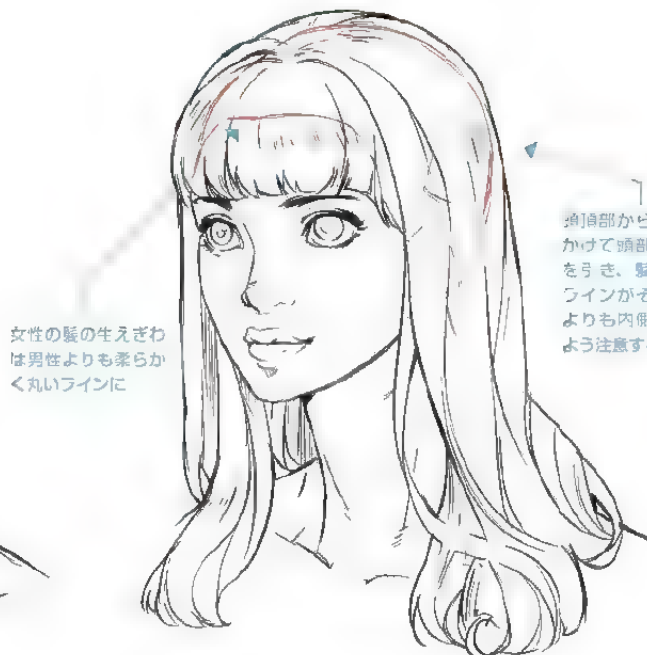
◀女性のアゴのラインは、柔らかさを意識してやや丸く描きます。

女性は首が細く
肩周りの肉が薄い



髪が生えざわ

▶ 基本的な目、鼻、口の位置は正面向きの顔と同様です。



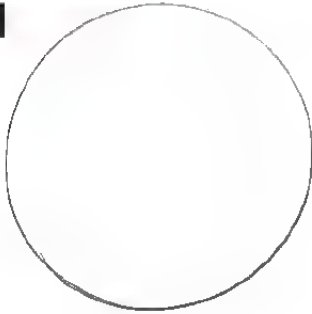
女性の髪が生えざわは男性よりも柔らかく丸いラインに

頭頂部から後頭部にかけて頭部のアタリをうき、髪のアウトラインがそのアタリよりも内側に来ないように注意する

フカン

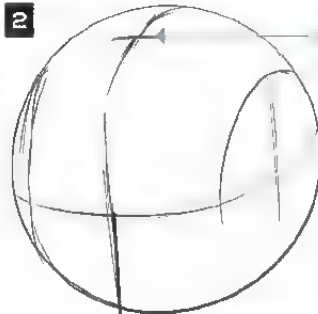
フカン（俯瞰）は対象を上から見下ろした構図。水平な位置から見た顔に比べて、口や鼻先が下向きになる、目が伏し目に見える、頭頂部が見えるといった特徴が現れます。

1



▲水平な位置から見た斜め向きの顔と同じように、球体を意識した正円を描きます。

2



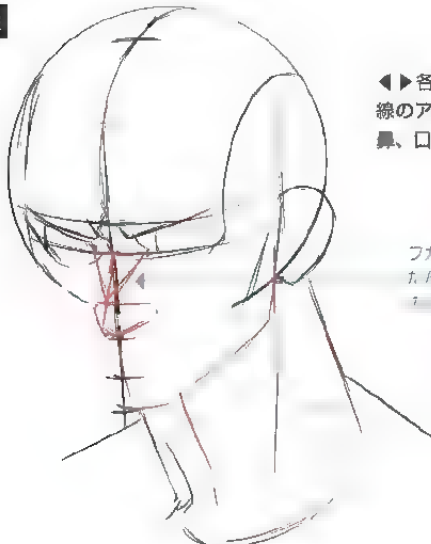
▲正面と側面に縦のアタリ線を、球体の中央に横のアタリ線を引きます。正面側の縦のアタリ線はまっすぐ下に伸ばします。

3



▲正面、斜め向きの顔と同じ要領で、目の高さのアタリ線と鼻先、アゴの位置を描きます。

4・男性



4・女性

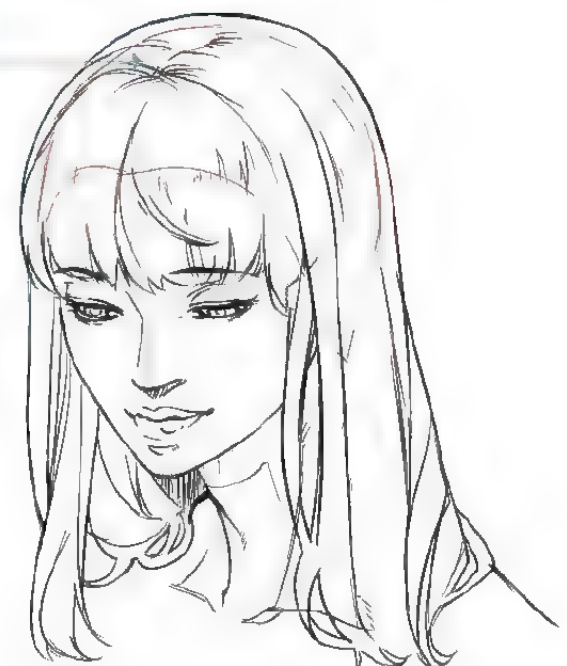


◀▶各アタリに沿って顔の中心線のアタリを立体的に描き、目、鼻、口の位置を決めていきます。

フカンするとき、目のアタリまっすぐな線より下向きになる

アゴの先端は、最初まっすぐな線より内側の位置にくる

完成



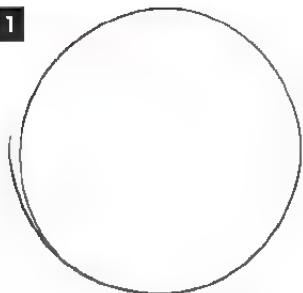
頭頂部のアタリをまっすぐすると、髪の毛が正しく分けられる位置を把握しやすくなる

◀▶伏し目になりがちなフカンの構図ですが、基本的な構造は斜め向きの顔と同様です。

アオリ

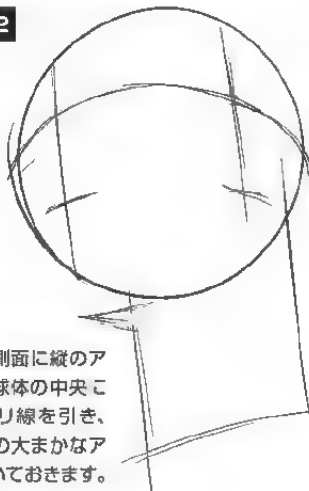
対象を下から見上げるアオリ(煽り)構図は、アゴや鼻の下側などあまり馴染みがない部分を描く必要がある、難易度の高い構図です。顔の中心線を頼りに、各パーツを平行に描くように意識しましょう。

1



▲球体を意識して円状のアタリを描きます。

2



▶正面と側面に縦のアタリ線、球体の中央に横のアタリ線を引き、さらに首の太まかなアタリも描いておきます。

3



◀左右の眉、鼻の下端、唇の下端、顎の先の位置をそれぞれ平行な線を引くと、パーツのバランスが取りやすくなります。

アゴと首を斜め線
と平行に描く
アゴと首の角度で描く

4・男性

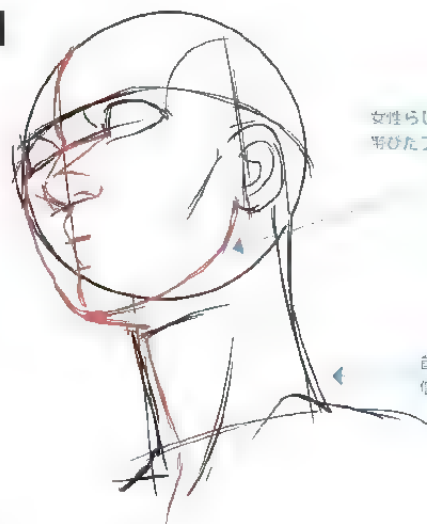


唇と唇の下端の間が広く見える

目は、下まぶたが
上向きに弧を描く



4・女性



女性らしい丸みを
帯びたラインで

首は男性より細く
首筋も控えめに

完成



◀▶アゴと首の間の空間はアオリで重要なポイントです。頭部と首が円柱で接続されているイメージで仕上げます。

前髪は少しボリュームを持たせる

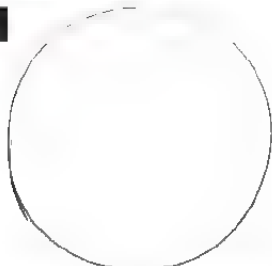
男性は喉仏が出やすいので「あだ」アゴを少しだけ描く



横

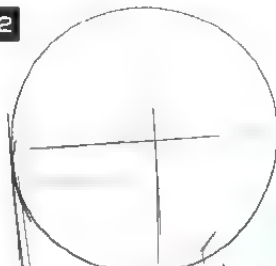
真横から見た構図で重要なポイントは、鼻と口の位置や目の形です。描きなれないうちは難しく感じるかもしれませんが、パーツが少なく把握しやすいので、実は初心者向けの構図でもあります。

1



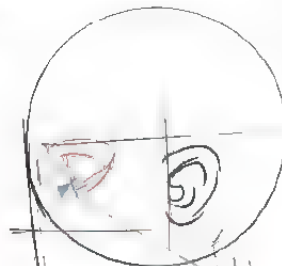
▲正面向きと同じように円状のアタリを描きます。

2



▶円の上下と左右の中央にアタリ線を引き、目とアゴの位置を決めます。

3



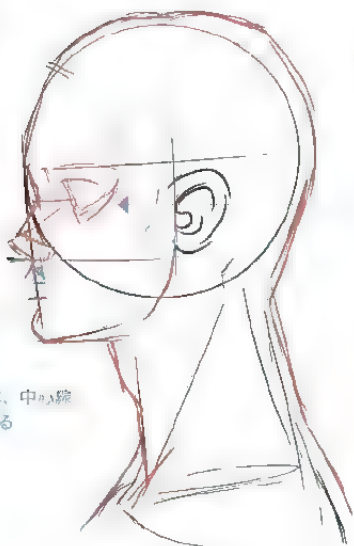
◀目と鼻の始点、耳を描いていきます。耳の始点は円の中央下側に来ます。

鼻の始点が円の縁よりやや内側にあると自然な印象になる

胸鎖乳突筋の線

首は真下ではなく、やや前方に伸びる

4・男性



鼻の位置は、中心線より内側に入る

◀◀アタリ線をもとに顔の線を整えつつ、後頭部や喉、背中などを肉付けしていきます。



上まぶたは常に下まぶたより前にあるので、横から見た目は斜めに描く

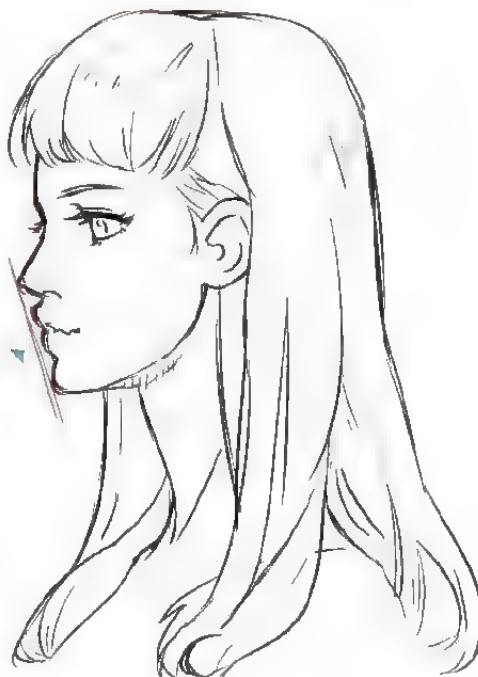
4・女性



完成

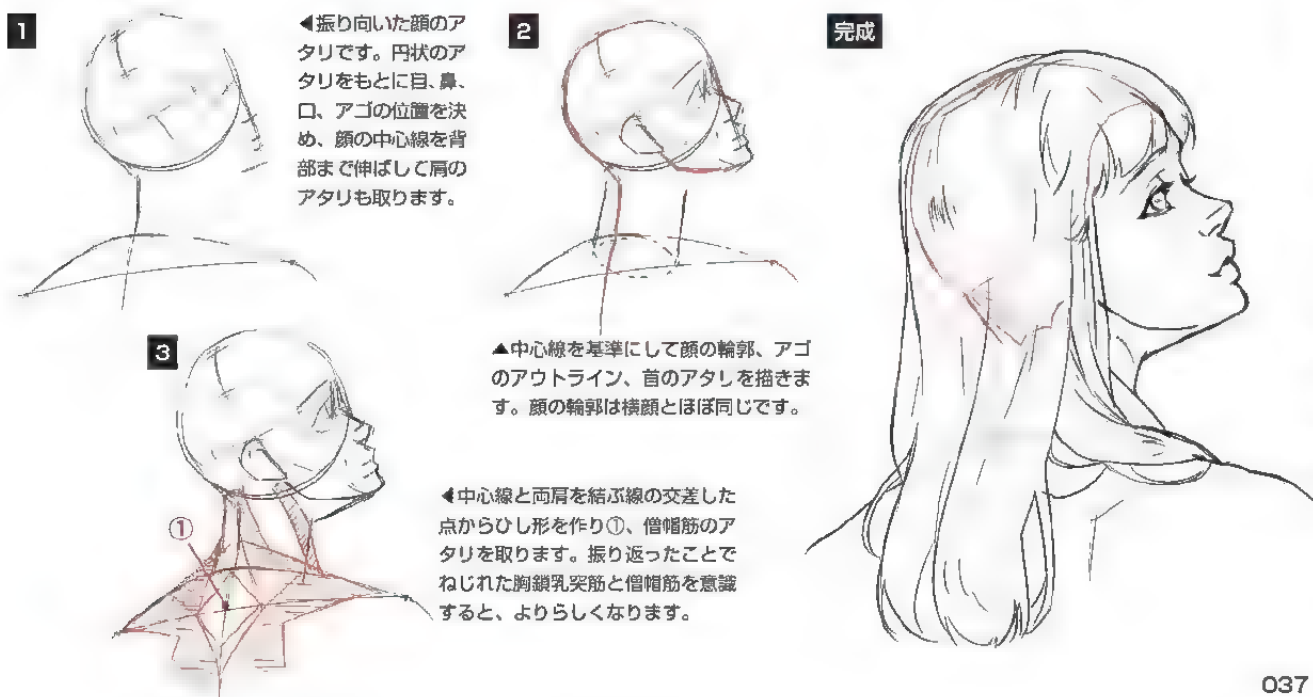
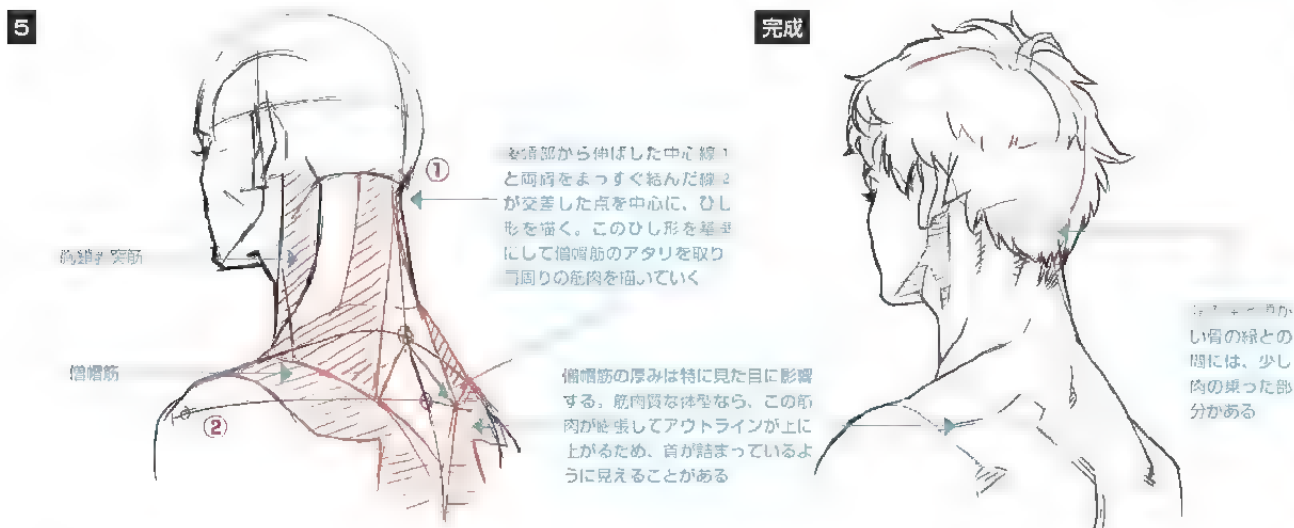
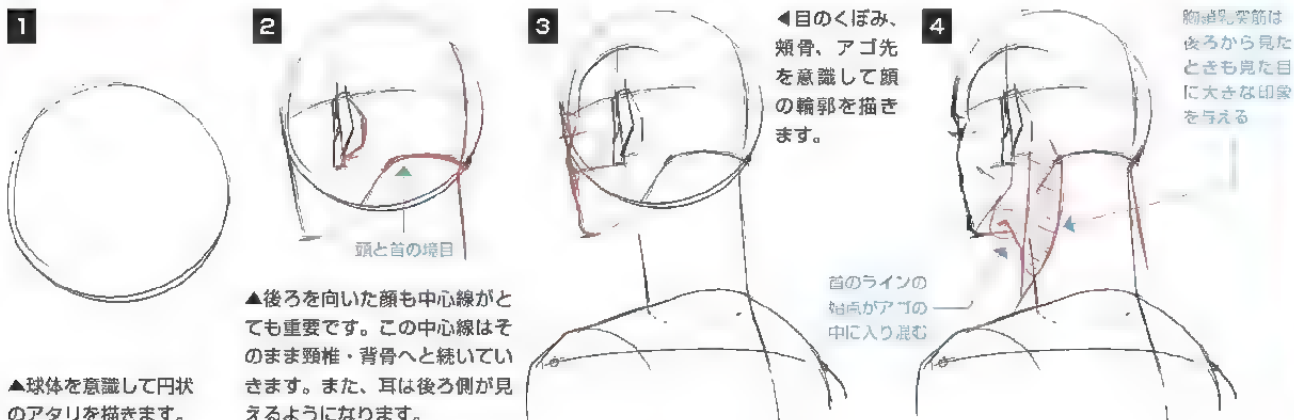


顔とアゴの頂点を結んだ線は、横から見るときれいに見える



後ろ

後ろ向きの構図は、顔のパーツがほとんど見えず表現するのがとても難しい構図です。説得力を出すには、輪郭線だけではなく首や肩、耳の形をしっかりと描くことが重要になってきます。

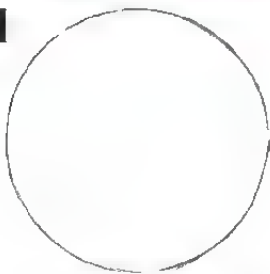


様々な顔の描き方

アタリは顔を描くための重要なツールだが、基準とする線の位置は個人によって異なり、正解は存在しない。ここでは、年代や性別、タッチの異なる作例をいくつかピックアップして紹介する。

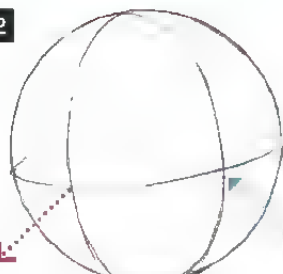
男性：20歳前後

1



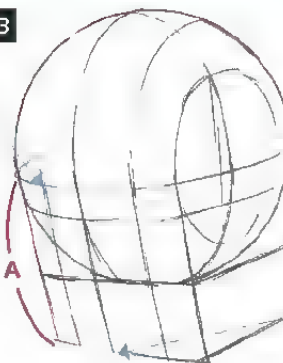
▲頭部の基礎となる正円を描きます。デジタルなら楽に描けますが、フリーハンドで描くのもいい練習になります。

2



▲顔の方向を決める縦の中心線と、耳の位置を決める横のアタリ線を描きます。

3



◀鼻や目、輪郭のアタリを描きます。Aの線を長くすると面長、短くすると丸顔になります。男性の場合は女性に比べAを長めにするより男性的になります。

4



◀輪郭に合わせて目鼻口などを描きます。男性は直線的で、丸みの弱い目鼻立ちになります。

アイの要素を1つずつにして描いていきます。

完成



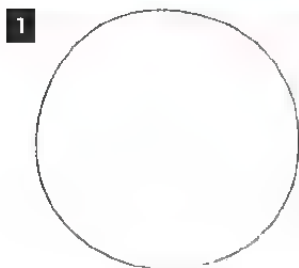
5

▶頭の形に合わせて髪を描いていきます。つむじがどこにあるか位置を決めて意識しながら描くと、髪の毛の流れが描きやすくなります。

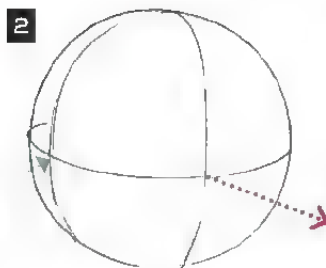


▲細部を微調整して完成です。1から3の基礎の工程はフリーハンドなので、どこかで歪みが発生しやすくなります。その線に引っぱられすぎると完成状態も歪んでしまうので、常に自分が良いと思う形になるよう調整してください。

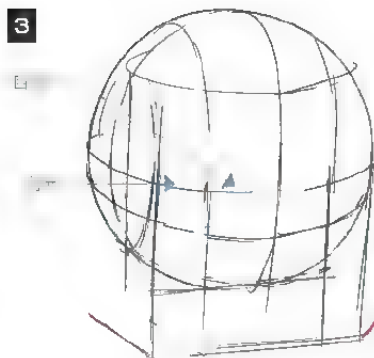
女性 10代後半



▲正円を描きます。女性であっても最初のアタリ線は同じ形です。



▲縦方向のアタリ線で顔の正面、側面の方向を、横のアタリ線で耳の位置を決めます。



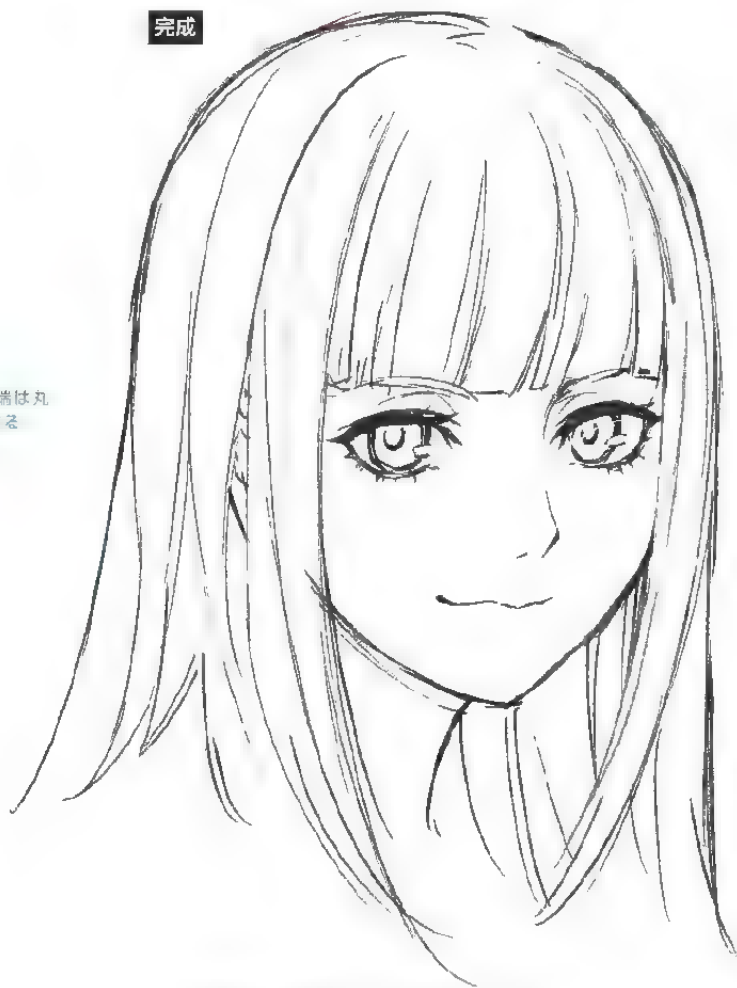
◀球体の中央、目の高さの線から下側にブロック状のアタリ線を描き、鼻や目、輪郭のアタリを描いていきます。女性の場合、Aの線を短くすると少女らしく、長めにすると大人の女性になります。



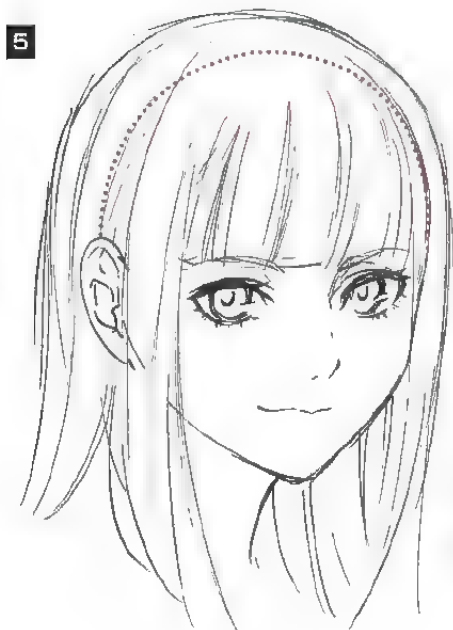
アゴの先端は丸めを意識する

▲輪郭に合わせて目鼻口などを描きます。女性は丸みのある目鼻立ちにします。

完成



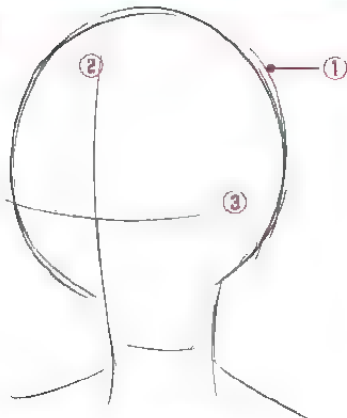
▲髪や目鼻の微調整、頬の輪郭を丸くするなどをして完成です。目を大きくすると年齢が下がり、眉尻を下げると柔かな印象になります。



◀頭の形に合わせて髪を描いていきます。女性、男性とも薄毛は見えないよう、毛のボリュームを増すように意識します。

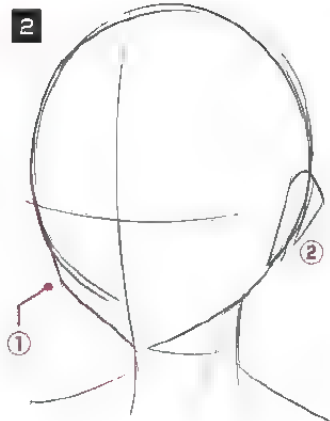
女の子・ファンタジー風

1



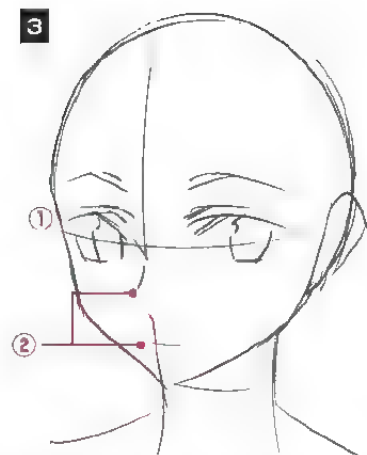
- ①輪郭の元になる円を描きます。
- ②顔の中心、左右の向きを決める線。
- ③目の位置、顔の上下の向きを決める線。

2



- ①縦のガイド線を基準に輪郭を描きます。
- ②耳は目線の高さと同じくらいの位置に。

3



- ①横のガイド線を中心に目を描きます。
- ②縦のガイド線を参考に鼻と口の位置を決めます。

4



- ①後頭部を少し膨らませると自然に。
- ②目のくぼみや額の側面など、実際の顔の凸凹を意識しながら目、鼻、口の位置や形を調整します。
- ③首は軽く内側に反らせます。

完成



- ①前髪や後ろ髪など、各部分を整えます。
 - ②側頭部にファンタジー風の角や尖った耳を描き足しました。この絵では最後でしたが、アクセサリやパーツなどは描きやすい段階で足すのをおすすめします。
- ※実物の顔への理解を深めるほど、様々な角度や絵柄、アレンジのバリエーションなど、一歩進んだ描き方に応用できるようになります。

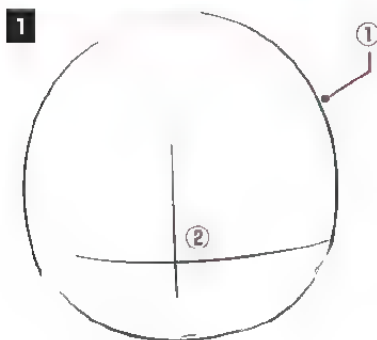
5



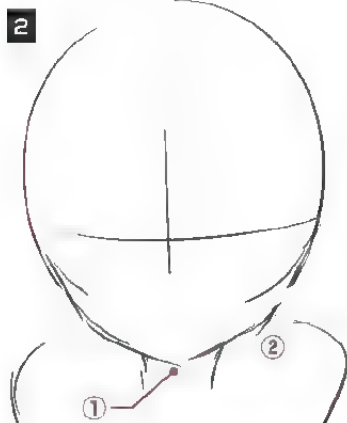
髪は、顔の形や目、口の位置に合わせて描く。ボリュームを付けて描く。

▶ 頭部のアタリを参考に髪を描くほか、目の瞳孔を描くなど各パーツを整えていきます。

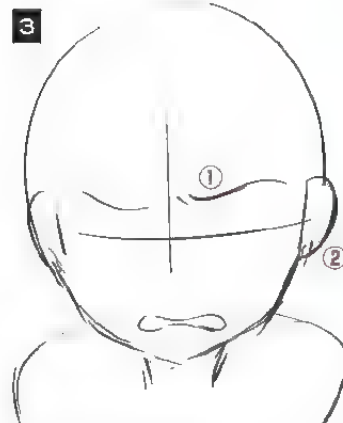
女の子：泣き顔



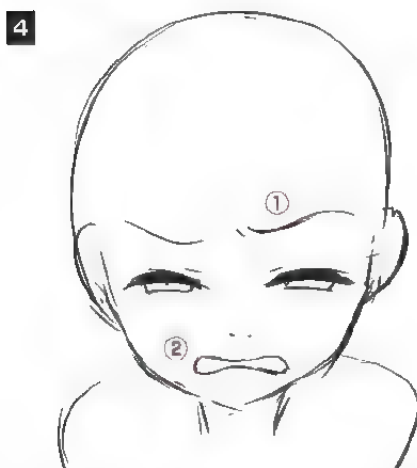
- ①頭部の目安になる円を描きます。
②十字のアタリ線を引いて顔の方向を決めます。ここでは正面、ややフカンにしました。



- ①アゴ先の位置を決め、輪郭を描いていきます。
②この段階で、おおまかな首と肩の位置も決めます。



- ①横のアタリ線を基準に眉と耳を、縦のアタリ線を基準に口を描きます。
②耳は目と同じくらいの高さを意識します。



- ①横のアタリ線上に目を描きます。目をぎゅっと閉じかけているので上まぶたが下がり、下まぶたは上向きの弧を描いています。
②泣き顔の少女なので、鼻孔が開き気味になるように鼻を描きます。

完成



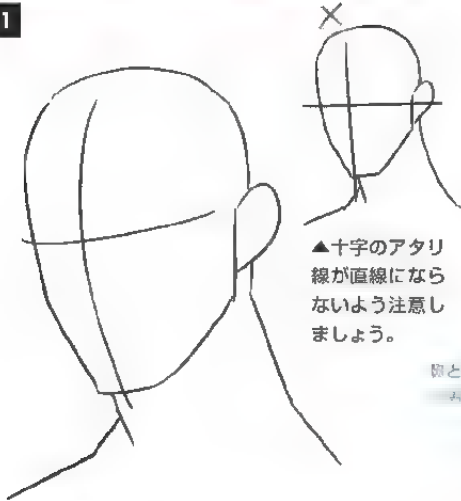
▲頭部、髪、肩などの不要なアタリ線を消しつつ、各部位の位置を調整しながら描きこんでいきます。最後に紅潮を表現する目の下の斜線や涙などを足し、泣いている表情を仕上げて完成です。



- ①大まかな髪のシルエットを描いていきます。
②頭部よりもやや余裕をもって離れた位置から、ボリュームを出しつつ髪の形を決めていきます。

様々な年代のオジサン

1



▲十字のアタリ線が直線にならないよう注意しましょう。

▲輪郭のアタリを描き、顔の向きに合わせて中心に十字のアタリ線を入れます。

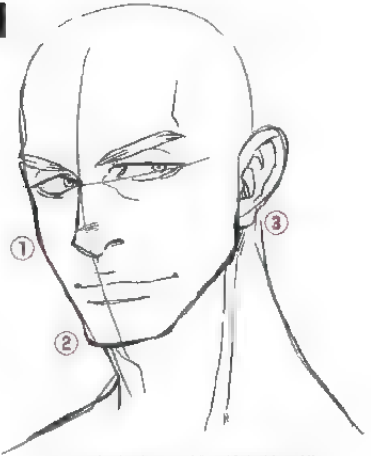
2



顎と眉をはっきり描く

▲十字のアタリ線を参考に顔のパーツから描いていきます。多くの方は輪郭から描かれるかもしれませんが、自分が描きやすければどの順番でも問題ないと思います。

3



▲骨を意識しながら輪郭線を描いていきます。頬骨①、アゴ②、エラ③などを骨太に描けば男性らしさ強調されます。首も太めに。

完成



喉仏の線

◀バリエーション①

加齢。更に骨を強張して輪郭をシワを足します。



口の周り、目の周り、頬のライン、ほうれい線、首のシワを加えると年齢がぐっと上がる

▶バリエーション②

髪型を変えたバージョン。顔が同じでも、髪型を変えるだけで印象ががらりと変わります。



▲髪を描く。髪はアタリの線の上びったりに描くのではなく、アタリの線は骨とするとその上に皮膚があって、髪があるということ意識して描くとバランスが取りやすくなります。

1



◀P33を参考に斜め向きの男性のアタリを描きます。

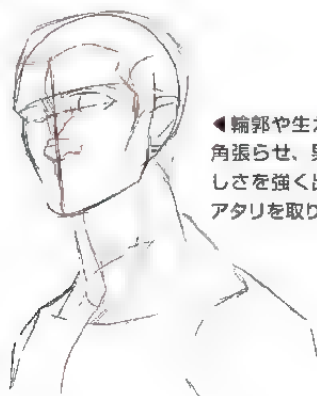
3:30~40代



◀アゴががっしりしているように見せるため、輪郭は直線を意識して描き、①のアゴ先は平らにします。頬骨の線と影を加えるのも年齢を出すポイントです。

口元が深くなり、オシサンっぽさが出る

2



◀輪郭や生え際を角張らせ、男性らしさを強く出したアタリを取ります。

3:50~60代



①吊り目な人でも、高齢になると皮膚がたるんで目尻が下がります。
②口の周りの無精ひげは、アゴの角張った立体感に沿うように意識して入れると説得力がぐっと増します。
③加齢によるアゴの印象の違いはとても重要なので、アゴと首の間の肉がややたるんできた様子を描くようにします。

3:60代~



高齢の男性は背中が丸くなり、首と肩がやや前に出てくる

①加齢と共に肌の張りが失われ、動きの多い目元や口元、おでこなどには細かいシワが目立つようになります。
②咽頭部には、喉仏を挟むように2本の隆起が特徴的に表れてきます。壮年以降のオジサンを描く場合、アゴから②の隆起を中心に首の表情を描くと、“らしさ”が出ます。

キャラクターの性格と表情

私たちは人の顔を見たとき、無意識のうちにその人の性格や今どんな感情を抱いているかを想像しています。例えば、つり目で表情があまり変わらない人は「クール・冷静」、たれ目で笑っているように見える人は「明るい、話しやすい」といったイメージを抱きます。この判断基準はあくまで自分から見た一方的なイメージですが、創

作においてはそれらの一般的な人が感じる要素を組み合わせることで、キャラクターの性格や感情の振れ幅、人生経験などを表現しています。

全世界共通の6つの感情をはじめ、私たちが日常的に接している感情の要素を表情に盛り込めば、多彩なキャラクターを描き分けることができるようになります。

▶明るい少女



自然と口角が上がり、目がぱっちり開いている人は、いつも笑顔に見えてポジティブな印象を受ける。反面落ち込んでいるのは気づかれにくい

▶クールな女性



切れ長の目と自信ありげな口元など、スタイリッシュな要素を持っている。ただし、顔つきがきつめで、怒っているように見えることも

▶陰のある女の子



伏し目で下を向き口角が下がっていると落ち込んでいるように見え、暗い印象を受ける。笑みも寂しげであるなど、感情の起伏も乏しい

▶嘘つきなおじさん



目元が笑っていないと嘘をついているように見え、人を騙しそうな印象を起こさせる。表情をいっいちオーバーにすると、嘘くささが増す



第2章 実践編

6種の基本感情の描き方

「喜」の表情を描こう

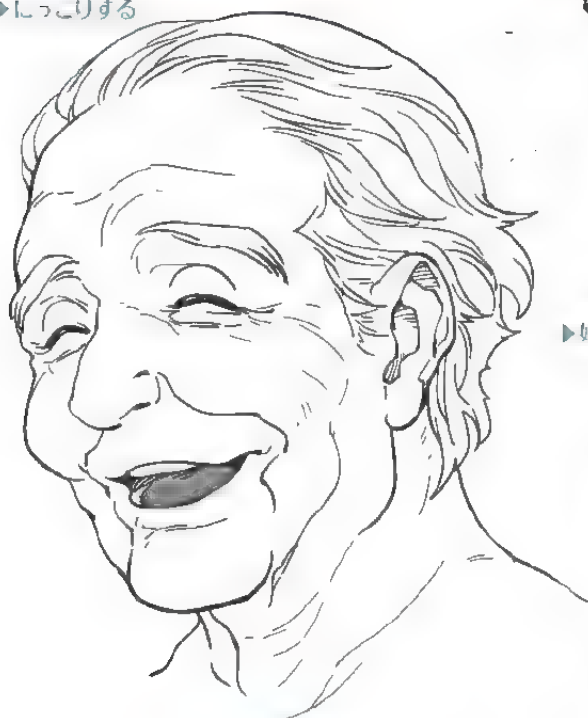
「喜」の感情から生まれる表情は、嬉しい、楽しい、笑顔、といった明るくポジティブなものばかり。自然体が笑顔であるなど、イラストや漫画でも描く機会が多い基礎中の基礎とも呼べる表情だ。

「喜」の表情例



喜び

▶ にっこりする



▶ 満足する

▶ 心地よい



▶ 楽しい



▶ 嬉しい



▶ 笑顔



▶ 上機嫌



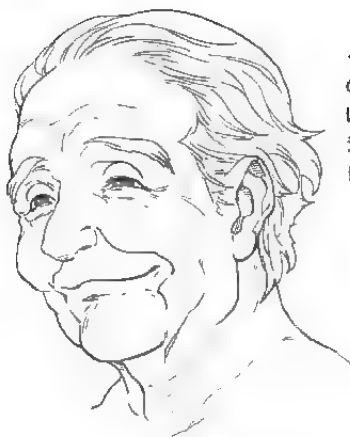
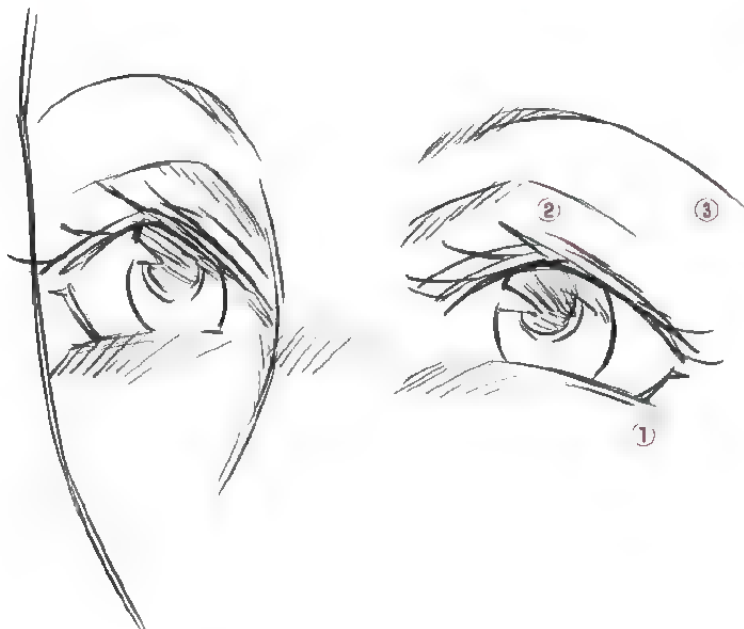
▶ 愉快



「喜」を表現する要素

目・眉

眼輪筋の下側が収縮して下まぶたが上がり、目が細くなります①。一方で、上まぶたは動きません②。また、眉尻が下がります③。



◀お年寄りは顔中のシワがたるんでいるので、目尻のシワや涙袋のふくらみが目立ちます。

▶眉を目よりもずっと高い位置に離して描くと、穏やかで柔しげな印象になります。



口元

口輪筋に繋がっている大頬骨筋が収縮して唇が耳に向かって引っ張られ、口角が上がります①。頬が盛り上がり②、口の端近くにくぼみができます③。



◀屈託のない笑顔を表現するには、口を大きく横に開くと雰囲気が出ます。

▶無表情で目を閉じるとまつ毛は下向きになりますが、笑顔の場合は上向きになります。



「喜」の強弱、大小を表現しよう

感情には強弱や大小の差があり、中でも「喜」の感情は、見た目でわかりやすい上に強弱の見分けもつきやすく、表情の描き分けを練習するにはうってつけだ。様々な「喜」の表情を描いてみよう。

「喜」の弱・小の表情

感情が小さい「喜」は、安らか、平穩、落ち着きといった言葉で表現され、自然体の微笑む表情になります。



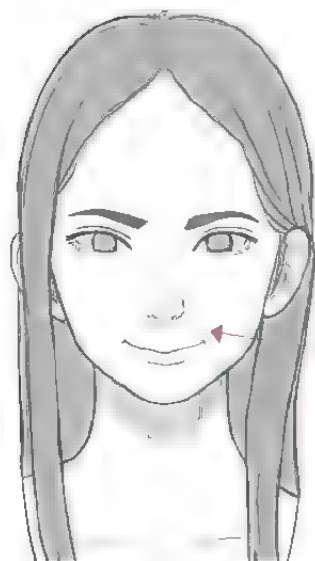
目が小さめの男性キャラクターでも、下まぶたがやや上向きになる特徴は同じ

◀眉尻を下げる、下まぶたを上げる、口の両端を上げるといった「喜」の基本要素を組み合わせると微笑む表情になります。さらに紅潮した頬の線を加えると、心から嬉しい様子が表現できます。



口の幅を広く描くと、微笑んだ印象がより強調される

女の子なら首を斜めに傾けるとかわいらしさが出る



口の両端を大きく上げれば、それだけで笑顔に見える



小首をかしげて微笑むと、穏やかで優しい雰囲気が出る



目尻が目頭より下になるように描くと、おっとりとした優しい顔つきに



きりっとした眉と目に微笑んだ口元を加えると、頼もしさや前向きさを感じさせることができる



▲笑顔に「好き」の気持ちを加えた表情。軽く微笑んだ口元と下がった眉尻で笑顔を、上目使いの腫とうっすら紅潮した頬で相手への好意を表現しています。



顔を軽く下に向け、やや上目使いの構図にするのも微笑みを表現するのに効果的



目元が笑っていないくても、口の両端が上向きになっていれば笑っている印象になる



口を開けて微笑むと、楽しんでいる表情になる

「喜」の中の表情

嬉しい、楽しい、満足といった気持ちを感じている状態で、はっきりとした笑顔が表情に出るようになります。

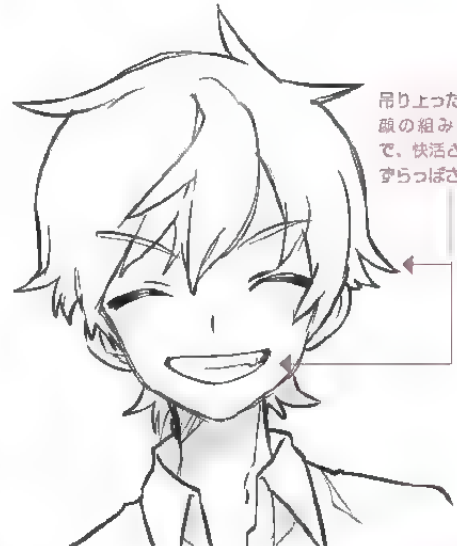
頭を傾け、口を開けた笑顔にすると楽しんでいるように見える



▶人は嬉しいとき、眉が上がり、目の瞳孔が開きます。また、口の開き具合が小さいと驚いているように見えるので、口角を上げて口の両端を大きく横に開きます。



吊り上がった眉に笑顔の組み合わせで、快活さやいたずらっぽさが出る



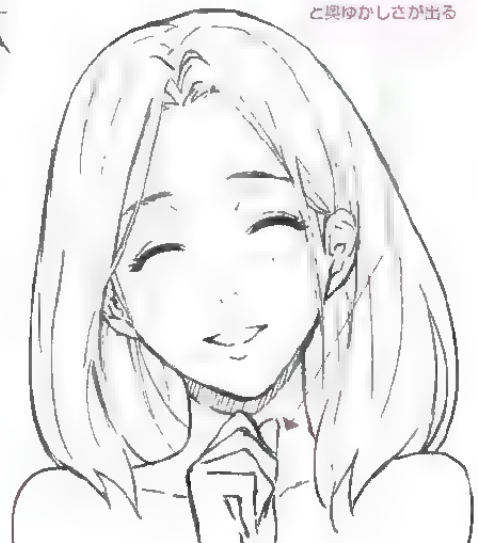
眉尻と目尻を下げると、優しい、おっとりとした印象に



歯が見えない程度に控えめに口を開け、アゴの下に手を添えると奥ゆかしさが出る



口を大きく縦に開いても、両端を上側に上げて口角が上がっている様子を表現すれば笑顔に見える

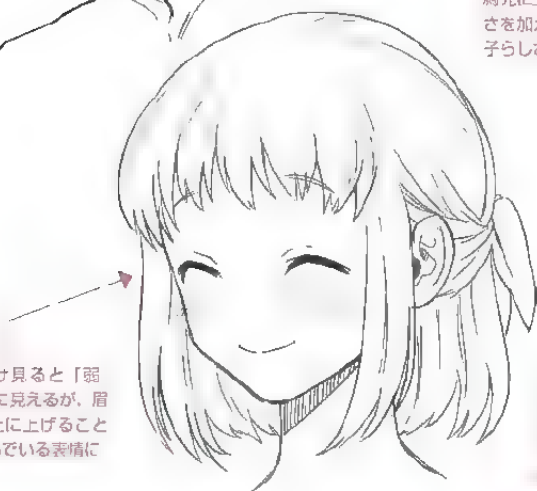




厳格なキャラクターは、あえて目を笑わせず口角をしっかりと上げた方が、気持ちの強さを表現できる

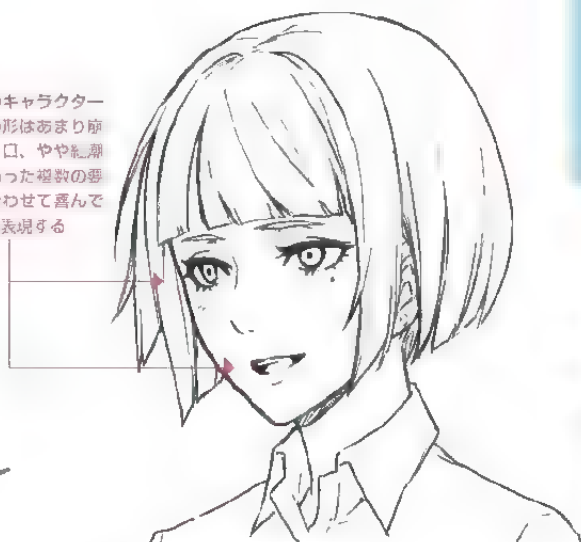


笑顔だけでなく、軽く握った両手を胸元に上げるしぐさを加えると女の子らしさが増す



目と口だけ見ると「弱小」の感情に見えるが、眉を大きく上に上げることによって強く喜んでいる表情になる

クール系のキャラクターは、目元の形はあまり崩さず、眉、口、やや紅潮した頬といった複数の要素を組み合わせて喜んでいる様子を表現する



首を閉じた口も、口の端を上によげると口角が上がって笑っているように見える

◀首は真っ直ぐより少し傾けたほうが、より喜んでいる気持ちが伝わります。



首を傾ける動きに合わせて髪に動きをつけるのも、感情を強調する手段の一つ

「喜」の強・大の表情

「喜」の気持ちがさらに強くなると、歓喜、恍惚、狂喜といった強い感情が生まれ、大きく破顔した状態になります。

歓喜の表情。目は下まぶたが上がりきって閉じ、口は縦方向にも大きく開く

大きく笑った反動で、首が後ろに反る



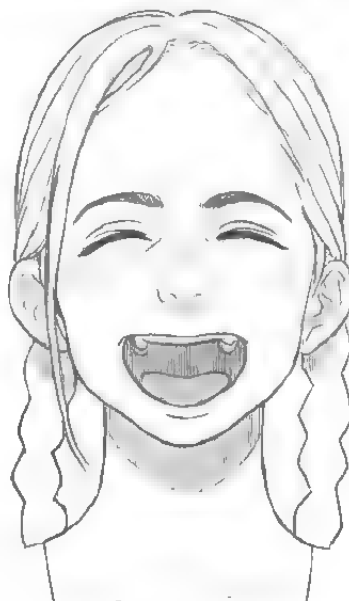
デフォルメした笑顔。上唇は猫を模していて普通の人間にはない形をしているが、口の両端が上がっているのだから笑っている口に見える。また、眉は困ったときのように下向きに曲がっているが、口元が笑っているのだから総合的に笑顔に見える



▼感動の気持ちが混ざった「喜」の表情です。大きく見開いた目にハイライトを加えてキラキラさせ、口も縦方向に大きく開きます。



▼朗らかな笑顔。目頭から伸びる目のくぼみの線を描くと写実的なリアルさが増します。こういったシワや、鼻、歯の表現をどこまで描いてどこまで省略するかが、個人の個性になっていきます。



笑っている口の上唇を弓のような形で描き、口の両端をピンと上げて口元にアクセントを加えている



漫画のギャグシーンなどで見かけるデフォルメ笑顔は、xを半分にわづたような形の目と大きく開いた口が特徴だ。口は骨格を気にせず大きさを重視して描こう



狂喜の表情。大きく見開いた目に対して瞳を小さくする、眉や上唇の線を皮打たせるなど、興奮しながら笑っている様子を描くと興幸性が際立つ



◀口の両端を誇張して鼻の高さまで引っ張ると、コミカルさが増してお茶目な表情になります。さらに、いい大人が手をがっちり組み合わせて楽しそうにしている、という見た目とのギャップが、オジサンの魅力を実際立たせます。

頬の斜線は、照れ顔の紅潮の表現だけでなく、笑顔のアクセントに



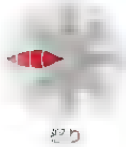
キツキツ感を出すには、瞳に星が映るといった演出も有効



「怒」の表情を描こう

「怒」は、身体などの有形のものや、名誉などの無形のものが、脅かされたときに生じる感情である。怒りの感情がピークのときに表れる顔は、見るものに大きなインパクトを与える重要な表情だ。

「怒」の表情例



どり

▶にらむ



▶怒鳴る



▶機嫌が悪い



▶不愉快



▶イラッとする



▶むかつ腹を立てる



▶怒りをあらわにする

▶威圧する



「怒」を表現する要素

目・眉

眉頭が下がり目と眉の距離が近づきます①。同時に、目が見開かれ上まぶたに黒目がかかります②。また、下まぶたが引きつってまっすぐになります③。



▶口を閉じていても、唇を突き出し、眉間にシワを寄せてにらむと怒って見えます。



口元

上唇挙筋が収縮し上唇がつり上がります①。下唇は、笑筋によって水平方向に引っ張られ②、下唇下制筋により下げられ突き出した形になります③。



◀下から見上げるようにまっすぐ相手をにらみつけると、純粋な怒りの表情になります。



▶黒目を小さくしたり肩をいからせたりすることによって、怒りの度合いを強めることができます。



「怒」の強弱、大小を表現しよう

日常生活では我慢したり抑えたりなど、はっきり表に出さないことも多い「怒」の感情。控えめに怒った弱めの表情から、瞬間的に爆発させた強い表情まで、様々な「怒」の表情を描いてみよう。

「怒」の弱・小の表情

弱めの「怒」は、不機嫌、苛立ちなど、ムツとした表情になります。まだ自分を意識でコントロールできる、理性的な状態です。

頬顔でも口をきゅっと結んで眉を吊り上げれば、まっすぐに怒り顔が出る



▼両方の頬をふくらませると、子どもっぽいかわいらしい怒り顔になります。

下まぶたを上げると顔をしかめる表情になる

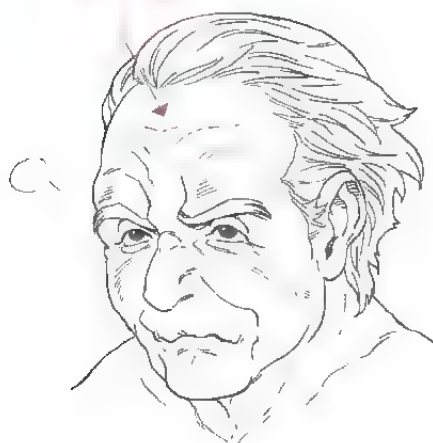


◀眉根を寄せる、下唇を突き出すなど、「怒」の基本要素が出た苛立った表情です。

上まぶたを半分まで下げると、不快感を抱いたようなじと目になる



額のシワと眉間のシワを上げる





◀ 眉尻を吊り上げると不機嫌さを感じさせることができます。口元から見える歯もポイントです。

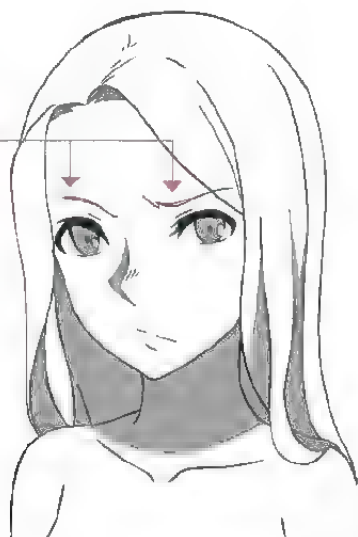


顔を上に向けて見下ろす感じを出すと、嫌悪感が混ざった苛立ちに見える

眉をひそめ、じっと見つめる顔は、反抗の意思を示す



片方の目と眉を普通に描き、左右で差をつければいぶかしげな表情に



▶ 目をそらして口をきつく結ぶと不機嫌さが強調されます。



目と眉頭を重ねるくらい近づけると目つきが険しくなり、高飛車な印象を与えられる



「怒」の中の表情

にらみつけたり、青筋を立てたりなど、怒りははっきりと顔に表れます。爆発する一歩手前ですが、爆発させず抑える場合もあります。

▶眉間のシワを額の上まで伸ばすと、怒りの強さを感じられます。きつく結んだ口の端にできるシワもポイントです。



横顔は眉尻をしっかり吊り上げて描くことが重要。口から八重歯を見せると攻撃的な印象が増す

口元の変化を抑えつつ目の印象を強くすると、冷静さを保ちながら怒っているように見える



▼眉頭を下げて目とくっつけます。上唇を尖らせ、反対側の口の端から食いしばった歯を見せます。さらに、頬から上のラインに影を入れて怒りを強調しています。

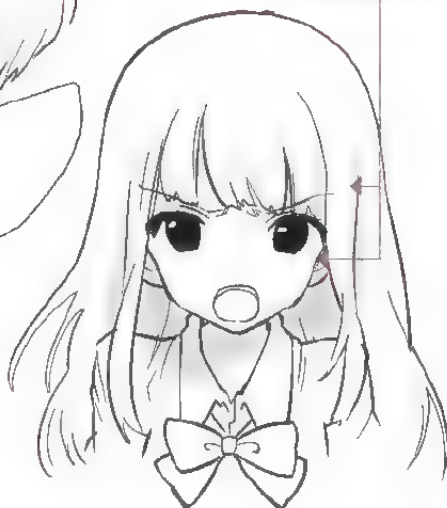


目と眉尻の両方を吊り上げる

かわいいキャラも、下まぶたを上げて、眉尻を吊り上げれば、強く怒っているように見せられる



口を縦に開き、丸い台形のように描く

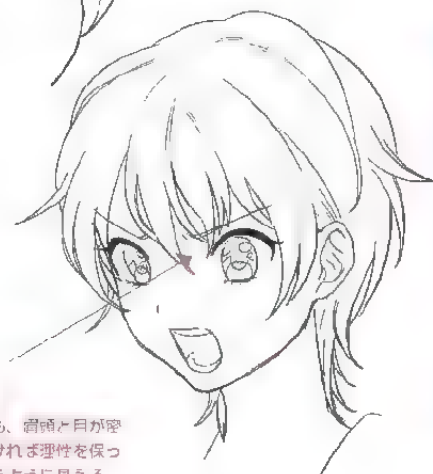




◀白目部分が多い目はにらみつけている印象を与えやすくなります。また、口角は下げつつ、上唇を持ち上げて歯を見せています。



眉を吊り上げつつ眉尻が下がったように描くと、侮蔑蔑じりの怒りになる



叫んでいても、歯と目が密着していなければ理性を保って怒っているように見える

口を一字に結び、正面から見返ると、鋭い人の怒り顔に見せることができる



照れの要素も混じった怒り。眉と口は「怒」の表情だが、目尻が下がっている



▶頬を紅潮させて、怒りで頭に血がのぼっている様子を表現しています。

「怒」の強・大の表情

「怒」の感情が爆発した状態。激怒、憤怒に該当する感情で、怒号を発する、激情のあまり泣くといった表情になります。

眉間のシワの部分に影を落とし、怒りの強さを強調する

デフォルメした「怒」の表現。黒目をなくす、口を顔からはみ出す、鬚髯の曇符などが特徴的

◀ 険しい目で叫ぶ口が組み合わさった典型的な激怒の表情。口角が下側に來ることが重要です。

▶ 他の表情のように白目ができるだけ目を開いてはいませんが、眉間と上まぶたがほぼ密接しているので強い目つきになっています。

眼輪筋に力が入って下まぶたがひきつり、目頭にシワが刻まれる

興奮して声を荒げている様子を表す歯の飛沫

眉間、目元、口元、首筋など、全体に影を加えて緊張感を出す

▶「怒」状態のときは前のめりになります。そのため普段より頭の位置が下がり、フカン気味に描かれます。



口を大きく開けて叫んでいることにより、口の横に大きなシワができる



口を横に大きくと、声を飛ばして怒号を放っている雰囲気が出る



女性が顔を上げて怒ると「信じられない」「ありえない」といった呆れた様子を含んだ印象に



強くにらむように目尻を吊り上げる



▲感情が高ぶって泣きそうになるのは女性に多く見られる怒りの表情です。キャプによっては怒鳴るよりも効果的な演出になります。



「悲」の表情を描こう

「悲」を表す感情には、悲しい、寂しい、憂鬱などがあり、思わず胸が苦しくなるような、辛そうな顔を描くことがポイントとなる。特に、涙は悲しみを表現する重要な要素だ。

「悲」の表情例



悲しみ

▶泣きしゃくる



▶悲嘆する



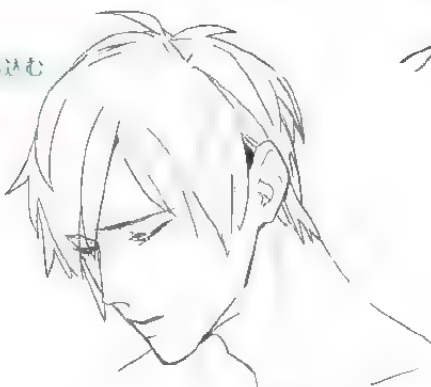
▶ため息をつく



▶むせび泣く



▶落ち込む



▶涙を堪える



▶耐えきれず涙をこぼす



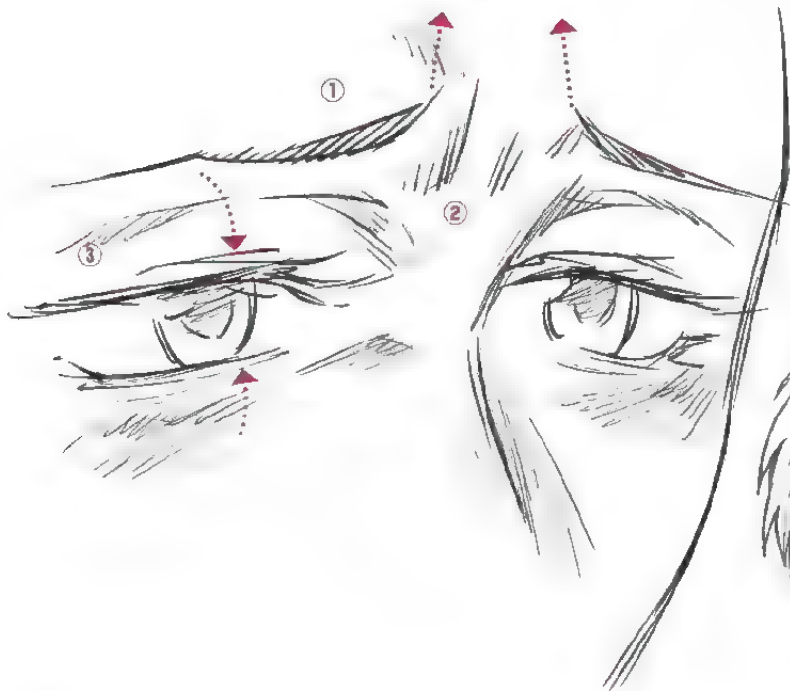
▶声を上げて泣く



「悲」を表現する要素

目・眉

前頭筋の中央が眉を引っ張り、眉頭が上に上がります①。眉頭が寄って眉間にシワができます②。眼輪筋が収縮し、目を閉じようとしています③。



▶ 悲しいときは眉がハの字になります。眉尻が下がるのではなく、眉頭が上がってこの形になります。

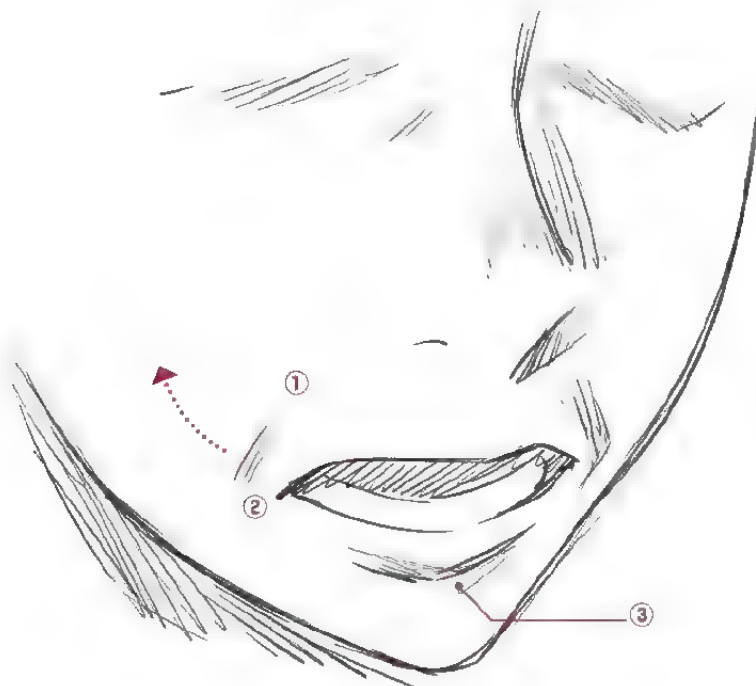


◀ 口を閉じるのも悲しい表情の一つです。口の両端は下向きを意識します。目も細めるとより効果的です。



口元

口が横に引っ張られ、口の横にシワができます。同時に鼻孔も広がります①。口角下がります②。下唇の下側にシワが寄ります③。



▶ 目を閉じて口を開いた泣き顔にすると、とても強い悲しみの表情になります。涙も加えて強調しましょう。



「悲」の強弱、大小を表現しよう

人は悲しくなると自然とうつむくため、「悲」の表情は下向きの顔が多くフカンのアタリが活用しやすい。また、涙を流していれば必ずしも感情が強いというわけではない点にも注目しよう。

「悲」の弱・小の表情

「悲」の感情が小さいうちは、がっかり、しょんぼり、落ち込んでいる、といった表情が多くなります。



口を大きくへ字に曲げるとコミカルな印象に

◀フカンの構図にすると、悲しさがさらに強調されます。



ハの字の眉とへ字の口元、2点の特徴を押さえる

顔と目線を下に向けると、それだけで落ち込んでいる雰囲気が出る

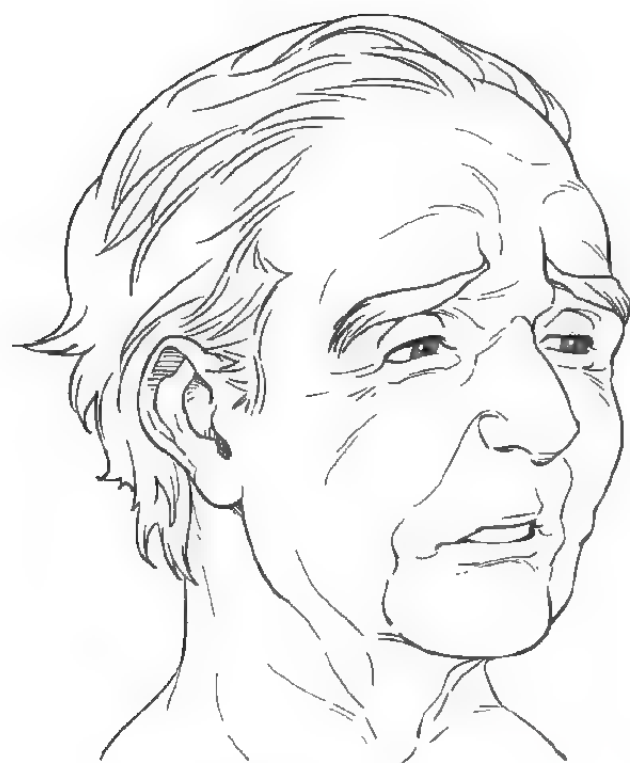


顔の角度に対して斜めに口の線を引く



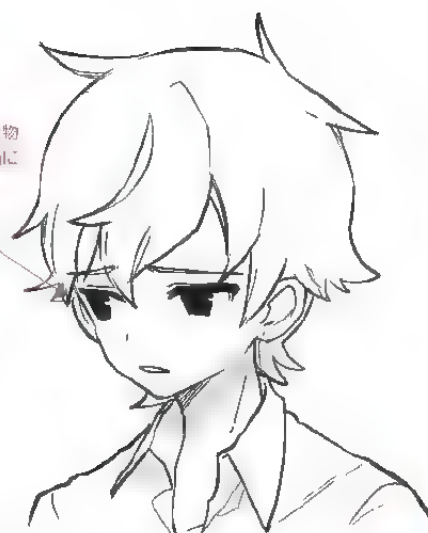
口をきつく結び、下唇の下にシワを描く





目線を横に向けると物
悲しさを含んだ表情に

◀シワが多い顔で
も、眉、まぶた、口
元に表れる特徴は同
じになります。



下まぶたをあまり上げないよ
うにすると、寂しさが増す



眉を「人」の字にして眉間
のシワを描き加える



瞳をぼかす

落ち込んだ顔は口元
を、さく描く



「悲」の中の表情

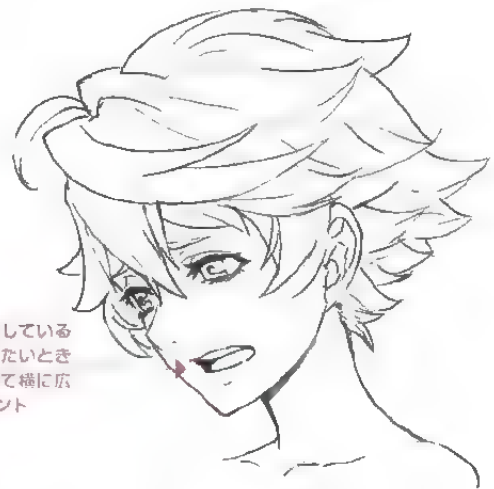
悲しい、辛い、やりきれない、といった状態で、キャラクターの性格によっては涙を堪える、目を強く閉じるといった描写が増えます。



口を閉じて口角を大きく下げると、強く落ち込んでいる表情に見える



眉間のシワと、閉しかけて面積が広くなったまぶたを描く



溜め息や落胆している様子を表現したいときは、口を開けて横に広げるのがポイント

▲歯を食いしばると、悲しみに加えて悔しさも表現できます。



目を閉じて涙を浮かべる表情は目頭か目尻に涙を描く

唇の中央の線を消すと少女らしさが出る





女の子の場合、泣きそつになつて鼻や頬が赤くなる様子を斜線で描くと可愛らしく見える



▶鼻に斜線を入れず頬だけに描くと照れた顔に見せることもできます。

誇張した泣き顔の目はフリーハンドで丸をぐるぐる描いて表現する。線と線の隙間は塗りつぶさないのがポイント



大人の男性であれば手を添えるしぐさを加えると自然に見える。眉間のシワや眉、弓のような形の口元も重要な要素



◀涙は血液から作られるため、泣くと目の周りに血が補充され、鼻や頬などが充血して赤くなります。



眉尻が眉頭より高い位置にあり「怒」の形になっているが、目の周辺が泣きそうになっているため悲しい表情に見える

「悲」の強・大の表情

悲しみのあまり、とめどなく涙が流れたり、声を上げて泣くようになります。号泣、ポロ泣き、悲嘆する、といった表情が当てはまります。

▼気が強そうな女の子であれば、歯を開けて悔しがっているような口元を描くことでキャラクターらしさが出ます。



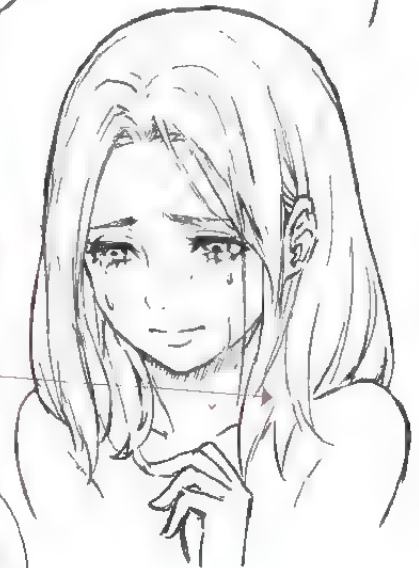
ポロポロ溢れる涙やふにやふにやの口など、泣き顔を誇張した表現で描いている。頭身がリアルでも、目鼻と口の位置が正確であれば破綻させずに誇張することができる

涙を2本の線で描いて立体感を持たせる



涙を堪えていたため口元はぎゅぎゅ閉じている

悲しみを堪えようとすると肩に力が入り、首をすくめた体勢になる



クールなキャラクターなら、シンプルに涙をこぼす描写だけに留めたほうが内面の強い感情を想像させられる



デフォルメした目は骨格を気にせず大きく描く

涙を流し、声を上げてなく
様子。口が大きく横に開く
ので上下の歯が見える



▶大声を上げて喚く表情。泣い
てこそいませんが、現実の可動
域以上に下アゴを下げた感情を
オーバーに表現しています。



衝撃のあまり瞳孔が開
き、口には反
応しきれず脱力している



◀訴えかけるような口
元が少女の感情の強さ
を物語っています。



下側の歯も描くと口
の開き具合がわかる

「驚」の表情を描こう

「驚」は、びっくりする、唖然とするなど、予想外のものを見聞きしたときに瞬間的な反応で生まれる表情。大きく見開いた目や口、そして眉を上げるのが「驚」を表現するポイントだ。

「驚」の表情例



驚き

▶びっくりする



▶きょとんとする



▶目を見張る



▶驚愕する



▶仰天する



▶慌てる



▶ショックで
固まる



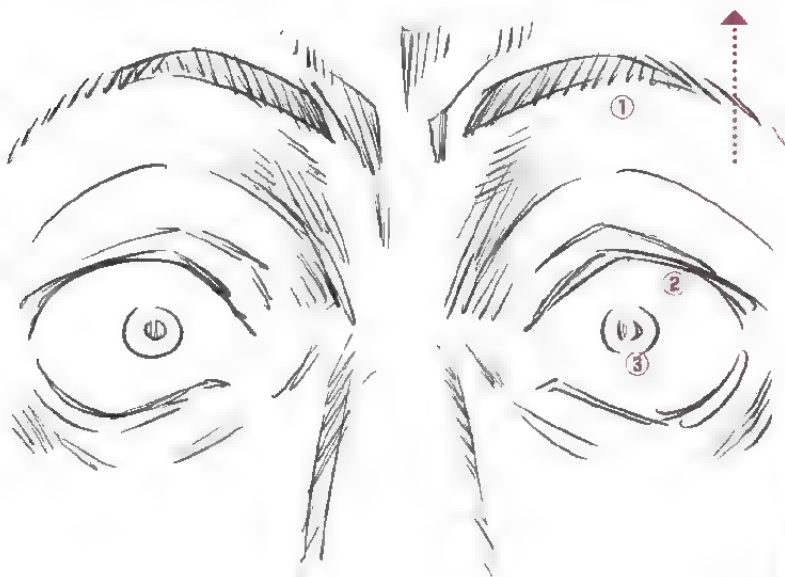
▶唖然とする



「驚」を表現する要素

目・眉

前頭筋が収縮して眉が上に持ち上がります①。上まぶたが持ち上げられて白目の中に黒目がある状態になります②。黒目の瞳孔が広がります。ただし、漫画的には黒目を小さく描いた方がそれらしく見えます③。



▲大きな驚きの表情。目と眉の特徴はあまり変わらず、口の開き具合が大きくなります。

口元

口元は脱力した状態になり、下アゴを支える力がなくなって口があんぐりと開きます①。または別の反応として、唇が前に突き出て口先が小さいO字状になります。



◀黒目が大きくても白目の中にあれば、驚いている顔を十分伝えます。



▶下からアオリで覗き込む構図のときは、口の中に上側の歯が見えます。

「驚」の強弱、大小を表現しよう

「驚」の表情の特徴は何とんでも見開いた目であり、これは小中大の表情すべてで共通している。「驚」の感情が強くなるほど口の開きが大きくなり、体が前のめり、あるいは後ろに反るようになる。

「驚」の弱・小の表情

小さく驚いたときは、ピクツとする、きょんとするといった反応が目立ちます。驚いた表現の一つとして、汗を描くこともあります。



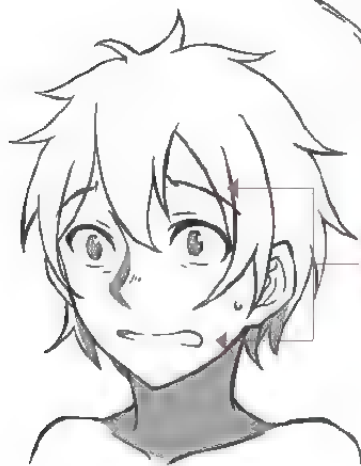
▶何かを見て驚いたとき、目線は例外なくその対象に向いています。



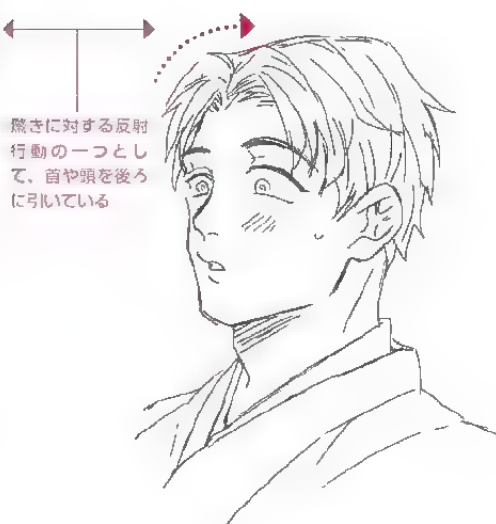
振り向き顔は、「声を掛けられて振り向いて驚いた」といっづ一連の動作を同時に表現することもできる



画を見せて脱力した口元を表現する



混乱しているときは眉と口が固ったような表情になる



驚きに対する反射行動の一つとして、首や頭を後ろに引いている

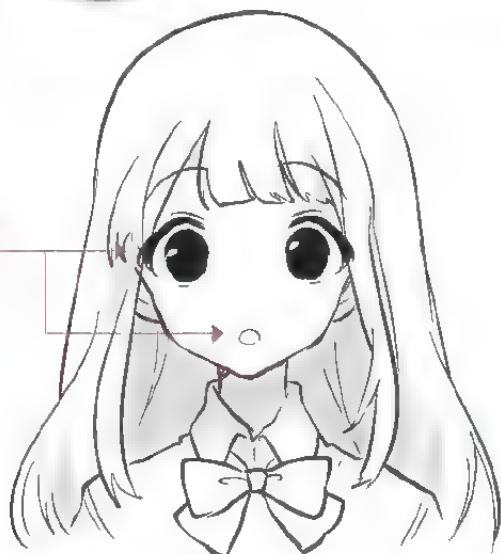


口を開じた表情も「きょとん」として「驚いて固まっている」感が出る

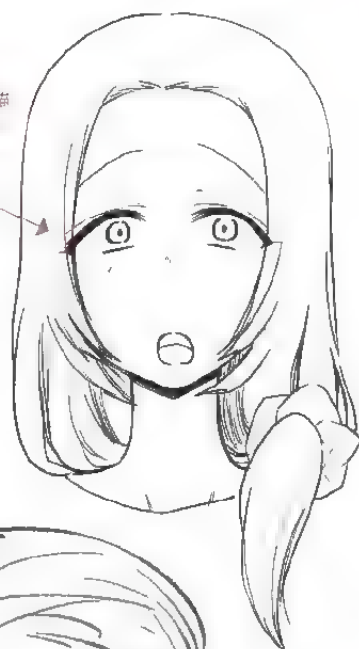


▶女性も驚くと眉を目から大きく離します。また、口は小さく、上唇側を丸く描きます。

目の大きさが可愛さの特徴であるキャラは、口を小さくすると対比が際立つ



黒目の瞳孔を小さく描くと驚きが増える



◀目線が下を向いて黒目が見えなくなると、眉が目から離れていけば驚きの表情に見えます。



左右の眉の形を変えると、驚きを手かべている表情になる

「驚」の中の表情

びっくりする、唖然とする、といった表情をするようになります。圧倒されて固まるような、受け身の表情が多くなります。



口の開き具合を大きくするほど、驚きの大きさが伝わりやすくなる



▲眉、上まぶた、上唇がそれぞれ山なりの弧を描くことで、驚いている様子が強調されます。

口元が脱力しているのでシワは控えめにする



口角を下げつつ上唇を山なりに曲げ、焦っている様子を演出する



▶表情に加えて髪や服に一定の流れを加えると絵のアクセントになります。

横顔も歯を見せると表情が引き締まる



◀片目をつぶるのは「しまった！」と思ったときの反射的な動き。まぶたに力が入るため目が閉じられます。

頭身がリアルな男性は眉を目に近づけると理知的な印象になる

びっくりして固まってしまった様子を固い直線で表現する

眉のつけ根から眼窩にかけての線を描くと、目の周りに力が入っている印象になる

▶口を縦に開くときは下アゴを下げるので、輪郭も下がったアゴの分だけ長くなります。

眉間に影を入れることでも、瞼で固まっている雰囲気を出すことができる

「驚」の強・大の表情

「驚」の度合いが強くなると、身を乗り出す、慌てる、驚愕するといった反応が生まれます。口は「え」や「あ」の形をしています。



振り向いて揺れるツインテールの動きが驚く反応に運動吸を与える



◀▶「驚」に興味ที่混ざると体を前のめりにして身を乗り出す体勢になります。



眉毛をしっかりと描き、眉尻の毛をフサフサにするとおもしろい

眉の形が違っても首を前方に傾ける姿勢は同じ点に注目しよう



▶驚きのあまり思わず手が出たしくさです。脱力しているため指の各関節は適度に曲がっています。

デフォルメした驚きの表情。
シンプルな線で、瞳の小さ
さや口の大きさを誇張する



驚いて眉全体が上
に、かっているが
眉頭は下に寄せて
眉をしかめている



▶女の子キャラを描く際
は、髪動きや手のしぐ
さなど、顔以外の要素も
複合して可愛らしさを演
出する必要があります。



目、口の中の影、眉間の影
などをすべて線の線で統一
させることで、ショックの
度合いを強調している



▶広がった鼻の穴、犬
のような巻き舌、口元
に寄せた手など、オー
バーアクションでコ
ミカルさが出ます。

びっくりして跳ねた毛



皮打つ舌

逆立つ腕の輪郭線
顔以外の要素でも驚
きを表現できる

固まっているので
眉はハの字に

周んだ瞳や飛び散る
汗などの漫画表現を
用いて、驚きと困惑
を表現している



「恐怖」の表情を描こう

「恐怖」は、生命の危機に直面した絶望的な状況やゾッとしたとき、怯えたときなどに表れる感情だ。表情の特徴を理解して、恐怖感を与える突発的な状況に説得力を持たせよう。

「恐怖」の表情例

▶後ずさる



▶怖気づく



▶恐れる



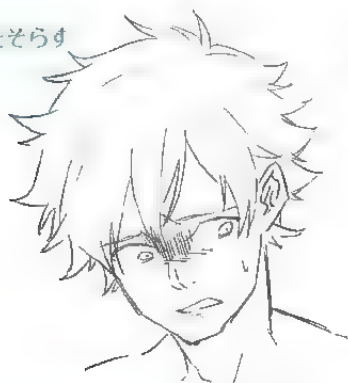
▶青さめる



▶怯える



▶目をそらす



▶ひるむ



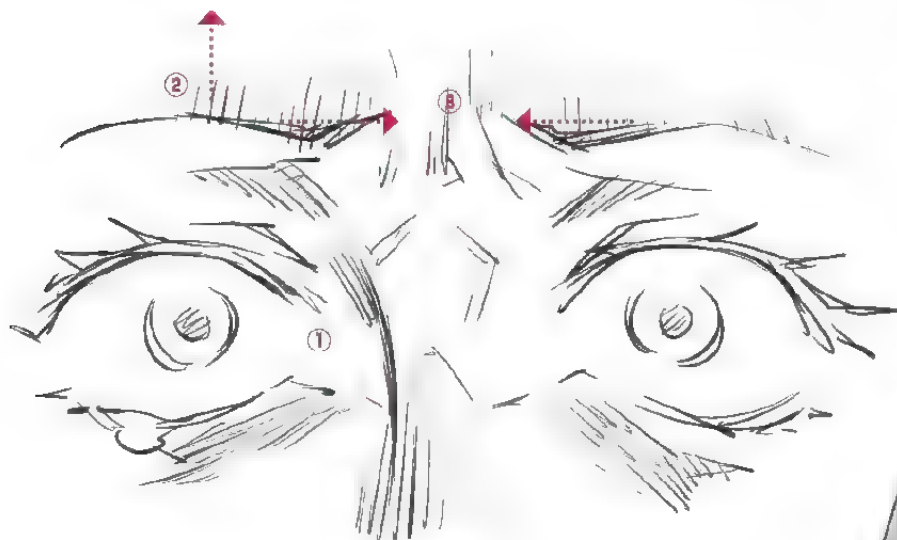
▶顔を引き
つらせる



「恐怖」を表現する要素

目・眉

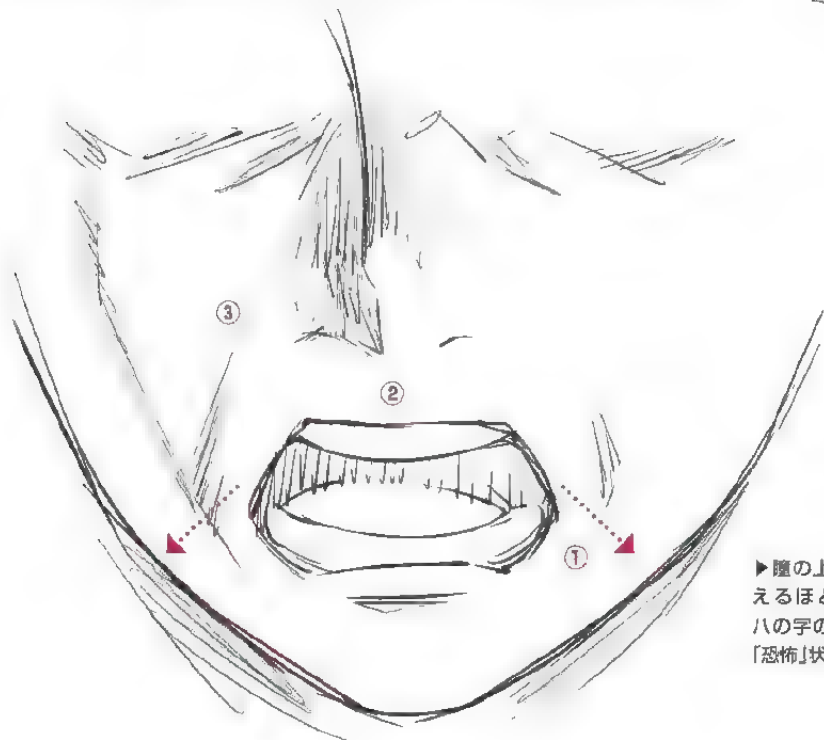
最大の特徴は大きく開かれた目です①。眉は、前頭筋によって大きく持ち上げられますが②、皺眉筋が収縮することにより眉間にシワができます③。



▲腫が小さくなり、見開いた目が強調されます。目尻に涙をたたえると効果的です。

口元

笑筋が収縮し、口角は下方から水平方向に広がります①。上唇は緩みます②。口が大きく開かれるため、鼻から口にかけてシワが生じます③。



◀口角が下がり、目尻も下がっています。同時に、眉間の縦シワもしっかり描きます。



▶腫の上下に白目が見えるほど見開いた目、ハの字の眉が基本的な「恐怖」状態の顔です。

「恐怖」の強弱、大小を表現しよう

現実で命の危機に瀕することは少ないが、将来に対する不安など、「恐怖」は意外と身近な感情だ。心配した顔から、絶叫した顔まで、感情の強さを変えた「恐怖」の表情を見てみよう。

「恐怖」の弱・小の表情

「恐怖」の感情が小さいときは、不安や焦り、心配する表情になります。上手く怯えた感じを出しましょう。

▶ 眉を吊り上げても、目尻を吊り上げていなければ「怒」には見えません。また、口が横に広がり、頬にシワができます。



視線をぞらせると不安感の強弱に



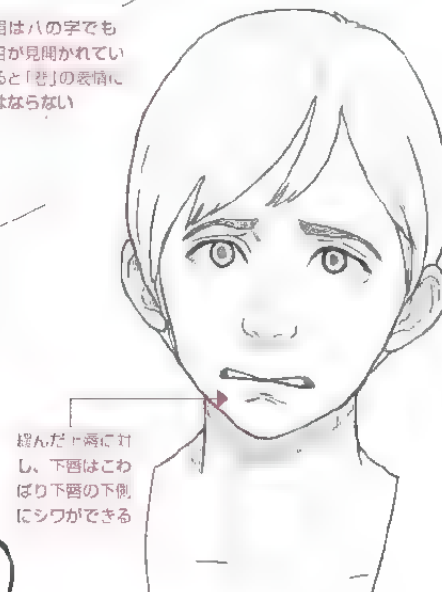
口は閉じていても、口角は斜め下に下がる



黒目を小さく描き、信じられないものを見た様子に



眉はハの字でも目が見開かれていると「悲」の表情にはならない



縦んだ上唇に対し、下唇はこわばり下唇の下側にシワができる



思わぬできごとに、咄囃
に片目を閉じた瞬間の顔
片側の眉尻を下げるこ
とで、強がりつつ怯えて
いる様子を表現している



▶上目づかいで怯え
ている雰囲気を出
し、体の震えを加え
て強調しています。

顔に影を落とすと不
安感が強調される



横に広がった口から八重
歯を見せ、怯えた表情の
中に可愛さをプラスする



「悲」の表情にならな
いよう、口の線は下
ではなく横に引く



◀目を見開かずに眉や
手のしぐさで怯えた様
子を出せば、とまどい
を表現できます。



恐怖心が強いとい
うちは眉を寄せる程
度にとどまる

「恐怖」の中の表情

眉根を寄せ、息や唾を飲み込む、あるいは喉の奥で小さな悲鳴を上げる表現により、ゾッとした表情を描くことができます。



口の線を波打たせて、怯えた表情をデフォルメしている



▲ギュッと目を閉じたことで目元に線ができます。眉間に縦方向の線を引いて、恐怖感を強調しています。



眉間のシワと眉を繋がっているように描いて困った表情を作る

男性は骨格的に眉頭が盛り上がり、口角は斜め下方向を向く

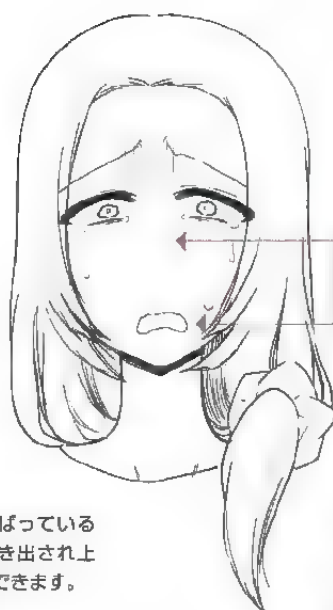


下唇が下がり、下歯の歯が見える

◀目が見開かれると同時に逃避のため目をつぶろうとし、目の下にシワができます。



◀歯を食いしばっているため、唇が突き出され上唇の上に線ができます。



口角が下がっている表現として、口自体を鼻のずっと下に置くのも有効な手段

口は完全な横一文字にせず、軽く口角を下げる

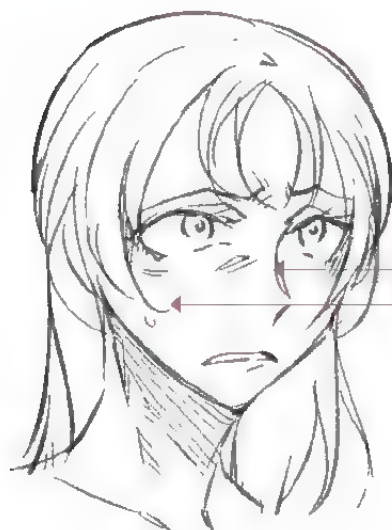


「恐怖」で引きつった頬が目の下の皮を盛り上げシワができる



怯えている雰囲気強く出すため、眉の線を波打たせる

▶「恐怖」の対象物から咄嗟に逃れようと、首をひねる動きはよく見られます。



目の周りのシワを多くすると、憔悴感に苛まれる雰囲気か助長される



「恐怖」の強・大の表情

命の危機やだいじなものを失うかもしれない状況に直面すると、絶望感や強い恐怖感に苛まれ、ひどく怯えた表情になります。



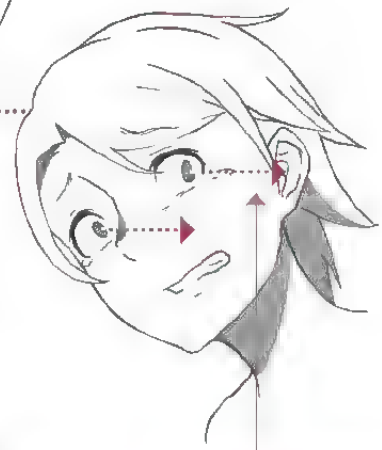
咄嗟の体の動きを髪のもの広がりでも表現している。自身に近づけた手の動きも、怯えを表す感情表現の一種だ



目を強く傾ける



瞳の内に同じ円を描き、当惑している様子を表現する



目線と逆方向に頭を向け、「恐怖」の対象から逃げている動きを出す

▲眉根が寄せられ、眉間にシワができます。また、口が横に広がり、角が丸い台形状になります。

ハの字状の眉と波打っている口、垂れ下がった目などでフォルメした「恐怖」の表情



▶眉間に縦線を何本も描き、シワが強く刻まれている様子を強調しています。さらに、口角も下がり、口の下に顎の形に沿った形のシワができます。



目尻の涙やおびえた口元を描き、「恐怖」の度合いを強調させる

目を強く閉じるのは逃避行動の一種。気の弱いキャラは目を閉じるのも有効

瞳孔が開き、下唇が上がりかけている

▶何かを喪失するかもしれない「恐怖」と、失うことへの「悲」が合わさると、絶望した表情になります。

▶血の気が引いた様子を顔色で表現しています。また、自分の手で顔をつかみ、困惑の度合いを強めています。

上体を引きながらも、視線は対象から外さない

見開くあまり、充血して血走った目

極限の恐怖で体が自暴できず、よだれが溢れる

「嫌悪」の表情を描こう

「嫌悪」の感情には、うんざり、憎い、など、嫌な気持ちを表すものが多い。「怒」に繋がりがやすく表情も似ているが、基本的には別々の感情なので混同しないように気をつけよう。

「嫌悪」の表情例



嫌悪

▶嫌がる



▶呆れる



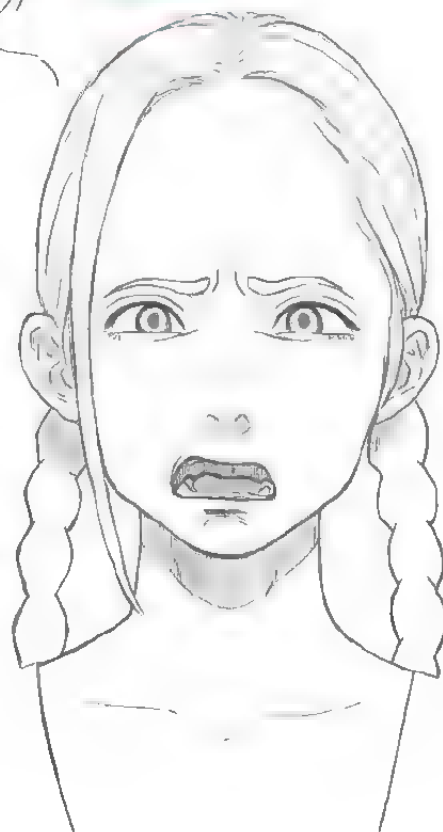
▶うさったい



▶嫌う



▶気持ち悪い



▶敵視する



▶うんざり



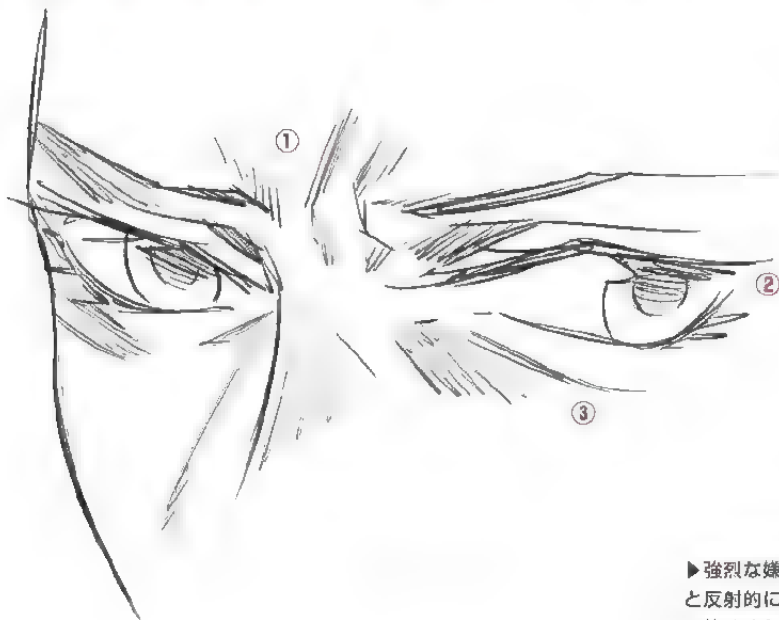
▶そっぽを向く



「嫌悪」を表現する要素

目・眉

顔をしかめることで眉頭が下がり、眉間が寄って縦ジワができます①。眼輪筋が収縮して目が細くなります②。目の下にカーブした線ができます③。



▲怒りを含んだ嫌悪の表情。閉じた歯をむき出しにして嫌悪感を前面に出しています。

▶ 強烈な嫌悪を感じると反射的に首をすくめて後ずさり、顔はしかめっ面になります。



口元

鼻の隣にある上唇挙筋が収縮して上唇を上に持ち上げます①。同時に、頬と小鼻も持ち上がります②。オートガイ筋が収縮して下唇が押し上げられます③。



▶ 眉間のシワ、目の下の線、下唇の下端のシワの3点を描くと嫌悪感がよく出ます。



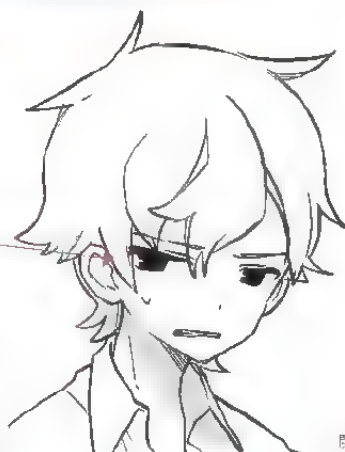
「嫌悪」の強弱、大小を表現しよう

「嫌悪」の表情では、目線や顔の向きが重要なポイントになる。嫌いなあまり怒りを感じたときは、叱咤する目線を相手に向ける。また、相手を見下して輕蔑の表情を浮かべることもある。

「嫌悪」の弱・小の表情

感情が小さめのうちは、うんざりする、呆れる、輕蔑の表情を浮かべる、といった反応が多くなります。

上まぶたは水平に。
下まぶたも上がる



閉じたまぶたにより、目が下向きのカークを描く

汗があればうんざり気味に、ない場合は怒っているようにも見せられます。



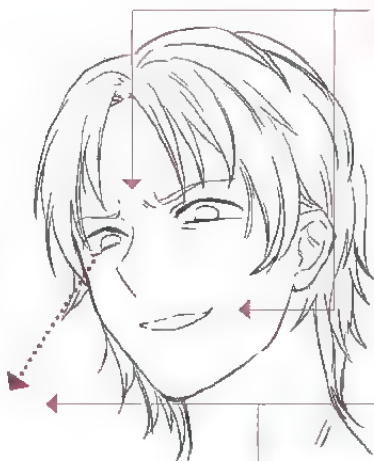
閉じた目元のへ側にも線を描き、口元はため息をつく「あ」の形



目線をそらしながら、眉間にシワを入れる

目元と眉根をしかめ、口角を上げて笑った口元にするると輕蔑の表情になる

首をすくめて後ろに引いている



どちらも下に目を向けているが、首の角度や口の形、汗の有無で違う表情になる



眉の位置を目の少し上に移す。上唇は突き出される



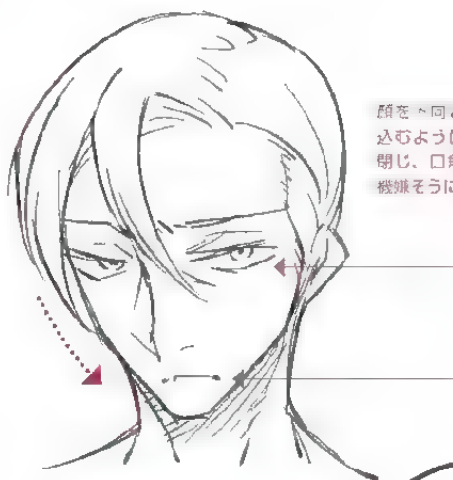
▶顔を上に向けて、ややアオリに描きます。また、口角を下げ、きつく結んだ口元にします。



首をしかめつつ片眉を上げ、片側の口角だけ下げる



顔を正面にして頭さ込むように見る。口を閉じ、口角を下げて不機嫌そうにしている



視線を正面に向け、眉間にシワを寄せている



◀目を細めながら、片側の口角をつり上げると蔑んだ笑みになります。

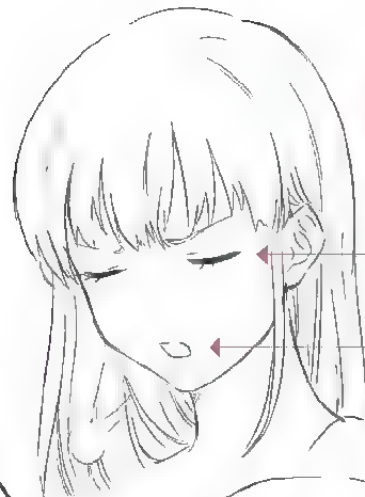


「嫌悪」の中の表情

嫌だ、やめてほしいという気持ちが強くなり、露骨にため息をついたり、目で拒否感や嫌悪感を示すようになります。



▲下まぶたの線を引き、鼻の上に横線で影を描いて身を引いている感じを出しています。また、下唇の中央が上に上がります。



軽蔑の表情も嫌悪感が強くなると、うんざりして目を閉じるような呆れた顔になり、口元の笑みが消える



眉毛は波打ち、目尻は困ったように下がり、下あごが下がって口が開く

半目で相手をじっと見て、口を突き出し不快感を強く出す



頭を傾け、呆れて目を斜め下にそらす

▶下唇に力が入って口の下に影ができ、目をしかめることで目の下に線が生じています。





顔をそむけつつ目は相手に向け、下唇に強く力が入り唇を突き出す



◀思いがけず嫌悪感のあるものを見たときは、片目を強く細めたり、口角が下がって口が横に開いたり、反射的に嫌がる顔をしてしまいます。



唇は固ったようにハの字になり、首をすくめて肩が上がる。上品なキャラは口の端を下げすぎない

デフォルメ表現の「嫌悪」は、シンプルな単線で眉と目を描き、口もへの字にする



◀眉間にシワが片側だけ入り、目の下にもシワが生じ、口も片側が吊り上がります。



軽蔑と同系統のしかめた目つきをして、口を横に大きく広げ開いた歯を見せる

「嫌悪」の強・大の表情

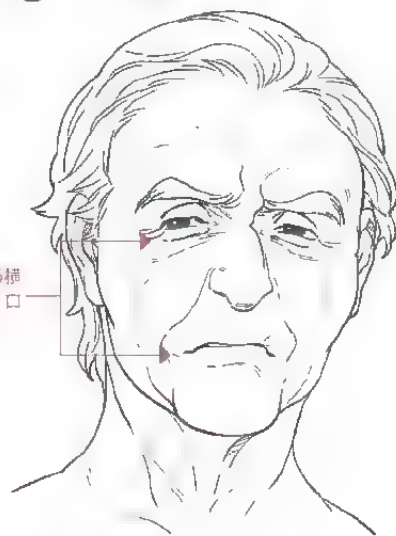
嫌悪感がさらに強くなると、多くの場合、怒りの感情も沸いて攻撃的な顔つきになります。また、気持ち悪さが高まると吐きそうな顔になります。

大きく眉を凸曲させ、目の周りに力が入ることで目尻が下がり、口元に入った力で口の横にシワができる



◀ うんざりした気持ちが混ざり、半目で責めるような目つきをして、上唇を突き出します。

鼻のつけ根にできる横ジワの凸凹を描き、口もほんの少し開ける



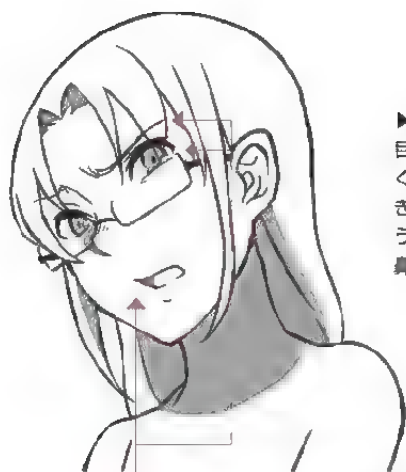
▶ 肩頭の隣に1本線を引くだけで眉間のシワに見せられます。また、黒目を小さい点にすると怒り混じりの表情になります。閉じた口の中央はあえて描きません。

眉間には大きな縦方向のシワができ、口を鼻から離している



目元の線を濃く描き、歯ぐきが見えそうなほど口角を下げる





眉と下まがたの線を大きく
湾曲させて描き、睨っ
ている口を横に開く

▶横顔は頬のふくらみの影響で
目、鼻、口元の線が目立ちやす
くなります。眉間の縦方向にで
きるシワは額のラインに沿うよ
うに斜めに描き、頬がふくらみ、
鼻と口の横に線が出ます。



気持ち悪さが我慢の限
界を超えると吐き気を
催し、目が見開かれ眉
がハの字になる



眉と目の周囲にシワ
ができ、不満を言う
ために口を開く



◀目と鼻のつけ根の間
と、口の周りに力が入
ること下唇と口の端
にシワができます。



嫌悪感に怒りが混ざり、
目が吊り上がる。口元
はきつく歯を食いしば
るデフォルメ表現



影を使った誇張表現

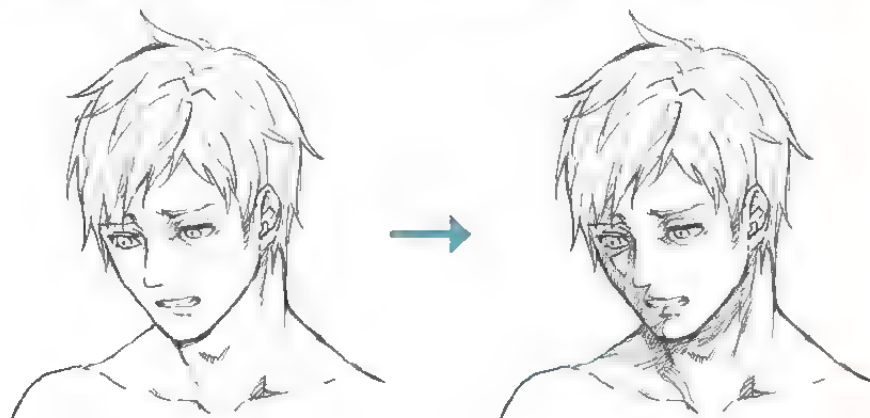
影は表情の印象を左右する重要な要素です。落ち込んでいる顔に濃い影をつければ深い悲しみを、怒りの表情に影をつければただならぬ怒りを感じさせるなど、影の付け方一つで印象が大きく変わります。中でも影が大きく影響するのは、悲しみ、怒り、恐怖、驚きといった感情で、顔の中でも影ができやすい目の周辺のくぼみ、鼻の左右

や下側、首の下などの影を濃く描き込むと、これらの表情をより強調させることができます。

また、私たちは普段上からの光でできる影に慣れていて、別方向からの光でできる影に違和感を覚えます。これを利用すると、笑顔を下から照らして鼻の上に影を作り不気味な笑顔にする、といった演出も可能になります。

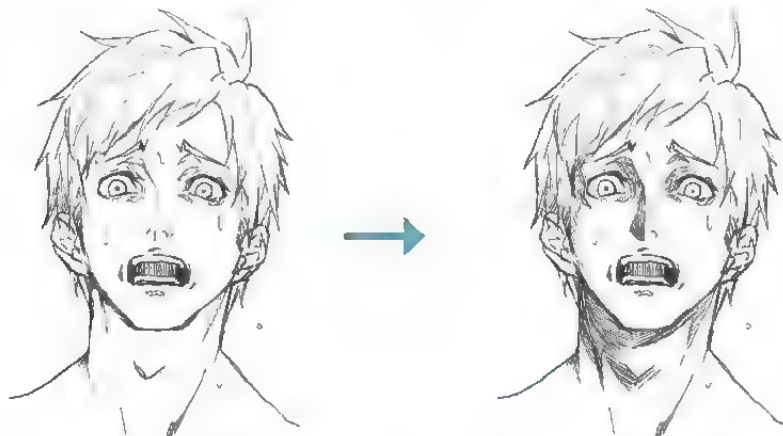
▶悲しみ

落ち込んでうつむくと顔の表面が陰になって影が生まれる。その影を顔の半分に濃い影として描くと悲しさが強調される



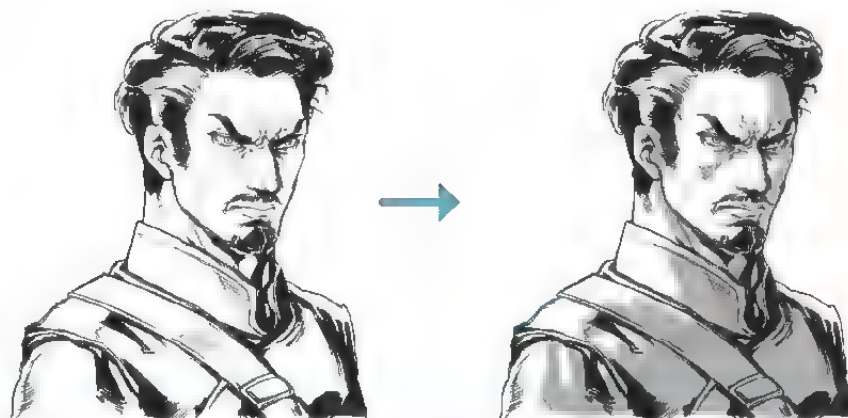
▶恐怖

恐怖や焦りは目の周りに影を作ると伝わりやすい。眼窩のくぼみ、鼻とこめかみの陰、首元に強烈な陰影つけて恐怖を表現している



▶怒り

怒ると顔がこわばって影ができる。斜め後ろの方向から光を当て、表情にできる影を濃く浮かび上がらせることで怒りを強調している





第3章 応用編

表情のバリエーション

恋愛&コミュニケーション

人の心はとても複雑で、2章で紹介した6種の感情以外にも複数の感情の組み合わせによって様々な表情をする。この項では、恋愛や人とのコミュニケーションを中心にした表情を紹介していこう。

ドキドキする

好意を持っている人の前では自然と顔が赤くなります。目線はまっすぐ相手を見たり目をそらしたりなど、人によって反応が異なります。

照れて困ったようなハの字の眉になり、目元から口の上まで幅広く赤くなる

瞳のハイライトを弱やし、嬉しさと高揚感を出している



▲嬉しさが目細くなり、目尻が下がって優しい眼差しになります。頬を赤らめ、口元は穏やかな微笑みを作ります。

▶相手を直視できず目をそらす、戸惑って口元が波打つなど、直接的な表情でなくても気持ちを表現することはできます。

隠れ照して目を閉じているが、頬が赤くなり相手をじっと見ている





ドキッとする

「驚き」と「喜び」が混ざった表情で、驚いて見開いた目や持ち上がった眉、紅潮した頬などが特徴です。



涙の斜線を
濃く太い線で
数本描く

口を波状に描いて
照れを表現する

◀驚き顔の頬や鼻に斜線を入れると嬉しい、好意の気持ちが表現できます。斜線の本数が多いほど照れているように見えます。

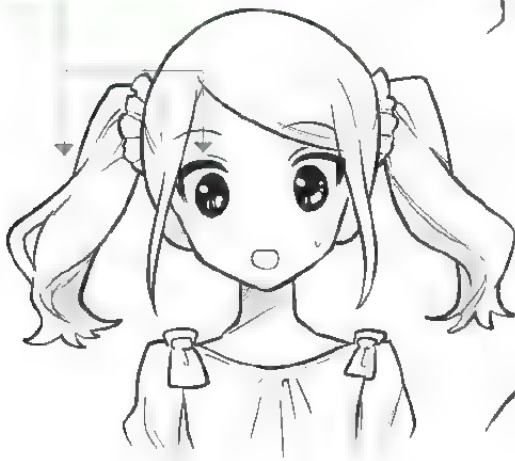


軽く見開く目とぼかんと開けた口で驚き表現し、頬に赤みを加える

驚いて反射的に開いた口元。口は母音の「え」の形を意識する



ハイライトを増やして目をキラキラさせ、驚きの誇張表現で髪をふわりとふき上げる



びっくりして
頬を空ける



◀驚きで下唇や口角に力が入ってシワができると同時に、嬉しさで口角が上がっています。



切ない

思い焦がれる苦しさから、眉が「悲」に似た形になります。口角を下げすぎないことが重要です。



胸の苦しさを我慢するように、きゅっと目を閉じる



目を軽く細め、アゴは脱力した状態を意識して口を軽く開ける



▲八の字になった眉と小さな口が訴えかけるような表情を作り、目に反射光やハイライトを増やして潤ませ、女性らしさを強調しています。



◀切なさで胸が締め付けられ、思わず胸に手を当てています。眉間にシワを寄せていますが、好きな感情から心なしか口元は微笑んでいます。



気持ちが高ぶりすぎて涙をこぼし、口元が震打っている

胸が苦しくなり、胸元を手で覆む



切なさを堪えようと眉間に力が入り、目は細目になって顔を赤らめる



笑いかける

好きな人に会ったときのような嬉しさ、そして好意を持っていることが伝わるように、目元を優しく描きましょう。



◀口角を横に広げながら口を開けると、相手に笑いながら話しかけているように見えます。



首を傾けて相手に話しかけるように

眉の位置を高くすると相手に投げかける笑顔になる



▶嬉しさで頬が赤くなります。顔は満面の笑みを浮かべて喜びを表現します。

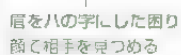
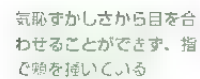




恥ずかしさを隠すように目線をそらす、表情を隠すように固い表情になる、困った顔になるなどの特徴があります。



◀上まぶたを下げ
て目線をそらし、
首を傾けながら口
をすぼめています。



しくてはにか
 の表情。言葉
 と開いた口元
 です。

目が思わず下を向い
 て下まぶた側に来る

恥ずかしい

「照れる」よりも顔の赤みが増し、困惑した笑顔や羞恥に耐える顔になります。また、眉は上に上がる傾向があります。

図び・驚き



眉は↑向きカーブを描く



恥ずかしさを堪えようと眉間にシワが寄り、下唇に力が入る

◀眉や口は照れて困った形に、目は嬉しさを表現すると、恥ずかしさと嬉しさを両立した表情にできます。



嬉しさで目元が穏やかになり、唇を結びつつ口角が上がる



目をそらし、片側の口角を大きく下げる

▶男性の場合でも、ハの字の眉で恥ずかしさを、上目使いの目で嬉しさを表現できます。



恥ずかしさのあまり顔全体が真っ赤になり、つつむいて目を上げられなくなる

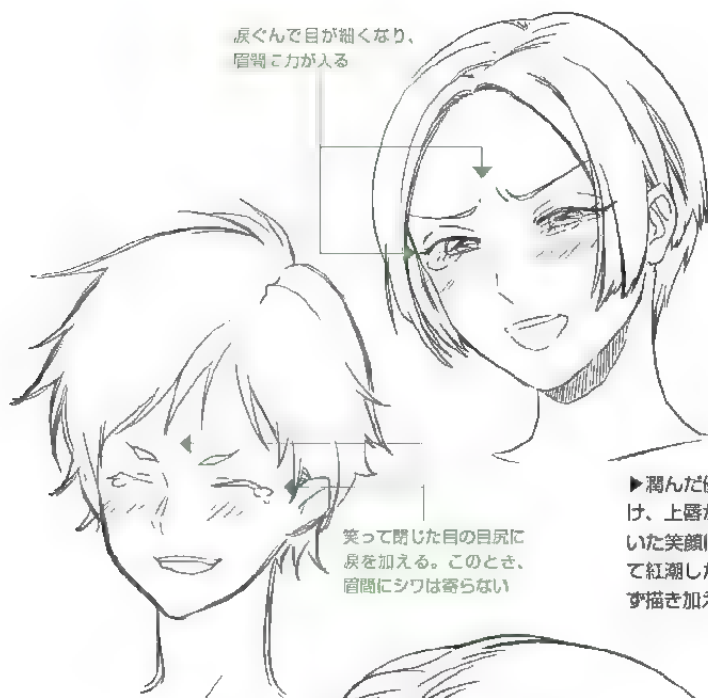




嬉し泣き

嬉しさに基づく表情で、感情が高まりすぎると涙が溢れだします。泣き顔ですが、目元も口元も「喜」の表情で表現することができます。

涙ぐんで目が細くなり、
眉間こ力が入る



笑って閉じた目の目尻に
涙を加える。このとき、
眉間にシワは寄らない

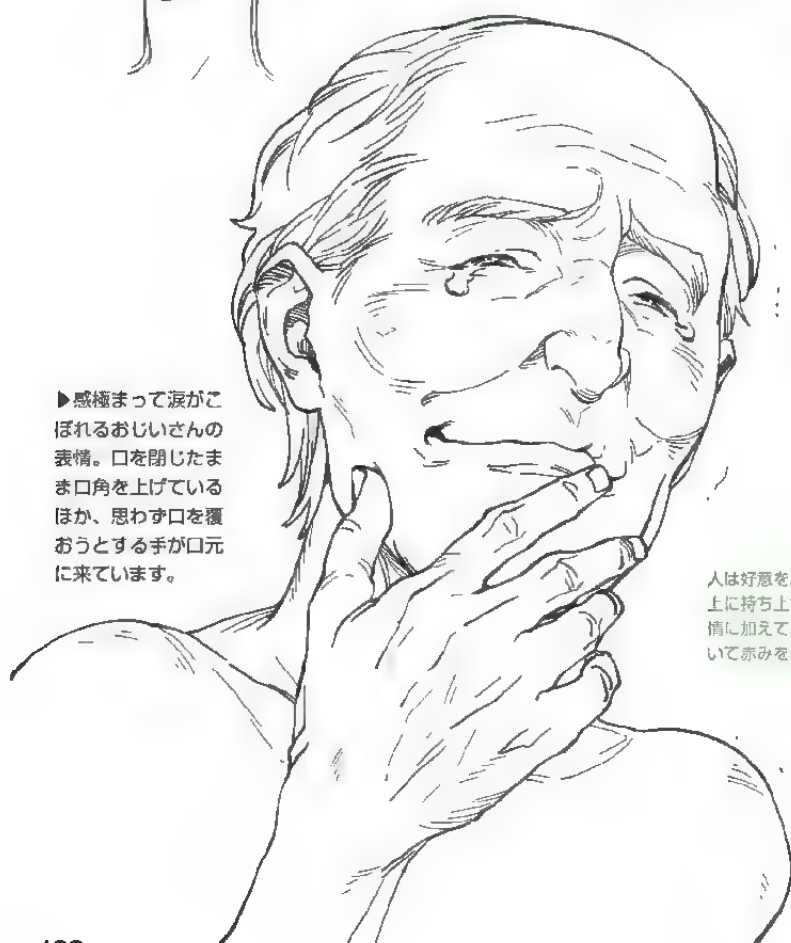
▶ 潤んだ優しい目で笑いかけ、上唇が山なりの線を描いた笑顔になります。泣いて紅潮した頬の赤みを忘れず描き加えましょう。



下向きのカーブを描く眉や、口の両端に力が入ってできる線を特徴的に描く



▶ 感極まって涙がこぼれるおじいさんの表情。口を閉じたまま口角を上げているほか、思わず口を覆おうとする手が口元に来ている。



人は好意を示すとき、眉が上に持ち上がる。微笑の表情に加えて、頬の斜線を描いて赤みを表現する





激怒 嫉妬

悔し泣き、悔しい

吊り上がった「怒」の眉と、下唇に力を入れて口元を歪ませた「悲」の口の組み合わせが、悔しさをにじませた顔になります。

眉頭が下がり、眉が吊り上って見える。口元からは食いしばった歯が見えるようにする



▶口角を下げ、下唇の下端の線を描いて口元に力が入っている様子を表現します。



眉頭が下がることで上まぶたも下がり、吊り目に見える



閉じた目をデフォルメして2本の太い線で描き、食いしばった八重歯などを強調する



▶目が細くなり、目尻から大粒の涙がこぼれます。上下の唇に力が入って口の中央の線が内側に曲がっている点がポイントです。



怒ったオネエ 男性的な太い眉を吊り上げて怒りながら、垂れた目尻や縦に開いた口といった女性的な表現でキャラクター性を出す



信じる、受け入れる

「信じる」は、「喜」に近い感情です。自然体に近い顔つきで微笑みを浮かべ、疑いのなさを表現しましょう。



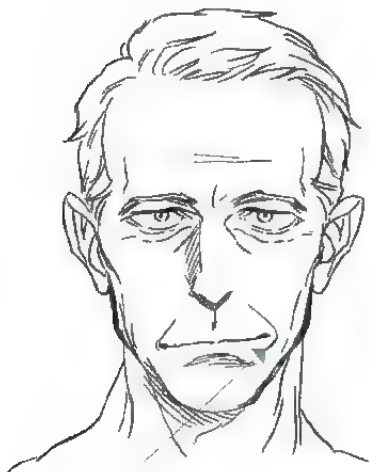
軽く目を細めて、
相手を見据える



微笑みを意識して眉尻を
下げたり、口の口角を大
きく上げるように描くと
女性らしさが出る



▲頭を少し前に傾け、下から
見上げています。相手を好意
的に見ているため、わずかに
口角が上がっています。



▶微笑みに見せるポイントは
眉と目の形です。この線が横
方向に平坦だと無表情に見え
るので注意しましょう。

顔に余計な力が入らない。大
きく上げた片側の口角が、年
上の余裕さとこの人物のシニ
カルな性格を表現している



眉を目より大きく上の位
置に描くと、相手を受け入
れている感じが出せる





期待

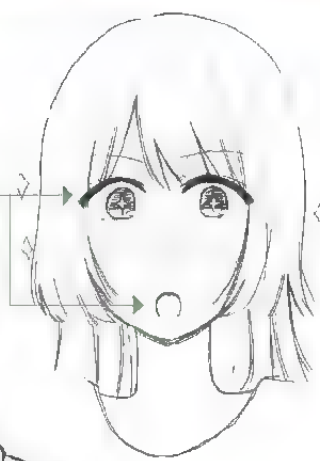
興味を持つ、ワクワクする

目元は「驚」の表情ですが、口元は口角が上がっていません。相手や対象に向けた視線と口元がポイントです。

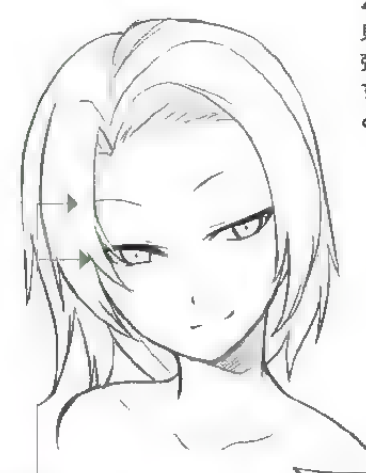
感嘆して目を大きく見開き、口を縦に開いている。頬は期待感から高揚して赤くなる



閉じた口と大きく横に広がった口が、期待が抑えられず思わず笑みがこぼれる様子を表している



▲眉を大きく上げ、目を見開いて口角を上げると、強い感嘆の表情になります。黒目は小さくしないところが重要です。



切れ長の目で大人の女性の雰囲気を出し、眉を眉から離してやわらかい顔つきにしている

▶見知った相手に対する信頼感を含んだ期待の表情。下から相手を見上げる目と笑った口元が相手への信頼感を表しています。



黒目と下まぶたを離せば、黒目の大きさに関係なく目を見開いているように見える





信頼 期待

憧れる、尊敬する

見つめる、見上げるといった、相手に強い関心を持った目が特徴です。目のハイライトを多めに入れて瞳を輝かせるのも効果的です。



▶口は口角を上げて笑顔に、眉のカーブを下向きにすると、相手に強く思い焦がれる雰囲気が出ます。

眉を大きく上げながら見上げると、相手に敬意や憧れを抱いているように見える



縦に開いた口や、目の中の光などでキャラクター性に差をつける



気分が高揚している
ので頬に紅潮している
赤みの線を入れる



驚きの表情に近い眉と目、そして開いた口元が、とても感心しているように見せている



眉を吊り上げて目を見開き、相手に強い関心を示している



真剣な顔

口を閉じることで口角が若干下がります。目の周りに力が入り、少し眉頭が下がって眉が吊り上がっているように見えます。

▼眉頭を下げる、相手をまっすぐ見る、口角を少し下げる、この3点が真剣さを表現するポイントです。

眉頭を下げて眉の角度をきつくするほど強い印象の目になる

男性でも女性でも、相手を見据えて口を強く結ぶ点は共通している

眉頭と眉尻が水平の高さでも、目を脱力させず、口角を少し下げれば真剣な顔つきになる

眉頭と上まぶたの間を少し離す。くっつけた場合、真剣さよりも怒っているような印象が強くなるので注意

▶真剣な顔とムツとした表情は一見似ています。真剣な顔の場合、目に力を入れても眉間にシワは寄せないのが描き分けのコツです。

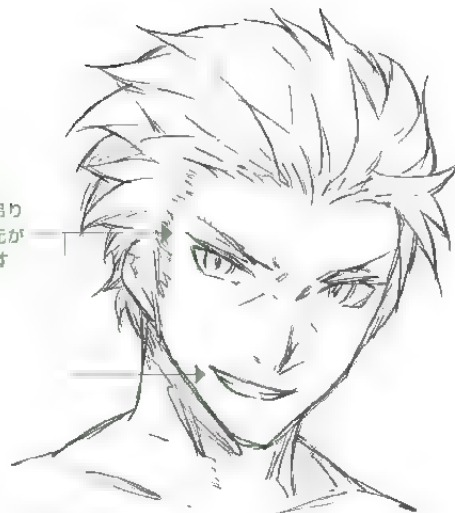


自信を持つ

自信を持った表情は、自分に対する信頼と喜びの感情から生まれます。口元が笑っている点が特徴です。



鋭い目つきと口角を吊り上げて歯を見せた口元が挑戦的な表情を作り出す



◀ははっきりと開いた目、勇ましい眉、下側の歯が見えるほど大きく開いた口が、少女の溢れ出る自信を表現しています。



◀なりに大きくカブした眉と口角を大きく上げた口元が自信を強調している

片目をつぶり、口角を垂直に近い角度で吊り上げた得意げな表情



▶自信に満ちた表情のポイントは、口元を笑顔にしつつ、目をあまり笑わせないことです。眉頭を下げ、前向きで力がある目元を意識しましょう。



心配・混乱

悩む、迷う、考える

考えごとをしているときは、視線を上や下に向ける傾向があります。頭部を支えるために顔に手をそえることもよくあるしぐさです。



悩んでいるときは目を閉じると考えている雰囲気が出る。眉間に力が入り、眉は下向きのカークを描く



◀「嬉しい」と「驚き」、「どうしよう」の3つが混ざった表情です。上に上がった眉と口角が吊り上がった口が喜びを、見開いた目が驚きを、顔に当てた手が悩んでいる様子を表現しています。



対象を見ながら、眉間にシワを寄せて考え込んでいる表情。手を「ア」に当てて首を傾げている

「ア」に手を置いて視線を下に向けると、考えをまとめるために意識を集中しているように見える

なかなか考えがまとまらない表情。顔を上に向け、由を見上げながら難しい顔をしている



▶人は考え事をするとき、重い頭部を支えるため、無意識のうちに手や指を顔に当てます。視線を右上に向けるのも考え事しているしぐさの一つです。



焦る

思わぬ事態に驚き不安を感じている状態で、「驚」と「恐怖」の要素が合わさった表情になります。

突然の出来事に対して焦った場合、「驚き」の感情が強く出て目を見開く



▶衝撃や動揺で口元が脱力し、アゴが下がって口が開きます。視線は動揺の原因になった対象や、相手の方を向きます。



困って眉根にシワが寄り、左右で目の形が変わる



口の開き具合を控えめにすると、焦り具合も小さく見える



▶焦りを表現するもっとも簡単な方法は、顔に汗を描き込むことです。表情の特徴としては、目と眉の離れ具合と目の見開き具合が大きく影響します。



大きく開けた口、ハの字になった眉、髪の毛が飛び出す様子で、焦りを強調している

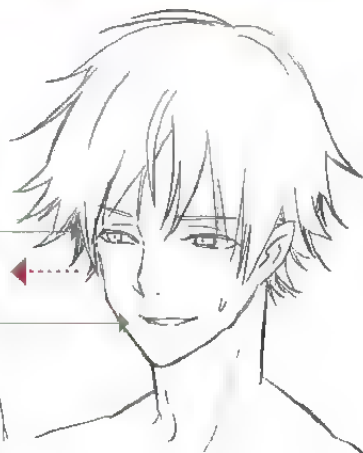


ごまかす、はぐらかす

考えながら嘘をつくため視線が泳ぎます。また、あれこれ喋ろうとするため、口が開いた状態になります。

恐れ 混乱

視線をそらし、口をうっすらと開けて笑い顔を作ろうとしている



▲視線をあらぬ方向に向け、口角を不自然に吊り上げています。汗の有無で表情の印象がまったく変わる点に注目しましょう。



視線は相手に向けているが、唇が上に上がり口元が半端に開いている

開いた目と大きく開けた口の対比で不自然さを表現する



口の線を波打たせるとごまかしきれない雰囲気が出て、嘘がつかない人といった印象を与えられる



◀目は上まぶた側に寄せると目が泳ぐ雰囲気がよく出ます。また、上唇の線を緩やかなカーブで描くのもポイントです。





強がる、虚勢を張る

大きく開けた口や吊り上がった眉など一見威勢のいい表情に見えますが、眉間にシワが寄っているなど、どこか違和感のある顔になります。

眉根にシワができ、上まぶたが下がって半目になる。口は口角を上げて笑顔に近い形にする



口角を尖らせるように上向きを描く。下唇には力が入り、下端にシワができている

力ない笑顔を浮かべて無理に強がっている様子。わずかに眉間に寄ったシワとやや下向きの眉が、心の内を表している



▲自信がある様子を演じて見せかけているため、口角が不自然に上がります。胸元に手を置くしぐさを加えると、強がる感じが強調されます。



眉を吊り上げてはいるが、虚勢を張りきれず片目を閉じて弱をそらしている

◀あまり気が強いキャラクターであれば、眉を吊り上げさせるほうが強がっている雰囲気が出ます。





喜び・信頼

すねる、むくれる

好意を持ちつつ怒っている状態で、眉をいからせる、頬を膨らませる、口を突き出すといったしぐさが出ます。



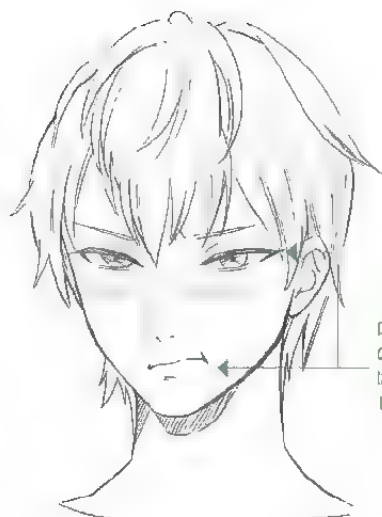
▲視線を大きくそらし、吊り上がった眉を上まぶたに近い位置に描いて怒っている様子を表現しています。口先も軽く尖らせると効果的です。

すねた表情は、吊り上がった眉と口元の形が影響している

女の子は、怒った目元と膨らませた口元でむくれた様子をかわいらしく描ける



▶眉が吊り上がって怒っているものの、好意を持っている相手なのでやや上目使い気味になっています。口角は下げすぎないほうがかわいく見えます。



口元を強く結び、下唇の下側に線を引く。目は上まぶたを下げて閉じかけにする



子どものむくれた表情。頬を膨らませていることを、すねの線を1の端に加える



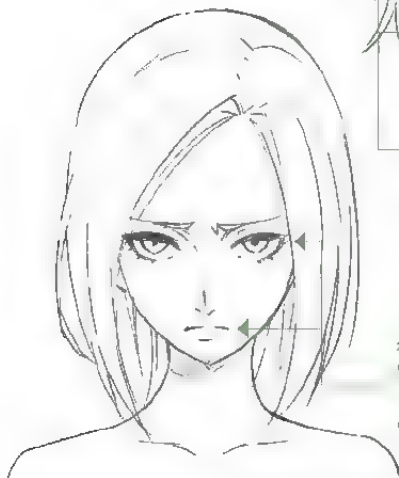


喜び 期待
恐れ

様子をうかがう

様子をうかがうときの表情です。
相手にどんな感情を抱いている
かで眉毛の形が変わります。

下面以外から口を開けて見
上げている上目使いは無表
情に近く、じっと観察され
ている印象を与える



相手をじっと見ている表情。
警戒心があると、上まぶたが
下がったり口角も下がったり
と、きつい顔つきになる

▲好意を持っている相手を下か
ら見つめるときは眉が上がりま
す。口は口先と尖らせているイ
メージで小さく描きます。



目を大きく開いて眉の位置
を高めにする、警戒して
いる雰囲気が奪れる



◀相手を信用しきれてい
ないときは眉があまり上
がらず、口元も無表情に
近い閉じた形になります。



好意も警戒心もないときは、
上目づかいになりすぎずぼん
やりとした顔になる。ぽかんと
開いた口も要素の一つ



攻撃

疑う、警戒する

怪しい、不安だという思いから目が細くなり、眉間にシワが寄ります。やや攻撃的な感情を含んでいて、対象からは目をそらしません。

あからさまな半目と下唇が上がった口元が、確信に近い疑いの表情を作っている

眉をいからせ、口をつぐんだ表情。怪しい素振りを見せないか見張っている

強い疑いの眼差し。目を細め、正面から相手をじっと見ている

▲警戒心と小さな嫌悪感から口を固くつぐみ、口角を下げています。また、疑っているため片目を細めています。

不安感が強い警戒する表情。体の向きと視線を別方向に向けると周囲を見可す雰囲気が出る

◀嫌悪感と怒りを含んだ表情。疑いが確信に近い状態で、怪しい行動をしないか攻撃的な視線で威嚇しています。



企む、にやりとする

利己的な喜びから生まれる表情です。口角が吊り上がった口元が特徴で、人物によっては下まぶたを上げて目元を笑わせる顔も似合います。

口元だけでなく、下まぶたを上げて目元も笑わせると、きどくらみを目論んでいるような表情になる



眉の形を左右で変えて片側を吊り上げるだけでも悪いことを考えていそうな顔になる



眉がまっすぐであれば爽やかな印象が加わり、いたずらっぽい笑顔になる



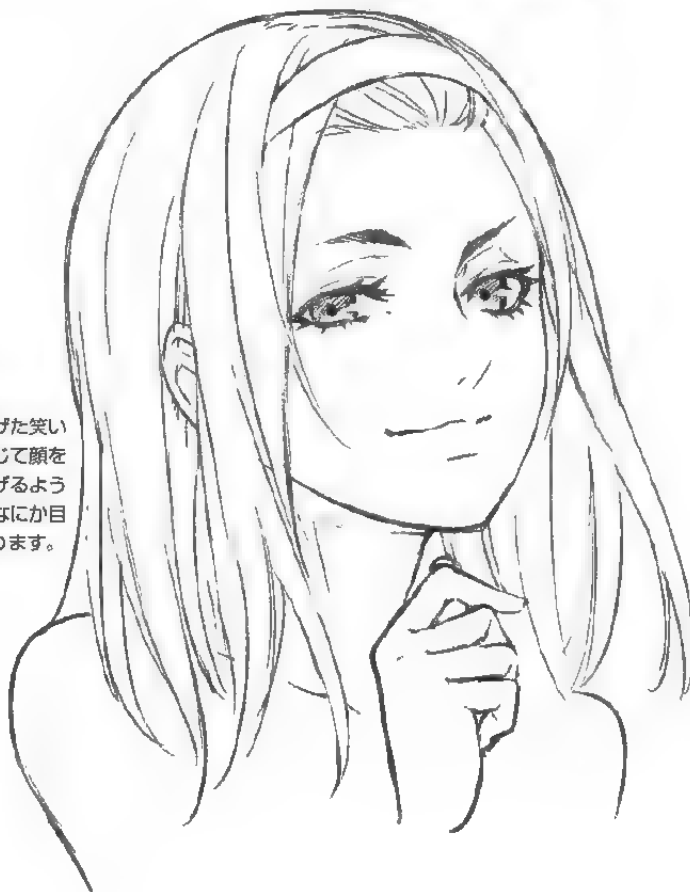
◀上唇が下向きのカーブを描くように口を大きく横に開いて歯をむき出しにすると、悪そうな笑い顔になります。



上まぶたを軽く閉じ、口を横にうっすらと開いて妖艶な笑みを浮かべている



▶同じ口角を上げた笑い方でも、口を閉じて顔を上に向け、見下げるような視線にするとなにか目論んだ表情になります。





軽蔑

見下す、あざ笑う

他人を軽蔑した表情で、顔や上体をそらして上から見下げる姿勢になります。眉や目、口元をゆがめて笑うと、よりいやらしさが出ます。

眉頭を曲げて波打った線にすると、相手をいばかにしている雰囲気が出る



左右で向きを変えた眉、うすらい、目元の影が相手を隔離にして蔑んでいるような印象を持たせている

笑った口元に加えて、下まぶたを上向きのカブと描いて目元も笑わせるように顔になる

アゴを上げて視線を下に向けるだけでなく、笑った口元から歯を見せると見下した表情がより際立つ



目が目から離れた位置にあるほど見下している表情に見える



◀下向きに曲がった眉、笑った目元、ほうれい線がくっきり浮かびあがるほど大きく開いた口、これらの要素が、フカンから見た構図でもはっきりと見下している表情に見せています。

笑うまると歪んだし角や開いた口から覗く上下の歯が、あざ笑う表情を強調している



日常・しぐさ

人の表情は感情だけでなく、体調や環境の変化による影響でも表れる。ここでは、睡眠などの本能的な要因や、寒暑などの環境的な要因によって無意識のうちに引き起こされる表情を紹介する。

眠い、寝ている

眠いときは、まぶたが自然と下がって目が閉じるか細くなります。口元は脱力して半開きになったり、あくびで大きく開いたりします。

安らが

◀あくびは顔の筋肉を伸ばして血行を良くしようとする反射的な行動で、口が大きく無造作に開きます。目からは涙が流れ、閉じられた目によって眉間や目の下にシワができます。



閉じかけた目の中に見える黒目の面積が大きいと、しょぼしょぼした目に見える



目を閉じたことで目と眉の距離が広くなる。また、前頭筋が脱力しきって眉尻が下がる



寝ると頭部を支える力が抜けて、頭が重力で前後左右のどこかに垂れ下がる。脱力した口元からはよだれが垂れることも



口元を半開きにすると、睡眠時の脱力感が出る

自然に閉じられたまぶたによって、目は下向きのカーブを描く



寝起き、ぼけっとする

うつろな目や、半開きの口によって脱力感が出ます。うつろな目は、目尻や眉尻を下げると焦点が定まっていない雰囲気が出ます。

安らか



◀半目と半開きの口が覚醒前の様子を表しています。上まぶたが下がるので黒目の上半分が隠れます。

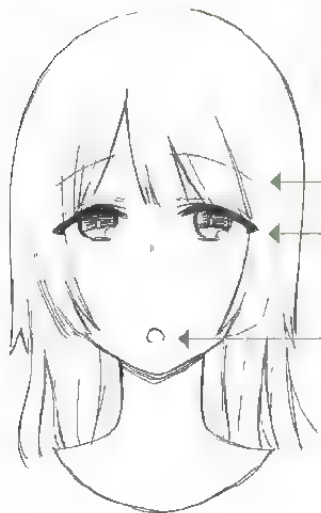


閉じかけの目を上から見ると、上まぶたは水平に見える



目が上を向き、下まぶたとの間にすき間ができる。口元は下アゴが下がって口が開く

口元がだらしなく開き、瞼いときと同じようによだれが垂れることがある。前頭筋には余計な力が入らず、太い眉が水平の形になっている



目尻が下がり閉じ気味の目や緩んだ口元、大きく下がった眉尻が、女性のおっとりとした雰囲気を出している

▶寝起きかどうかに関わらず、ぼけっとしているときは目や顔の向きが上向きになる傾向があります。





暑い、うだる

口をゆがめて不快を露わにするか、目尻や口角が下がってぼう然とする表情になります。汗の線を長くすると、汗が顔を流れているように見えます。



暑さによる不快さで嫌がる表情になり、閉じた口元の口角が下がる

▶ ゆがんだ眉や噛みしめた口元、下がった目尻で、暑さによる不快感が表現されています。



暑さで息切れしている様子。眉を八の字にして口を横にだらりと開けている



暑さで息苦しくなると、口が大きく開き呼吸が荒くなる。苦しさから眉をゆがめ、目を閉じている

顔に不快感をあまり出さないキャラクターでも、さっぱり整えた髪が乱れている様子などで暑さを表現することができます



▶ 暑さで頭がぼーとした影響で、目を閉じかけ口を半開きにしています。流れる汗や体から立ち上る湯気を表す湿符を用いて熱気を表現しましょう。



寒い、こごえる

寒いと全身が緊張してこわばり、口元や目の周りに力が入ってシワができやすくなります。また、こごえて体や歯をガチガチ震わせる場合もあります。

うんざり

寒さでこごえている表情。眉根を寄せ、目を閉じている



口を波線で描き、歯を合わせてガチガチと震えている様子を表わしている



▲外気に対する表面積を減らすため体を寄せたり、首をすくめたりしています。また、体内で発熱させるため、体を緊張させてブルブルと震えています。



肩や耳に赤みをさすことでも寒さを表現できる



◀寒さで筋肉を収縮させているため、口がすぼまって唇を突き出したような形になっています。

温かい息を吐くため、口を大きく「あ」の形に開いている



具合が悪い、熱がある

熱があり体がだるいときは、目が閉じ気味になります。目の下のシワで具合の悪さ、目元の陰で顔色の悪さが表現できます。



うんざり

ゆがんだ眉や閉じた片目、食いしばった口元で苦痛さを表現している。痛みを感じる箇所は自然と手を当て、押さたり揉んだりする



うつむいて上まぶたが下がった目元の周辺に濃い影を線で描き、気力がない様子や具合の悪さを表現している

熱で頭痛がするためこめかみを押さえている。眉間のシワや下がった上まぶたで具合の悪さや痛みを表現している



▲健康なときとの一番の違いは、目の下のクマのような影や眉間に出るシワです。また、顔が自然と下を向いたり、口が力なく開いたりします。



目の下に横線でクマを描く。クマが濃いほど具合の悪さや発熱している様子が伝わる

眉頭が上がった八の字の眉や、口角が垂れ下がった口元で発熱のだるさを表現する





耐える、我慢する

痛みや苦しさ能耐えたり、何かをしたい気持ちを我慢する表情です。
口元や目元、眉間に力が入り、その周辺にシワができます。



眉間に力が入り、眉頭が下がって目と眉が近づいている。口元をきつく閉じているため、下唇の下側には影ができています。



歯をきつく食いしばるほど唇に力が入り、小鼻から口の両端にかけて深いシワができる。



顔の筋肉が凝り固まり、刻みに刻みこんでいる様子を、眉を波打たせて強調している。また、頬に力が入って筋肉が引っ張られた影で、鼻の穴が広がる。



◀ 痛みに耐える表情は顔全体が緊張して筋張ります。鼻の根元に横ジワができ、口角の横や下アゴの周辺に深いシワが刻まれます。

▶ 恥ずかしさを耐える表情でも、下向きカーブの眉や閉じかけの目、きつく結んだ口元に特徴が表れています。



目をつぶって口端を上げると、嫌悪感の混じった我慢の表情となる。



食事

食事中的表情は、食べ物やその食べ方、味覚の違い、好き嫌いなど、多くのパターンがある。食べ方はキャラクターの個性にもつながるので、表情が変わるポイントをしっかり抑えよう。

かじる、啜える

食べ物にかじりつくときは、大きく開いた口や歯がポイントになります。表情は、食事への期待感で明るくなっています。

※観



◀熱々のものにかじりつくと、その熱さで顔が上気して赤みが差します。また、片目をつぶると、おいしそうに食べているように見えます。



噛み千切ろうとするときは歯が見える。また、口内にも食べ物が入っている様子を、頬を膨らませて表現している



かじりつくときは上下の歯が見えるほど口を横に開くため、自然と口角が上がる



大きな具を串から抜き取る場合は、手で引くより大きな力を加えるために、腕や首、頭など体全体を動かす

▶かじりついたときは口角が上がるので、その動きに連動して下まぶたや上まぶた、眉も上がり笑顔に近い表情になります。





夢中で食べる

空腹であつたり、食べ物美味しかったりしたときは、夢中になって食べます。視線を常に食べ物へ向けて、凝視しながらほおばります。



▶食事に夢中のときは口が大きくなるだけではなく、眉をいかせながら目を見開き、集中している様子を表現します。

頬は硬がこぼれないよう口をすぼめてする上から見ると、上唇が下向きのカップを描き、頬がへこんでいる。



両目を中央に寄せると食べ物凝視しているように見える

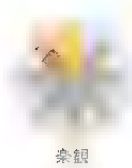


大きく目を見開き、眉を上を持ち上げるのよ、おいしいものを食べようとしているサイン



吊り上がった眉で食べ急いでいる様子を、頬を膨らませながら咀嚼している口元でおいしそうに食べている様子を、それぞれ表現している





余韻

おいしい、モグモグする

幸福感から笑顔や恍惚とした表情で食べます。頬を膨らませて目を閉じるなど、おいしさを噛みしめている表現になります。



閉じた目と唇を下向きのカーブで描いて口角を上げると、うっとりとしている表情になる

◀おいしさのあまり眉頭が上がりハの字の眉になります。唇にも力が入り、下唇側にシワができています。



笑顔の表情に弛った頭の線を描き加えると、おいしいものを食べている表情になる



笑顔の口元に食べかすがついていると、夢中になって食べた雰囲気が変わる



▶頬の形が変わるほど食べ物を詰め込んで笑顔で食べていると、とても美味しそうな表情に見えます。



頬こ赤みが差している様子だが、おいしさや幸福感を表現している





刺激的な味

食べる前の想像と異なる味が刺激的な味となります。具体的には、酸味、苦味、渋味、辛味が当てはまり、眉をしかめる反応が見られます。



肩が上がり目を見開いた驚きの表情。味への衝撃から思わず眉間にシワが寄っている



▲肩の線の揺らぎや目の大きさが左右で異なること、突き出されたゆがんだ口など、食べている途中で違和感に気づいた表情になっています。

◀頭に描かれた効果線、ゆがんだ眉や口、小さくなった目など、表情すべてで刺激を受けたことを表現しています。



酸っぱいものを食べたときは、眉間にでさる縦シワ、すばめた口から放射状に生じるシワ、きつく閉じた目など、あらゆる顔の筋肉が収縮した表情になる



まずい、おいしくない

苦手なものやおいしくないものを食べたときは、顔をしかめる、舌を出すなど、「嫌悪」の表情に近い拒絶する反応を示します。



◀ 眉や目の周りの筋肉が収縮し、眉間にシワが寄って目が細くなります。また、下唇が上に持ち上がって「嫌悪」の特徴と同じ口元になっています。



目尻に浮かぶ涙や額中に浮き出た汗、波打ったハの字の眉と口など、苦しみに耐えている表情がおいしくないものを我慢している様子を表現している



舌を出して吐き出すような行動は、嫌悪感や拒絶感を示す表現のひとつ



▶ 眉尻や目尻、口角が下がっていると嫌悪感の強い表情に見えます。目を閉じるのもますます見せる効果的な手段です。



余韻

お酒で酔う＝怒り・笑い上戸＝

お酒を飲むと顔が赤くなり、気分が高揚して笑いや怒り、泣くといった表情が日常より大きくなります。また、アルコールで筋肉が緩み、表情もゆるくなります。

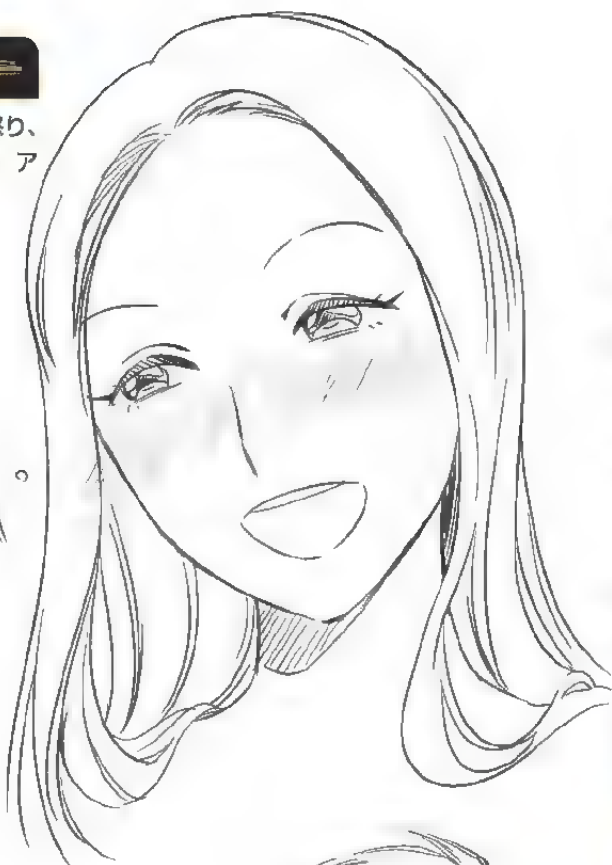
▶顔が赤く下まぶたが上がっていると、お酒好きで楽しんで飲んでいる表情になります。流し目になると色っぽさが増します。



真っ赤になった顔が酔いの深さを、突き出した口と吊り上がった眉が怒り上戸な印象を与えている



酔って愉快になり、顔の筋肉が緩んで眉がハの字になると同時に口の線が波打っている



酔いが回ったときは笑い方も明るくなり、目を閉じて笑う表情が多くなる



◀おおらかな男性とお酒は切っても切り離せないものです。口を顔の半分くらいの大きさまで広げ、陽気で豪快な笑いを演出します。



眉根が曲がったハの字のあと収まった二眉が、酔ったときの「よくわからないけど楽しい」雰囲気表現している



参照

お酒で酔うー泣き上戸ー

◀泣き上戸な人の泣き顔は、涙を大きくして口をふにやふにやに波打った線で描くとコミカルさが強まり、表情が重くなりすぎずに済みます。



深く下がった目尻や力なく開かれた口元によって鬱く寂しげな表情を表している。上まぶたが下がり、とろんとした目元が酔いの深さを示す



泣き顔は、左右で目の閉じ具合を変えると悲しさがより強調される



滝のような涙を流して号泣していても口元が笑っていると、悲しすぎない印象になる

▶閉じた目と八の字の眉は泣き顔の典型的な特徴です。口元の線が波打っていると、普段の泣き顔よりデフォルメ色の強いコミカルな表情になります。



気が強そうな切れ長の目の女性も、眉を八の字にして目を細めると、泣き上戸に見える



バトル

漫画やアニメにおいて数多く登場するバトルシーン。日常ではまず遭遇しないシチュエーションだが、その表情にはいくつかのパターンがある。創作における表現方法の一種として覚えてみよう。



攻撃

叫ぶ、大声を出す

大声をあげ、仲間や自分を鼓舞する表情です。大きく開いた口と、相手を見据える目力の強い瞳が重要なポイントです。

▶ 下向きの顔から相手を見上げると、敵に立ち向かう強い意志を感じる目つきになります。

正面からやや顔を上げた構図でも、下側の歯と舌が見える

大きく開口することによって、アゴの関節部が盛り上がる

◀ 口を大きく開けると、上唇が上に引き上がるだけでなく、口角が口の上下の中央に来て外側の水平方向に向かって伸びていきます。

顔の周りのスピード線と口内の影の線を同じ縦方向で統一することで、叫ぶ勢いを強調している

口角の位置

叫んだ表情の特徴は、開いた口から見える上下の歯や下唇の下端の線、見開かれた目の険しさなどに表れる。瞳に対して黒目を小さくすると、攻撃的な目つきになる



攻撃

魔法を唱える、魔法を放つ

魔法は唱える術者の内在的な力や、自然などの外在的な力を用いて発動します。その力を引き出す呪文やポーズ、道具の有無によって表情に違いが見られます。



精神を集中しているため、対象をまっすぐ見据えて真剣で冷静な表情をしている

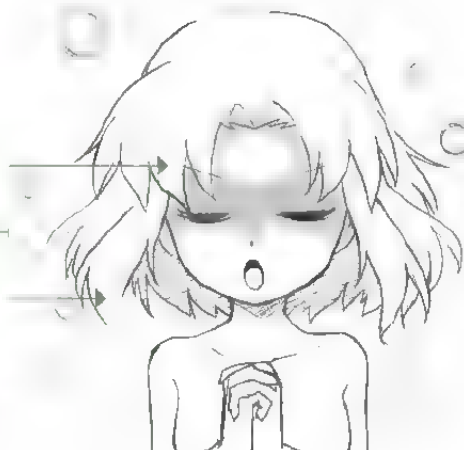
▶魔法エネルギーによってたなびく髪や具現化した魔法の「らしさ」を表現するため、真剣な目つきで口を大きく開けて叫んでいます。



魔法を相手に放つという意思によって眉頭が大きく下がり、「叫ぶ」に近い攻撃的な表情になる。また、その威力を体の影や舞い上がる髪で表現している



静かに閉じた目に対して、吊り上がった眉や髪の毛がふわりと舞い上がる描写のギャップが「華やかな少女が叫び出す力の大きさ」を想像させる



◀口角の位置は下側に寄っていますが、険しい眉や見開いた目、舞い上がる髪などの要素の組み合わせで攻撃的な表情になっています。



魔法のエネルギーが周囲に漂う光として表現され、地面から上方向へ光を受けることで術者の目の下に影が生まれる



攻撃を食らう、ダメージを受ける

痛みや衝撃によって顔がゆがめられます。口の開き具合や目の閉じ具合で攻撃の威力を想像させます。



後悔



強い衝撃を受けて顔が下を向く。片目を閉じて歯を食いしばり、苦悶の表情を浮かべている

◀ 苦痛で左右の目の大きさやまぶたの形が変わり、顔がゆがんでいます。口元は歯を食いしばり、痛みを耐えている様子を想像させます。



痛みに耐えようとして無意識に顔に力が入り、眉間や鼻の根元、口元にシワができる



攻撃を受けた衝撃で口からよだれが垂れる。目の周りに影を描き込むと、ダメージの深刻さが伝わる

赤く腫れたあざが攻撃を受けた場所にできる。下唇に力が入り、口角が下がった口元になる



▶ 体に浮かぶあざや傷を描き加えます。また、衣類や装飾品が破れたり壊れたりすることでもダメージを受けたことを表現できます。





倒れる、気絶する

戦闘不能に陥った表情で、気を失った場合は四肢や表情筋が弛緩します。意識がある場合は、苦痛にゆがむ顔になることもあります。

▶睡眠状態とは異なり、八の字の眉や閉じた目が下向きにならないといった苦しみの表情が特徴として表れます。また、頭の向きは左右どちらかに傾きます。



目元は苦痛の表情を浮かべているが、口元は脱力して小さく閉じている

痛みで頬に力が入り、頬の肉が盛り上がる。まだ意識があるため、口元に力が入って引きつっている



▶白目をむいた表現は失神時の表情としてよく描かれます。全身の筋肉が緩み、首も傾きます。



意識はあるが起き上がれず、苦痛で眉間にシワを寄せて歯を食いしばっている





第4章 特別編

髪の描き方

髪型の種類

キャラの顔を描く上で欠かせない「髪の毛」。この章では髪型の種類や描き方、動きや色といった特徴に触れていく。まずは髪の長さ別に大まかに分けた3タイプの特徴を知っておこう。

男性

ショート

▶前髪は目の高さ、サイドは耳にかかる程度の長さに切りそろえられた髪型が男性のショートヘアに分類されます。額が見えるほど前髪が短く耳が完全に出ている場合は、ベリーショートと呼ばれます。



額の見え方は、前髪をワックスなどで上げた場合などヘアセットによって変わる

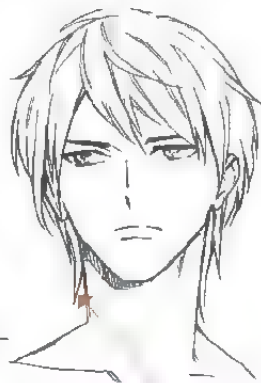


ミディアム

▼男性のミディアムヘアは、耳を覆うくらいまでの長さの髪型です。ショートヘアとはサイド部分の長さに違いが見られます。



襟足(首筋の後ろ)の毛の長さに特徴が出る



ロング

▶ミディアムヘアより長い髪型がロングヘアに分類されます。結い上げる、縛って後ろに流すなどアレンジを加えやすい長さです。



伸びた毛の質感は女性のロングヘアと変わらない



女性

ショート



▶女性のショートヘアは、首の付け根くらいまでの長さの髪型です。前髪が短いと活発な印象を与え、明るい雰囲気が出ます。



前髪やサイドの毛が長めだと、クールさやボーイッシュな印象も表せる

ミディアム



女性らしさを残しつつ落ち着いた感じを出せるボブカット

ロング

▶女性らしさが強く出る髪の長さで、巻いたり結ったりするなど、アレンジの手段も豊富で最も自由度が高い髪型です。豪華さや清楚さなど、様々な雰囲気を表現できます。



▶肩に触れるくらいまでの長さの髪型がミディアムヘアと呼ばれます。毛先を内側にカールさせるとふわっとした柔らかい形になり、女性らしさが高まります。

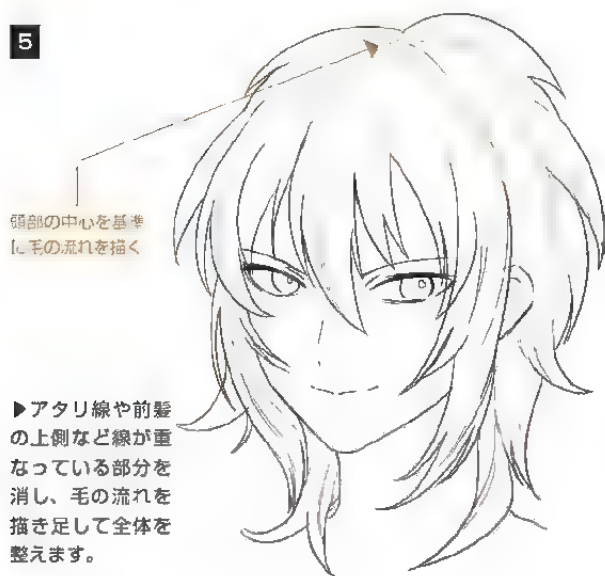
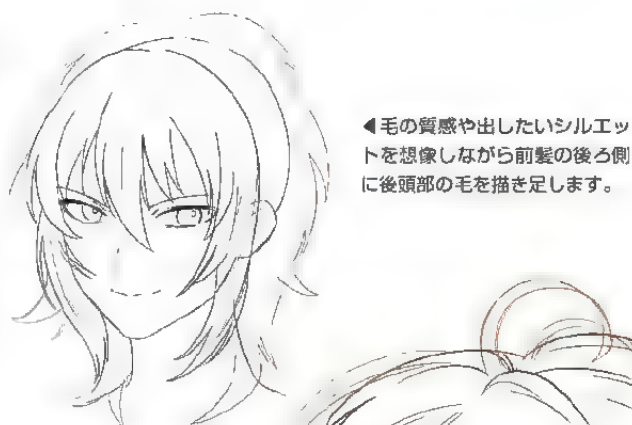


毛先の柔らかなウェーブから気を緩めさせる

髪を描き方

顔のパーツを描き終えたら、次は髪も描いてみよう。本項では、シンプルな髪型から少し複雑な髪型まで、バランスよく髪を描くためのコツを、手順を追いながら解説していく。

男性・ミディアム



男性：ショート

毛質のクセが強い場合は、
多方向へ毛をハネさせる

1



額の生え際には
角がある

2



◀ショートヘアは
頭の形がはっきり
出るので、後頭部
の外形や生え際は
アタリの時点から
実物に沿った形に
します。

完成



3



▲前髪を足します。
短い毛は毛先が浮き
やすくなります。

▶頭部の側面から後頭部に
かけて、毛の厚みのアタリを
とります。頭部のアタリより
も少し外側にボリュームを
持たせるのがポイントです。

▶アタリを元に後頭部の毛を
描きます。最後に、前髪など
に細い毛を足して完成です。

男性：ツープロック

1

刈り上げる境界線



2

▼前髪から後頭部に
かけて全体のシルエット
となる線を描きます。



完成



▶毛の流れに
沿って黒ベタ
で仕上げて完
成です。

▲生え際と後頭部のア
タリを取り、刈り上げ
る範囲を決めます。

女性：ロング

1



髪の本をある程度塊として捉える。また、後ろ髪の隠れる位置も把握しておく

▲頭の生え際や頭頂部の分け目を意識して大まかなアタリをとります。

▶髪を描き終えたら、首や胸、腕などに重なって隠れる髪の線を消して全体を整えます。

2



サイドや後ろの髪ははに貼れる強さに注意して流れをつくる

頭部のアタリの上に髪の厚み分のボリュームを足す

◀生え際や分け目を参考に、髪の流れを意識しながら髪の形を描いていきます。

完成



▶毛先などの細部を描き加えて仕上げます。サイドの髪などの髪の本に、適度に線を入れると髪の細かさが表現できます。

毛束の表現

塊として捉える

アウトラインを太く描き、一定量の髪を柔らかい帯のように塊として捉えると髪が描きやすくなります。また、この状態を大まかなガイドとして活用することもできます。



細やかな髪にする

髪の流れに沿った線を加えたり、少し束からバラけた髪を足すことで、まとまりのある細やかな髪や毛先であることを表現できます。



女性・ツインテール

1



正面からは見えない位置にある

▲ツインテールを生やすつけ根となる箇所に、あらかじめ○印をつけておきます。

完成



2



根元の形状のアタリ

◀根元の形状のアタリや、ツインテールの大まかな流れのアタリ線を描きます。

ツインテールのおおまかな流れのアタリ

▲髪の流れのアタリを参考に、太い毛束をアタリに沿わせながらツインテールの外形を描いて完成です。

ツインテール作例

髪の動きは毛先につける



つけ根の髪を増やすとボリューム感が出る



女性：巻き髪

1

▶前髪とサイドの髪までを描いた状態のベースとなる頭部を用意します。



完成



2

巻き髪の根元



▶巻き髪の根元となる位置から、切り込みを入れた円柱のような形状のアタリを描きます。



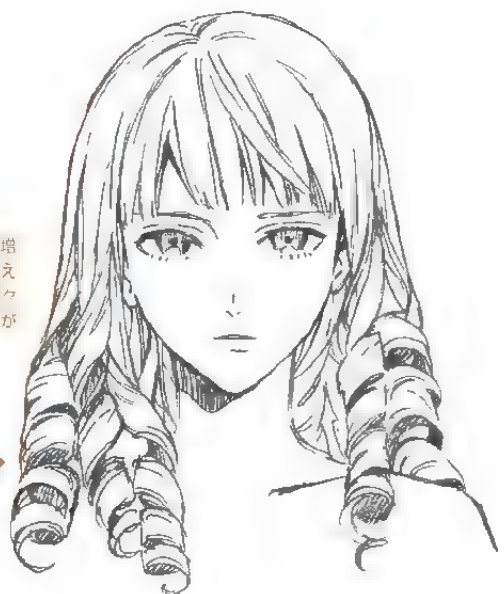
細い毛束を描き足す

巻き髪作例

円柱の切り込みの傾を大きくすると毛束が細くなる



巻き髪の本数を増やしたつぎを変えたりすれば、様々なヘアアレンジが可能になる



女性・三つ編み

1



◀はじめに、三つ編みにする毛束のアタリを描きます。編み込みが始まる箇所は毛束が細くなります。

2



アウトラインはやわらかいひし形をいくつも重ねるように描く

◀三つ編みにする毛束のアウトラインを描いていきます。三つ編み部分の大きさや毛量は、お好みで描いても大丈夫です。

3



▶三つ編みの形が決まったら、ガイドやアタリの線を消して全体を整えていきます。

完成



毛の流れを示す線は、次の結び目へ向けて絞込んでいくように描かれる

▶毛束を描き込んで完成です。応用して、編み方を変える、結び目を緩くする、毛をバラけさせるなどをすれば、柔らかさに差を出せます。

三つ編み作例



毛先の形や毛束のボリュームを変えるだけでキャラの雰囲気を変えることができる



三つ編みの描き方を利用すれば、頭のどの場所にも編み込みを作ることができる

男性の髪型バリエーション

『髪型の種類』で例として挙げたもの以外にも、男性の髪型には様々なバリエーションが存在する。実在する髪型から漫画やイラストならではの特殊な髪型まで、髪の高さに毎に幅広く紹介していこう。

ショート

▶サイドと襟足を刈り上げたツーブロックスタイルは、男らしさを演出するだけでなく、爽やかな印象も与えます。刈り上げの部分は細かい線を描き込みます。



天然パーマは、ところどころ不規則に毛先をハネさせることで、全体的にふわっとした印象に仕上げる



ベリーショートは、つむじから頭の形に沿って流れるように描いていくとまとまった髪型になる



全体的に髪を後ろに立てさせることによって、活発な少年のイメージを強めている



▶毛先を全体的に外方向へ跳ねさせることでアクセントがつけます。



ツーブロックと比べて、前髪を短めに描くとさっぱりとしたショートヘアになる



ミディアム

長めのミディアムヘア
は落ち着きが表現され、
大人の色気が出る



トップの毛を逆立てるこ
とでワイルドさを出して
いる。襟足が丸まってい
るのもポイント

▲髪にウェーブを入れ
ると人物の雰囲気は柔
らかく見えます。

線を細かく描きこまないこ
とで、アウトラインを重視
したフンブルな髪型に

▶オールバックで洗めな
スタイルに。髪の毛の線
を細かく描きこんでいく
とよりリアルになります。



ミディアム

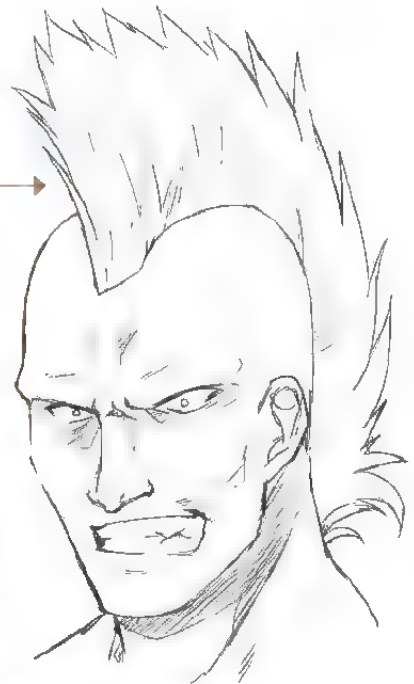
前髪から後頭部にかけて髪の毛を流すことで爽快感が出る



前髪を目の下で切りそろえて目を隠すと、表情が見えずミステリアスさが生まれる

ロング

ロックな雰囲気を与えるモヒカン頭。毛の全長は顔と同程度に描くとよりインパクトを与えられる



◀ 頭頂部から波を打ったゆるいウェーブが特徴的なロングヘアー。大人の男性っぽさがより際立ちます。



ドレッドヘアーは、ハイライトと黒ベタで細部の立体感を緻密に描くことでリアル感を出す



長髪を頭の後ろで一つに束ねると、爽やかさと大人っぽさが増す



女性の髪型バリエーション

前項で男性に似合う髪型を紹介してきたが、女性に関しては男性以上に幅広い。女性は長さだけでなく髪の毛の結び方などヘアアレンジでもバリエーションが増えてくるので、要チェックだ。

ショート～ミディアム



◀女性のショートヘアは、毛先を外向きに跳ねさせると、活発な印象を抱かせることができます。



両サイドの毛を後ろで結ったハーフアップスタイルは可憐なイメージを引き出す



ボーイッシュな髪型は、耳を出して前髪を長くすればバランスが良く見える

少しハネ気味で片目を隠す髪型がミステリアスな印象を招かせる



肩口まで伸びた長めのストレートボブは、柔らかく落ち着いた大人の雰囲気を出す



▶前髪や毛先を切りそろえたボブカットは、襟足からサイドにかけて髪の長さを徐々に変えていくとカジュアルさが増します。



▼束ねた髪を後頭部でまとめたシニヨンは首回りがすっきりして華やかさが
あり、上品なお嬢様風になります。



大きめに編み込んだ髪を顔の
サイドに寄せることで
色っぽさが出る



ストレートヘアに片目
を隠した組み合わせが
クールな印象を与える



後ろ髪を後頭部の
高い位置でまとめ
るとスッキリする



頭の上で大きくまとめたお団
子ヘア。耳の位置から髪の毛
を少し出すのもポイント

▶結った髪先の形状
が独特なアニメキャ
ラ調のヘアアレンジ。
髪の毛を大きく
両サイドで束ねた姿
が元気っぽさを出し
ています。



ロング



しなやかなカーブを描くと、落ち縮みのあるまとまった髪型。

◀ロングヘアの毛先に無造作な動きを加えるとナチュラルなウェーブヘアになります。

ストレートな髪質の黒髪ロングヘアは、前髪を目の高さに切りそろえろえると清楚な雰囲気が出る



▼大きな弧を描くカールは髪にボリューム感を与えます。アホ毛も一本大きくいれるとさらに可愛らしくなります。

毛先のみをカールさせることで上品さを表現



毛先や毛束が波打つ動きを大きく強調すると、妖艶な雰囲気が漂う

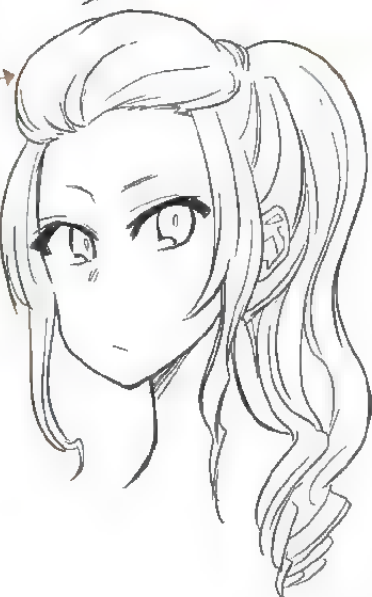


▶ ボニーテールや前髪、サイドの毛先に柔らかなウェーブをかけることで、女の子らしさが溢れます。



外側に跳ねた毛先は外交的な性格をイメージさせる。金髪は、髪の実に無数の細い線を描くことで艶感が表現できる

前髪をボンバードルにしてボニーテールと一緒に結んだ大人な雰囲気があるヘアアレンジ



ボニーテールを描く際は、後頭部の毛の流れが結った箇所へ集まる様子をしっかりと描く



結った髪はうなじを隠すのがポイント。首が短かすぎない、大人っぽさが出る

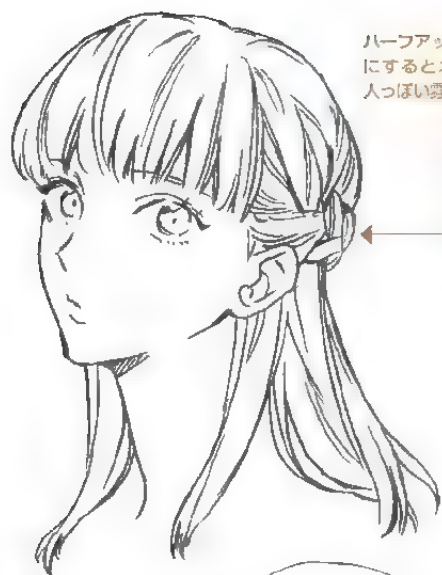


ロングヘアを後ろでまとめた和風の結び髪、髪を毛をきっちりと束ねてボリューム感を出す



▼後ろで結った髪に跳ねた動きをつけることで、華やかでまとまり感のあるアップヘアに仕上がります。





ハーフアップを編み込みにするとオシャレで大人っぽい雰囲気になる



▲前髪を太めの編み込みにすると、神話に登場する女神のような上品な印象に仕上がります。



おでこを出してすっきりとした清潔感のある髪型。ハーフアップにした後ろ髪は小さなポニーテールになっている



狐の耳のような形をした毛が特徴的なロングヘア。フィクションの獣人キャラでは、動物の毛を模した髪型がよく登場する



小さな毛玉をいくつもつけてゴージャス感を出したヘアアレンジ。襟足から伸びる髪をフェイクさせることでカーリー感を増している



ターバンを用いたヘアアレンジ。きつくとまとめつつも、ターバンから伸びた髪を毛をはみ出させるのがポイント

髪色の表現

モノクロの漫画やイラストであっても、トーンやベタ、線の描き方などの工夫で髪の質感や色を表現することができる。髪色の仕上げ方を意識して、キャラの差別化を図ってみよう。

ペン入れ、トーン、ベタ仕上げ

金髪



影の線を
描き加える

◀髪の高い部分は白のまま表現します。内側の暗くなる部分にはトーンを貼ることで髪の影を表現しています。

▶生え際の線は描かず、毛の流れだけを描いて髪の明るさを表しています。毛束の内側には、影の線を描くと髪に艶が出ます。



白髪



◀白髪の部分は主線だけで描きます。一部に黒髪のままの領域を残しておく、年若いながらもまだ衰えていない精力さを感じさせることができます。

▶完全な白髪は主線のみで描くことができます。加齢によって髪がうねったり跳ねたりしている様子を主線で描き、影を入れずにシンプルに描き上げましょう。



赤髪



◀髪全体に濃いトーンを貼ると、色付きの髪であること表現できます。

▶モノクロではやや濃いグレーで髪を塗ると赤髪が見えます。髪色は濃度によって表現することができ、薄めの灰色であれば茶髪に見せることもできます。



銀髪

▶髪が密集している部分や影になる部分に薄めのトーンを貼ることで、髪が光で輝く様子を演出しています。



黒髪

▶黒髪はベタがメインとなり、光沢が入る部分を白色で抜いて光沢を表現します。光沢が多いと艶やかな印象になります。



白髪

▶仕上げとしては金髪に近く、基本は主線のみで表現します。影になる部分は細かい線で薄く描き入れるほか、薄めのトーンを貼ることもあります。



髪を使った誇張表現

キャラクターの感情は、表情だけでなく髪の毛の動きでも表現することができる。ここでは「嬉しいとき」「怒ったとき」などいくつかの例を解説するので、自分なりの表現を描く参考にしてみよう。

嬉しい

心の軽さを表すように、髪全体がふわりと広がる



◀嬉しくて首を傾けて笑う気持を体の動きとして捉え、髪を左右に跳ねさせたり、小さな毛束をいくつも描いて弾むような嬉しさを強調しています。



ムカムカ、激怒

▼「髪の毛が逆立つ」という表現があるように、怒りで髪が浮き上がる描写は漫画でよく見られます。嬉しさと比べて、髪の揺らぎが大きくまばらに広がる点が特徴です。

まさに「怒髪天を衝く」という状態で、重みを感じて逆立つ髪の毛の動きで激しい怒りを表現している



逆立つ髪は、頭の下方向から広がるように持ち上がる



びっくり、焦り

▶びっくりした驚きや衝撃で、髪が持ち上がったります。また、至るところからピンと飛び出た毛も特徴的です。



驚きのあまり回
まって、髪がバ
サバサになる



▶何本か髪を飛び出さ
せて、焦りの気持ちを
強調しています。

乱れた髪をギザギザ
と角ばらせることで
デフォルメの効いた
驚きや焦りの表情を
表現している

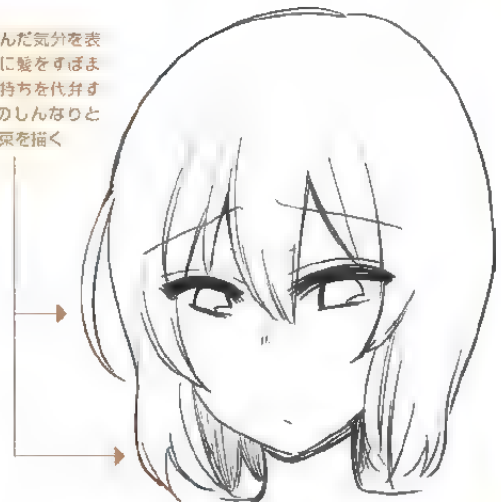


がっかり、しょんぼり

▶がっかりして落ち込
んだ気持ちを表すよう
に、毛先が下を向いて
しな垂れます。わか
りやすくするために、
アホ毛のように1本
2本特徴的な髪を飛
び出させるのも有効
です。



落ち込んだ気分を表
すように髪をすばま
せ、気持ちを代弁す
る1本のしんなりと
した毛束を描く



髪動き

髪の動きはキャラの感情だけでなく、彼らの生き生きとした姿も表現してくれる重要な要素。ここでは、風や水といった自然の影響や、運動など体の動作によって動く髪について紹介していこう。

風を受けた髪

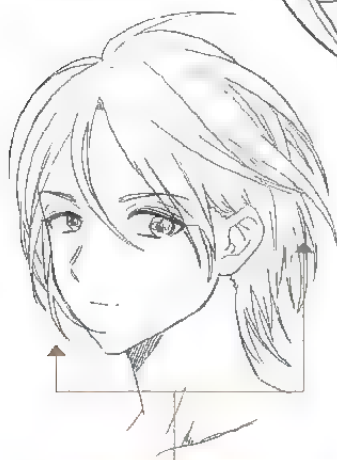
▶横から吹く風に対して髪は同じ方向になびきますが、毛先を内側にまとめるようにするとしなやかさを表現できます。



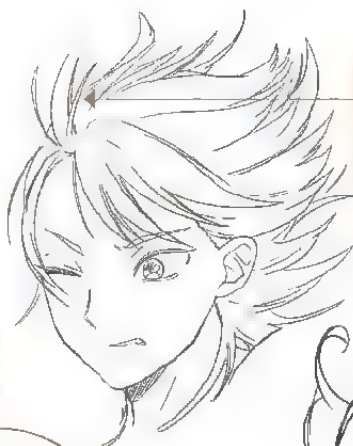
サイドの髪だけでなく、前髪などのまっすぐな髪も同じ方向にゆれる



▼ヘアバンドをしていても、風の動きに合わせて毛先は跳ねるように動きます。



前髪は大きく、後ろ髪はふわっと持ち上がる。サイドの毛が耳にかかるなど、動かすことでもののなびき方を表すとキャラの印象も変わる



強風！吹かれたときは、前髪を立てたり、後ろ髪を後ろに引くことで風の強さを表せる



女性の髪であれば、布が揺れるようなイメージで描くと綺麗ななびき方に見える



体の動作、手で触る

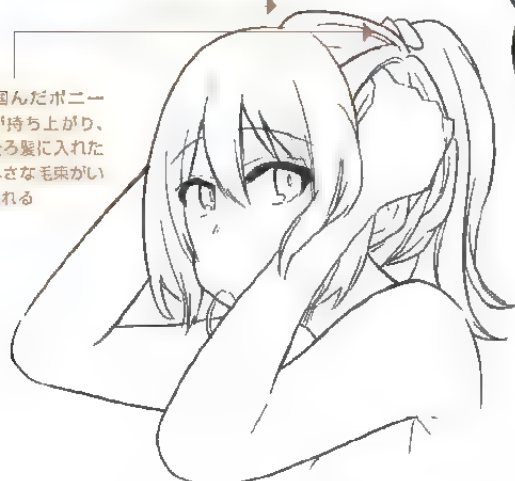


ダンスで跳ねる髪の動きは、下から上方向に風を受けたようになびかせる



ジャンプの動作が滞れて伝わり、毛先がくると巻く

右手で掴んだポニーテールが持ち上がり、左手を後ろ髪に入れたことで小さな毛束がいくつも表れる



▲ダンスなど体の動作によって髪が動くときは、毛先など体から離れている髪の毛ほど動きが遅く伝わります。



◀高いところからジャンプして降りる瞬間は、下からの風圧によって髪が持ち上がって広がります。



急速くダイナミックに体を動かした際も、頭部に近い髪は体が動く方向に沿ってなびき、毛先は力が分散して巻き髪になる

体の動作、手で触る

手でかき上げられた髪は上向きになり、指の隙間から毛が飛び出る



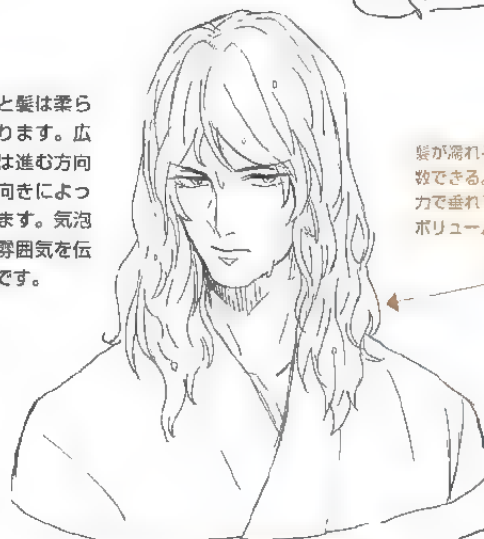
◀頭をなでられたときは、髪に埋もれた手の動きによって毛が逆立ちます。上向きに跳ねた毛先を描くのがポイントです。



水中、水に濡れた髪

◀水中だと髪は柔らかく広がります。広がる向きは進む方向や水流の向きによって変わります。気泡も水中の雰囲気伝える要素です。

髪が濡れると小さい毛束が多数できる。水を吸った髪が重力で垂れ下がる影響で、髪のボリュームもなくなる



水中のノートヘアもふわっと柔らかく全方向に毛先が広がる



肌に張りついて水がしたたるのも濡れ髪の特徴の一つ

イラストレーター紹介

Illustrator Introduction



あおいサクラ子

P4 ~ 5, P13, P26 ~ 28, P51 ~ 55, P60 ~ 61, P65 ~ 66, P68 ~ 69, P74 ~ 75, P77 ~ 78, P85 ~ 86, P88, P92 ~ 93, P96, P98 ~ 99, P101 ~ 103, P107, P109, P111 ~ 115, P118 ~ 119, P122, P127, P129 ~ 130, P154

●<http://blue0cherry.tumblr.com/>



洋歩

カバーイラスト, P15 ~ 16, P18, P21, P24, P39 ~ 39, P45 ~ 46, P48 ~ 51, P54 ~ 59, P62, P66, P68, P70 ~ 71, P74 ~ 76, P81, P83 ~ 86, P88 ~ 91, P93 ~ 95, P107 ~ 108, P112, P114, P116 ~ 117, P122 ~ 125, P131 ~ 133, P160

●<http://shibaction.tumblr.com/>

●<http://www.pixiv.net/member.php?id=125048>



印カ・オブ・ザ・デッド

カバーイラスト, P15 ~ 16, P18, P21, P24, P38 ~ 39, P45 ~ 46, P48 ~ 51, P54 ~ 59, P62, P66, P68, P70 ~ 71, P74 ~ 76, P81, P83 ~ 86, P88 ~ 91, P93 ~ 95, P107 ~ 108, P112, P114, P116 ~ 117, P122 ~ 125, P131 ~ 133, P160

●<http://www.pixiv.net/member.php?id=156737>



荻野アツキ

P5, P12, P17, P20, P26 ~ 28, P31, P48 ~ 49, P51 ~ 53, P57, P59 ~ 62, P65, P67 ~ 69, P73, P75 ~ 78, P81, P83 ~ 85, P87 ~ 90, P92 ~ 93, P95, P98, P101, P103, P106, P108, P113, P117, P119 ~ 121, P123, P129 ~ 130, P134, P136 ~ 139, P141 ~ 142, P145, P148 ~ 150, P154, P158 ~ 157

●<http://oginoatsuki.moo.jp/>



かすかず

P5, P14, P16, P21, P26 ~ 29, P31, P41, P47, P53, P60, P64, P67, P72, P74, P80, P82, P90 ~ 91, P97, P101, P103, P105 ~ 106, P109, P117, P122 ~ 123, P129 ~ 133, P137, P144 ~ 151

●<http://www.pixiv.net/member.php?id=251906>



ぐふ

P18, P21, P46, P48 ~ 49, P52, P54 ~ 56, P60, P62 ~ 64, P67, P70 ~ 71, P75, P78 ~ 80, P82, P86 ~ 87, P91 ~ 92, P153

●<http://www.pixiv.net/member.php?id=3074618>



子清

P21, P26 ~ 29, P45, P47, P50, P59, P61 ~ 62, P65, P72, P76, P83 ~ 84, P87 ~ 88, P120 ~ 121, P134 ~ 136, P144 ~ 145, P158

●<http://zesnos.tumblr.com/>



品里穂

P2, P17 ~ 18, P40, P44, P47 ~ 48, P51 ~ 55, P57, P59, P61 ~ 64, P67, P69, P71 ~ 75, P78 ~ 80, P83, P86 ~ 87, P89 ~ 90, P93, P107 ~ 109, P112, P114, P116 ~ 117, P122, P124, P131 ~ 133, P135, P137, P140 ~ 141, P143 ~ 144, P146, P152 ~ 155

●<http://www.pixiv.net/member.php?id=63636>



篁ふみ

P46, P49, P57 ~ 58, P62, P66, P72, P74, P78, P80, P86, P90, P99 ~ 100, P104, P110 ~ 111, P115, P118, P126, P128

●<http://www.moire-takamu.com/>



なーこ

P18, P21, P30, P50, P60, P63, P70, P79, P91, P135 ~ 136, P142, P144 ~ 147, P149, P151

●<http://noaaako.tumblr.com/>



仲間安方

P2, P14 ~ 16, P21 ~ 24, P32 ~ 37, P43, P56, P61 ~ 62, P76, P78, P93 ~ 94, P139, P146, P152 ~ 153, P156

●<http://nakama-yasukata.tumblr.com/>



凧丘

P2, P13, P16, P26 ~ 27, P46, P48 ~ 50, P52, P54, P56 ~ 57, P59, P62, P64 ~ 67, P70, P72 ~ 73, P76, P60 ~ 66, P68 ~ 69, P81, P93, P97, P102, P104 ~ 105, P120 ~ 121, P134, P137, P143, P147 ~ 151, P156 ~ 157

●<http://www.pixiv.net/member.php?id=211254>



藤実なんな

P2, P18, P20, P48, P50, P54, P56, P65, P69 ~ 70, P73, P81 ~ 82, P86, P88, P96 ~ 97, P100, P105 ~ 106, P110, P113, P116, P126, P155

●<http://www.pixiv.net/member.php?id=3230062>



ミムラ

P4, P17, P21, P24, P42, P47, P50, P55, P58, P64, P66, P70, P74, P80, P82, P86, P91, P99 ~ 100, P104, P110 ~ 111, P115, P118, P125 ~ 128



百舌まめも

P16 ~ 17, P20 ~ 21, P24 ~ 28, P45 ~ 47, P51, P53 ~ 54, P56, P65, P67, P69, P72, P76 ~ 77, P82, P84 ~ 85, P89, P92, P96 ~ 98, P119 ~ 121, P152

本書の内容に関する質問は、下記のメールアドレスおよびファクス番号まで、書籍名を明記のうえ書面にてお送りください。電話によるご質問には一切お答えできません。また、本書の内容以外についてのご質問についてもお答えすることができませんので、あらかじめご了承ください。

メールアドレス book_mook@mynavi.jp

ファクス 03-3556-2742



デジタルツールで描く！感情があふれ出るキャラの表情の描き方

2015年12月23日 初版第1刷発行・電子版 Ver1.00

●著者 スタジオ・ハードデラックス
●発行者 滝口直樹
●発行所 株式会社 マイナビ出版
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-3
一ツ橋ビル 2F
TEL03-3556-2736 (編集部)
URL : <http://book.mynavi.jp>

●装丁・本文デザイン 石本遊、岡澤風花 (スタジオ・ハードデラックス)
●編集 石川悠太、笹口真幹、大村茉穂 (スタジオ・ハードデラックス)

©2015 Mynavi Publishing Corporation

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、著者、発行者の許諾を得ずに、無断で複写、複製することは禁じられています。

本書中に登場する会社名や商品名は一般に各社の商標または登録商標です。



